

河川水質環境基準に係る類型指定について

(部会報告)

令和4年12月

大阪府環境審議会水質部会

目次

はじめに	1
1. 類型指定の状況	2
(1) BOD等5項目	2
(2) 水生生物の保全に関する3項目	4
2. 河川の利用状況	6
3. 水質等の状況	8
(1) BOD等5項目	8
(2) 水生生物の保全に関する3項目	23
(3) 魚類の生息の状況	25
4. 類型指定の基本的な考え方	26
(1) BOD等5項目	26
(2) 水生生物の保全に関する3項目	28
5. 改定又は新規指定を検討する河川の抽出	29
(1) BOD等5項目	29
(2) 水生生物の保全に関する3項目	35
6. 河川水域ごとの検討結果	37
(1) 上位類型への改定	37
(2) 類型を改定しない河川水域の達成期間見直し	40
7. 安威川の類型指定・環境基準点の見直し	42
8. まとめ	46
おわりに	49

1 はじめに

2 水質汚濁に係る環境基準については、環境基本法（平成5年法律第91号）
3 第16条第1項の規定に基づき、昭和46年環境庁告示第59号「水質汚濁に係
4 る環境基準について」により、人の健康の保護及び生活環境の保全に関する環
5 境基準が定められている。

6 このうち、生活環境の保全に関する環境基準は、水域の利用目的に対応して、
7 生物化学的酸素要求量（BOD）等と水生生物の保全に関する項目ごとに複
8 数の類型が設けられており、これらのいずれかの類型を当てはめ、水域の類型
9 を指定することとなっている。

10 類型指定については、2以上の都道府県の区域にわたる水域であって政令で
11 定められたものについては政府が、それ以外の水域については都道府県知事が
12 それぞれ水域の利用目的や水質汚濁の状況等を勘案して行うとともに、これら
13 の事情の変化に応じて適宜改定することとされている。

14 現在の大阪府内河川の類型については、平成29年1月に見直しを行い、B
15 OD等は69河川81水域に対し、水生生物の保全に関する項目は60河川65水
16 域に対し、それぞれ指定を行っている。

17 前回の類型指定見直しから5年が経過しており、より一層の水質保全を図る
18 ため、水域の利用目的や水質汚濁の状況等の事情の変化を踏まえて、適切な見
19 直しを行う必要がある。

20 このため、令和4年6月に、大阪府知事が、水質汚濁防止法第21条第1項
21 の規定に基づき、河川水質環境基準に係る類型指定について本環境審議会に諮
22 問した。

23 本審議会では、本件について専門的見地からの検討を行うため、水質部会に
24 おいて、3回にわたり審議を行った。

25 本報告は、水質部会において、水域の利用状況や水質の状況等を踏まえ、慎
26 重に審議した結果を取りまとめたものである。

27

28

1 1. 類型指定の状況

2 (1) BOD等5項目

3 生活環境の保全に関する項目（水素イオン濃度（pH）、生物化学的酸素要
4 求量（BOD）、溶存酸素量（DO）、浮遊物質（SS）、大腸菌群数（令和
5 4年度からは「大腸菌数」）の5項目（以下「BOD等5項目」という。）の
6 河川水質環境基準については、水道、水産、農業用水など利用目的に応じ
7 て、6つの類型（AA～E）が設定されている。

8 大阪府内の河川では、表1のとおり、昭和45年以降、類型指定・改定を
9 行っており、令和4年4月現在では、環境大臣が淀川、神崎川、猪名川及び
10 大和川の4河川7水域について、大阪府知事がその他の65河川74水域につ
11 いて、それぞれ指定している。

12 大阪府では、これまで上位類型への改定を積極的に行ってきた結果、全体
13 に占める上位類型（AA類型、A類型、B類型）の水域数の割合は、昭和45
14 年当初の19%から72%に増えている。

15

16 表1 BOD等の類型指定・改定の経緯と現在の指定状況（1）

指定・改定年月	概要	指定水域数						計
		AA	A	B	C	D	E	
① 昭和45年9月	国が淀川、大和川等の主要河川（20河川26水域）を類型指定（その後、淀川、神崎川、猪名川、大和川を除く16河川は府に移管）	0	1	4	2	4	15	26
② 昭和48年3月	府が泉州の主要河川（20河川23水域）を類型指定	0	10	10	2	5	22	49
③ 昭和50年10月	府が淀川、大和川の支川（13河川16水域）を類型指定	0	12	19	4	6	24	65
④ 昭和53年4月	府が十三間堀川（河川形態喪失）の類型指定を解除	0	12	19	4	6	23	64
⑤ 平成4年2月	府が水無瀬川等9河川9水域を類型指定 安威川下流(2)及び大阪市内河川の11水域の類型を改定 大川の指定範囲を拡大(大川→大川及び城北川)	0	14	20	19	4	16	73
⑥ 平成13年3月	国が神崎川及び猪名川下流(2)の類型を改定	0	14	21	19	5	14	73
⑦ 平成14年6月	府が安威川下流(1)～(3)等9水域の類型を改定	0	17	23	15	5	13	73
⑧ 平成15年3月	国が淀川下流(2)の類型を改定	0	17	23	16	4	13	73
⑨ 平成15年5月	府が神崎川の2次支川等7河川7水域を類型指定 寝屋川等13水域の類型を改定	0	22	27	14	10	7	80
⑩ 平成21年3月	国が猪名川上流の類型を改定	0	23	26	14	10	7	80
⑪ 平成21年6月	府が寝屋川等15河川17水域の類型を改定	0	29	27	8	13	4	81
⑫ 平成29年1月	府が天竺川を類型指定 芥川等8河川8水域の類型を改定（3河川水域で大阪府初のAA類型を指定） 安威川下流の類型範囲を統合	3	26	29	8	11	4	81

17

18

表1 BOD等の類型指定・改定の経緯と現在の指定状況(2)

区分	河川水域名	区域	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	現在	
			S45	S48	S50	S53	H4	H13	H14	H15	H15	H21	H21	H29		
淀川水系	淀川下流(1)	宇治川合流点から長柄堰まで	Bハ	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	Bハ	
	淀川下流(2)	長柄堰より下流	Dイ	→	→	→	→	→	→	Cイ	→	→	→	→	Cイ	
	船橋川	全域			Bハ	→	→	→	→	→	→	→	→	→	Bハ	
	穂谷川	全域			Bハ	→	→	→	→	→	→	→	→	→	Bハ	
	檜尾川	全域			Bロ	→	→	→	→	→	→	→	Bイ	→	Bイ	
	天野川	奈良県界より下流			Bハ	→	→	→	→	→	→	→	→	→	Bハ	
	芥川(1)	京都府界から塚脇橋まで			Aイ	→	→	→	→	→	→	→	→	AAイ	AAイ	
	芥川(2)	塚脇橋より下流			Bロ	→	→	→	→	→	Aイ	→	→	→	Aイ	
水無瀬川	全域					Aイ	→	→	→	→	→	→	→	Aイ		
神崎川水系	神崎川	安威川、猪名川を除く神崎川	Eハ	→	→	→	→	→	Bロ	→	→	→	→	→	Bロ	
	天竺川	全域												Bイ	Bイ	
	安威川上流	茨木市取水口より上流	Aイ	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	Aイ	
	安威川下流(1)・(2)	茨木市取水口から戸伏まで	Bハ	→	→	→	→	→	Bイ	→	→	→	Aイ	Aイ	Aイ	
		戸伏から大正川合流点まで	Dハ	→	→	→	→	→	Cイ	→	Bロ	→	→	Aイ	Aイ	
	安威川下流(3)	大正川合流点より下流	Eハ	→	→	→	→	→	→	→	Cイ	→	→	Bロ	Bロ	
	佐保川及び茨木川	全域					Cイ	→	Bイ	→	→	→	Aイ	→	Aイ	
	大正川	全域					Cロ	→	Bロ	→	→	→	Aイ	→	Aイ	
	勝尾寺川	全域					Cロ	→	Bロ	→	→	→	Aロ	→	Aロ	
	猪名川上流	箕面川合流点より上流	Bハ	→	→	→	→	→	→	→	→	Aイ	→	→	Aイ	
	猪名川下流(2)	深川分岐点から湊川合流点まで	Eハ	→	→	→	→	→	Dイ	→	→	→	→	→	Dイ	
	箕面川(1)	箕面市取水口より上流				Aイ	→	→	→	→	→	→	→	AAイ	AAイ	
	箕面川(2)	箕面市取水口から兵庫県界まで				Bロ	→	→	→	Aイ	→	→	→	→	Aイ	
	余野川	全域				Bイ	→	→	→	Aイ	→	→	→	→	Aイ	
	千里川	全域				Cロ	→	→	→	Aイ	→	→	→	→	Aイ	
	田尻川	兵庫県界より上流									Aイ	→	→	→	Aイ	
一庫・大路次川	京都府界から兵庫県界まで									Aイ	→	→	→	Aイ		
山辺川	全域									Aイ	→	→	→	Aイ		
寝屋川水系	寝屋川(1)	住道大橋より上流	Eハ	→	→	→	→	→	→	Dハ	→	Cイ	Bイ	Bイ		
	寝屋川(2)	住道大橋より下流											Dロ	Dロ		
	恩智川	全域	Eハ	→	→	→	→	→	→	Dハ	→	Dイ	Cロ	Cロ		
	古川	全域					Eハ	→	→	Dハ	→	Dロ	→	Dロ		
	第二寝屋川	全域			Eハ	→	→	→	→	Dハ	→	Dイ	→	Dイ		
	平野川分水路	全域					Eイ	→	→	Dイ	→	→	→	Dイ		
	平野川	全域			Eハ	→	→	→	→	Dイ	→	Dイ	→	Dイ		
大阪市内河川	大川(大川+城北川)	大川全域及び城北川全域	Cイ	→	→	→	城北川追加	→	→	→	Bイ	→	→	→	Bイ	
	堂島川	全域	Dイ	→	→	→	Cイ	→	→	→	Bイ	→	→	→	Bイ	
	土佐堀川	全域	Eハ	→	→	→	Cハ	→	→	→	→	→	Cイ	→	Cイ	
	道頓堀川	全域	Eハ	→	→	→	Cイ	→	→	→	Bハ	→	→	Bイ		
	正蓮寺川	全域	Eロ	→	→	→	Cイ	→	→	→	→	→	Bイ	→	Bイ	
	六軒家川	全域	Eハ	→	→	→	Cイ	→	→	→	Bイ	→	→	Bイ		
	安治川	全域	Eイ	→	→	→	Cイ	→	→	→	Bイ	→	→	Bイ		
	原無川	全域	Eロ	→	→	→	Cイ	→	→	→	→	→	Bイ	→	Bイ	
	木津川	全域	Eハ	→	→	→	Cイ	→	→	→	→	→	Bイ	→	Bイ	
	木津川運河	全域	Eハ	→	→	→	Cイ	→	→	→	→	→	Bイ	→	Bイ	
	住吉川	全域	Eハ	→	→	→	Cハ	→	→	→	→	→	Bロ	→	Bロ	
	東横堀川	全域									Cイ	→	→	Bイ	→	Bイ
	十三軒堀川	全域	Eハ	→	→	解除	→	→	→	→	→	→	→	→	→	
	石川	全域	Bハ	→	→	→	→	→	→	→	→	→	Bイ	→	Bイ	
大和川水系	千早川	全域			Bイ	→	→	→	→	→	→	→	→	→	Aイ	
	天見川	全域					Bイ	→	→	→	→	→	→	Aイ	Aイ	
	石見川	全域					Aイ	→	→	→	→	→	→	AAイ	AAイ	
	飛鳥川	全域								Cロ	→	→	→	Cロ		
	梅川	全域								Cロ	→	Aイ	→	Aイ		
	佐備川	全域								Cイ	→	Cイ	Bイ	Bイ		
	大和中流	桜井市初瀬取入口から浅香山まで	Cハ	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	Cハ	
	大和川下流	浅香山より下流	Dハ	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	Dハ	
	東除川	全域				Cハ	→	→	→	→	→	→	Cロ	→	Cロ	
	西除川(1)	狭山池流出端より上流				Bハ	→	→	→	→	→	→	Bロ	→	Bロ	
西除川(2)	狭山池流出端より下流				Dハ	→	→	→	→	→	→	Dロ	→	Dロ		
泉州諸河川	石津川	全域			Eハ	→	→	→	→	→	→	→	Dイ	→	Dイ	
	和田川	全域					Cハ	→	→	→	→	→	Cロ	→	Cロ	
	大津川上流	泉大津市高津取水口より上流			Bロ	→	→	→	→	→	→	→	→	→	Bロ	
	大津川下流	泉大津市高津取水口より下流			Dハ	→	→	→	→	→	→	→	Dイ	Cイ	Cイ	
	牛滝川	全域			Bハ	→	→	→	→	→	→	→	Bロ	→	Bロ	
	松尾川	全域			Bハ	→	→	→	→	→	→	→	→	→	Bハ	
	横尾川	全域			Bイ	→	→	→	→	→	→	→	→	→	Bイ	
	父鬼川	全域			Aイ	→	→	→	→	→	→	→	→	→	Aイ	
	春木川	全域			Eハ	→	→	→	→	→	→	→	Dイ	→	Dイ	
	津田川	全域			Eハ	→	→	→	→	→	→	→	Eイ	→	Eイ	
	近木川上流	稲谷川合流点より上流			Bイ	→	→	→	→	→	→	→	→	→	Bイ	
	近木川下流	稲谷川合流点より下流			Eハ	→	→	→	→	→	→	→	Dイ	→	Dイ	
	見出川	全域			Eハ	→	→	→	→	→	→	→	Eイ	→	Eイ	
	佐野川	全域			Eハ	→	→	→	→	→	→	→	Eイ	→	Eイ	
	櫻井川上流	菟田橋より上流			Bイ	→	→	→	→	→	→	→	→	→	Bイ	
	櫻井川下流	菟田橋より下流			Eハ	→	→	→	→	→	→	→	Eイ	→	Eイ	
	金熊寺川	全域			Aイ	→	→	→	→	→	→	→	→	→	Aイ	
	男里川	全域			Aイ	→	→	→	→	→	→	→	→	→	Aイ	
	菟砥川	全域			Aイ	→	→	→	→	→	→	→	→	→	Aイ	
	山中川	全域			Aイ	→	→	→	→	→	→	→	→	→	Aイ	
	番川	全域			Aイ	→	→	→	→	→	→	→	→	→	Aイ	
	大川	全域			Aイ	→	→	→	→	→	→	→	→	→	Aイ	
	東川	全域			Aイ	→	→	→	→	→	→	→	→	→	Aイ	
西川	全域			Aイ	→	→	→	→	→	→	→	→	→	Aイ		

※網掛けは、国が類型を指定する河川水域を示す。

類型における、「イ」は直ちに達成、「ロ」は5年以内で可及的速やかに達成、「ハ」は5年を超える期間で可及的速やかに達成、を示す。

1 (2) 水生生物の保全に関する3項目

2 水生生物の保全に関する項目（全亜鉛、ノニルフェノール、直鎖アルキル
3 ベンゼンスルホン酸及びその塩（LAS）の3項目（以下「水生生物の保全
4 に関する3項目」という。）の河川水質環境基準については、水生生物の生
5 息状況に応じて4つの類型（生物A、生物特A、生物B、生物特B）が設定
6 されている。

7 大阪府内の河川では、表2のとおり、平成18年以降、類型指定を行って
8 おり、令和4年4月現在では、環境大臣が淀川、神崎川、猪名川及び大和川
9 の4河川4水域について、大阪府知事その他の56河川61水域について、
10 それぞれ指定している。

11
12 表2 水生生物の保全に関する項目の類型指定の経緯と現在の指定状況

指定・改定年月	概要	指定水域数				
		生物A	生物特A	生物B	生物特B	計
① 平成18年6月	国が大和川（全域）を類型指定	0	0	1	0	1
② 平成21年6月	府が54河川59水域を類型指定	9	0	51	0	60
③ 平成21年11月	国が淀川（全域）、神崎川（安威川、猪名川を除く神崎川）、猪名川(2)（ゴルフ橋より下流）を類型指定	9	0	54	0	63
④ 平成29年1月	天竺川、恩智川、大津川下流を類型指定、安威川下流の類型範囲を統合	9	0	56	0	65

区分	河川水域名	区域	①	②	③	④	現在
			H18	H21	H21	H29	
淀川水系	淀川下流(1)	宇治川合流点から長柄堰まで			生物Bイ	→	生物Bイ
	淀川下流(2)	長柄堰より下流					
	船橋川	全域		生物Bイ	→	→	生物Bイ
	穂谷川	全域		生物Bイ	→	→	生物Bイ
	檜尾川	全域		生物Bイ	→	→	生物Bイ
	天野川	奈良県界より下流		生物Bイ	→	→	生物Bイ
	芥川(1)	京都府界から塚脇橋まで		生物Aイ	→	→	生物Aイ
	芥川(2)	塚脇橋より下流		生物Bイ	→	→	生物Bイ
	水無瀬川	全域		生物Aイ	→	→	生物Aイ
神崎川水系	神崎川	安威川、猪名川を除く神崎川			生物Bイ	→	生物Bイ
	天竺川	全域				生物Bイ	生物Bイ
	安威川上流	茨木市取水口より上流		生物Aイ	→	→	生物Aイ
	安威川下流(1)・(2)	茨木市取水口から戸伏まで		生物Bイ	→	生物Bイ	生物Bイ
		戸伏から大正川合流点まで		生物Bイ	→		
	安威川下流(3)	大正川合流点より下流		生物Bイ	→	→	生物Bイ
	佐保川及び茨木川	全域		生物Bイ	→	→	生物Bイ
	大正川	全域		生物Bイ	→	→	生物Bイ
	勝尾寺川	全域		生物Bイ	→	→	生物Bイ
	猪名川上流	箕面川合流点より上流			生物Bイ	→	生物Bイ
	猪名川下流(2)	藻川分岐点から藻川合流点まで				→	
	箕面川(1)	箕面市取水口より上流		生物Aイ	→	→	生物Aイ
	箕面川(2)	箕面市取水口から兵庫県界まで		生物Bイ	→	→	生物Bイ
	余野川	全域		生物Aイ	→	→	生物Aイ
	千里川	全域		生物Bイ	→	→	生物Bイ
	田尻川	兵庫県界より上流		生物Aイ	→	→	生物Aイ
	一庫・大路次川	京都府界から兵庫県界まで		生物Aイ	→	→	生物Aイ
山辺川	全域		生物Aイ	→	→	生物Aイ	

※網掛けは、国が類型を指定する河川水域を示す。

1
2

区分	河川水域名	区 域	①	②	③	④	現在
			H18	H21	H21	H29	
寝屋川水系	寝屋川(1)	住道大橋より上流		生物B口	→	→	生物B口
	恩智川	全域				生物B口	生物B口
大阪市内河川	大川 (大川+城北川)	大川全域及び城北川全域		生物Bイ	→	→	生物Bイ
	堂島川	全域		生物Bイ	→	→	生物Bイ
	土佐堀川	全域		生物Bイ	→	→	生物Bイ
	道頓堀川	全域		生物Bイ	→	→	生物Bイ
	正蓮寺川	全域		生物Bイ	→	→	生物Bイ
	六軒家川	全域		生物Bイ	→	→	生物Bイ
	安治川	全域		生物Bイ	→	→	生物Bイ
	尻無川	全域		生物Bイ	→	→	生物Bイ
	木津川	全域		生物Bイ	→	→	生物Bイ
	木津川運河	全域		生物Bイ	→	→	生物Bイ
	住吉川	全域		生物Bイ	→	→	生物Bイ
	東横堀川	全域		生物Bイ	→	→	生物Bイ
大和川水系	石川	全域		生物Bイ	→	→	生物Bイ
	千早川	全域		生物Bイ	→	→	生物Bイ
	天見川	全域		生物Bイ	→	→	生物Bイ
	石見川	全域		生物Aイ	→	→	生物Aイ
	飛鳥川	全域		生物Bイ	→	→	生物Bイ
	梅川	全域		生物Bイ	→	→	生物Bイ
	佐備川	全域		生物Bイ	→	→	生物Bイ
	大和川中流	桜井市初瀬取入口から 浅香山まで	生物Bイ	→	→	→	生物Bイ
	大和川下流	浅香山より下流		→	→	→	
	東除川	全域		生物B口	→	→	生物B口
西除川(1)	狭山池流出端より上流		生物Bイ	→	→	生物Bイ	
泉州諸河川	和田川	全域		生物Bイ	→	→	生物Bイ
	大津川上流	泉大津市高津取水口より上流		生物Bイ	→	→	生物Bイ
	大津川下流	泉大津市高津取水口より下流				生物Bイ	生物Bイ
	牛滝川	全域		生物Bイ	→	→	生物Bイ
	松尾川	全域		生物Bイ	→	→	生物Bイ
	檀尾川	全域		生物Bイ	→	→	生物Bイ
	父鬼川	全域		生物Bイ	→	→	生物Bイ
	近木川上流	柰谷川合流点より上流		生物Bイ	→	→	生物Bイ
	櫻井川上流	菟田橋より上流		生物Bイ	→	→	生物Bイ
	男里川	全域		生物B口	→	→	生物B口
	金熊寺川	全域		生物Bイ	→	→	生物Bイ
	菟砥川	全域		生物Bイ	→	→	生物Bイ
	山中川	全域		生物Bイ	→	→	生物Bイ
	番川	全域		生物Bイ	→	→	生物Bイ
	大川	全域		生物Bイ	→	→	生物Bイ
	東川	全域		生物Bイ	→	→	生物Bイ
西川	全域		生物Bイ	→	→	生物Bイ	

※網掛けは、国が類型を指定する河川水域を示す。

類型における、「イ」は直ちに達成、「口」は5年以内で可及的速やかに達成、「ハ」は5年を超える期間で可及的速やかに達成、を示す。

1 **2. 河川の利用状況**

2 府内河川における利水等の状況は表3に示すとおりである。

3

4

表3 府内河川における利水等の状況

水系	利用状況	上水道水源	漁業権 (アユ・マスの遊漁を実施)	利水
淀川水系		・淀川下流(1)	・芥川(1) ・水無瀬川	・農業用水 ・工業用水
神崎川水系		・猪名川上流 ・箕面川(1)	・一庫・大路次川 ・山辺川 ・余野川 ・安威川	・農業用水 ・工業用水
寝屋川水系				・農業用水 ・工業用水
大阪市内河川				・工業用水
大和川水系		・石川		・農業用水 ・工業用水
泉州諸河川		・近木川上流 ・父鬼川 ・大川		・農業用水

5

6 また、府内河川における河川環境の活用や保全の取組みの状況は表4に示す
7 とおりである。

8

9

表4 府内河川における河川環境の活用や保全の取組みの状況(1)

水系	取組みの状況
淀川水系	<ul style="list-style-type: none"> ・芥川上流の摂津峡では、平成23年にハイキングコースが追加で整備されるなど、自然探勝の場として利用されている。 ・天野川で遊歩道が整備され、芥川で河川公園が整備されるなど、散策の場や水とふれあえる場として利用されている。(平成26年から令和元年にかけて、芥川の5箇所で魚道が整備) ・芥川では、アユをシンボルとした河川環境保全の取組みが行われている。 ・地域の団体等が河川の一定区間の美化活動を継続的に行うアドプト・リバーの実施箇所数は令和4年3月末時点で20箇所ある。
神崎川水系	<ul style="list-style-type: none"> ・箕面川では、箕面滝の周辺に箕面公園が整備され、自然探勝の場として利用されている。平成22年からは川床を設置し、新たな魅力づくり・賑わいづくりが進められている。 ・神崎川で遊歩道が整備され、千里川で親水空間が整備されるなど、散策の場や水とふれあえる場として利用されている。 ・アドプト・リバーの実施箇所数が令和4年3月末時点で43箇所ある。

10

11

1 表4 府内河川における河川環境の活用や保全の取組みの状況（2）

水系	取組みの状況
寝屋川水系	<ul style="list-style-type: none"> ・最下流部にあたる京橋口付近では、緑地を施した遊歩道や階段護岸等が整備され都心部のオアシス的存在として利用されているほか、観光船も運行されている。中流域では、治水緑地等が整備され、散策の場等として利用されている。 ・寝屋川上流域では、地域住民と連携して生物の生息にも配慮した親水空間の整備が進められており、平成30年には6箇所目の施設が完成し、水とふれあえる場として利用されている。 ・アドプト・リバーの実施箇所数が令和4年3月末時点で30箇所ある。
大阪市内河川	<ul style="list-style-type: none"> ・水の回廊を活用して水都大阪を推進する取組みが平成21年から本格化しており、各地で遊歩道や船着場が整備され、散策の場や観光の拠点として利用されている。また、平成23年には毛馬桜之宮公園貯木場跡の水辺を活用して砂浜（ふれあいの水辺）が整備され、水とふれあえる場として利用されており、令和2年には東横堀川に船着場に隣接する水辺空間が整備され、水辺アクティビティの拠点等として利用されている。 ・アドプト・リバーの実施箇所数が令和4年3月末時点で10箇所ある。
大和川水系	<ul style="list-style-type: none"> ・石見川では、川沿いにハイキングコースが整備され、自然探勝の場として利用されている。 ・石川で河川公園が整備されるなど、散策の場や水とふれあえる場として利用されている。 ・石川では、平成24年から、地元の高校生が中心となって、上流域へのアユの遡上を目指した取組みが進められている。 ・西除川では、令和2年に遊歩道が整備され、水とみどりを体感できる場として利用されている。 ・アドプト・リバーの実施箇所数が令和4年3月末時点で23箇所ある。
泉州諸河川	<ul style="list-style-type: none"> ・大津川や春木川では遊歩道が整備され、松尾川や牛滝川上流域では親水空間が整備されるなど、散策の場や水とふれあえる場として利用されている。 ・近木川の河口部において自然の再生を図るため、汽水ワンドが整備されている。 ・春木川の下流や佐野川の上流に位置する住吉川では、水とふれあえる場の整備が計画されている。 ・石津川では、アユをシンボルとした河川環境の改善に向けた取組みが進められている。 ・芦田川では、二層河川が整備され、遊歩道が健康づくりの場等として利用されている。 ・樫井川では、自然環境を活かした水辺空間の整備（遊歩道・サイクリングロードなど）が進められている（令和5年度概成予定）。 ・アドプト・リバーの実施箇所数が令和4年3月末時点で58箇所ある。

2
3
4
5
6

3. 水質等の状況

(1) BOD等5項目

1) BOD

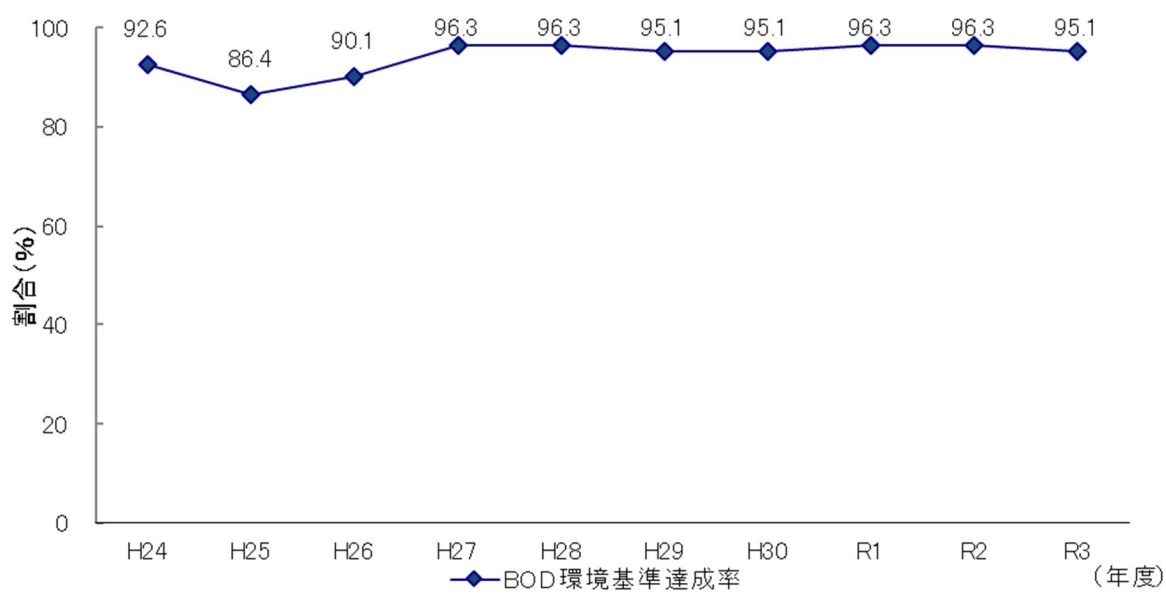
○ 環境基準達成状況

類型別の環境基準達成率の推移は表5のとおりで、C、D、E類型は近年ほぼ100%である。また、府域全体の過去10年間の達成率は図1のとおり平成27年度以降は95%以上で推移している。なお、令和3年度のデータは暫定値である。

表5 水質環境基準（BOD）の達成率の推移

年度 項目 類型(基準値)		平成29		平成30		令和元		令和2		令和3	
		達成 状況	達成 率 (%)	達成 状況	達成 率 (%)	達成 状況	達成 率 (%)	達成 状況	達成 率 (%)	達成 状況	達成 率 (%)
A A	1mg/L	3	100	3	100	3	100	3	100	2	66.7
	以下	3		3		3		3			
A	2mg/L	24	92.3	23	88.5	24	92.3	24	92.3	25	96.2
	以下	26		26		26		26			
B	3mg/L	28	96.6	28	96.6	28	96.6	28	96.6	27	93.1
	以下	29		29		29		29			
C	5mg/L	7	88	8	100	8	100	8	100	8	100
	以下	8		8		8		8			
D	8mg/L	11	100	11	100	11	100	11	100	11	100
	以下	11		11		11		11			
E	10mg/L	4	100	4	100	4	100	4	100	4	100
	以下	4		4		4		4			
全 類 型		77	95.1	77	95.1	78	96.3	78	96.3	77	95.1
		81		81		81		81			

(注) 達成状況の上段は達成水域数、下段は類型別の全水域数を示す。



※府内全 81 水域における割合を示す。

図 1 水質環境基準（BOD）の達成状況

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7
- 8
- 9
- 10
- 11
- 12
- 13
- 14
- 15
- 16
- 17
- 18
- 19
- 20
- 21
- 22
- 23
- 24

1 (BODの経年変化と類型指定改定状況)

2 府内の水域別のBOD75%値(BODの環境基準達成状況の年間評価指
3 標)及び年平均値の経年変化と類型指定改定状況は、表6～表11に示す
4 とおりである。

5 ① 淀川水系

6 【類型指定】

7 ○9水域の内、国が淀川本川の2水域について、府が残りの7水域につ
8 いて指定。

9 【前回類型を見直した水域】

10 ○芥川(1)(A類型→AA類型):環境基準(1mg/L以下)を達成。

11 【平成29年度以降に環境基準未達成の河川・水域】

12 ○なし

13 表6-1 BOD75%値の経年変化と類型指定改定状況(淀川水系)

水域名(環境基準点)	H21の類 型	BODの75%値(mg/L)							H29.1府 見直し	BODの75%値(mg/L)					現在の 類型
		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28		H29	H30	R1	R2	R3	
淀川下流(1)(枚方大橋流心) (枚方大橋左岸) (枚方大橋右岸) (烏飼大橋流心) (烏飼大橋左岸) (烏飼大橋右岸) (菅原城北大橋*)	B/A	1.3	1.1	1.4	1.2	1.0	1.1	1.1		1.2	1.0	1.1	1.2	1.1	B/A
		1.2	1.3	1.3	1.3	1.1	1.1	1.1		1.2	1.1	1.1	1.2	1.2	
		1.3	1.2	1.2	1.3	1.1	1.1	1.1		1.2	1.0	1.1	1.2	1.1	
		1.3	1.2	1.3	1.1	1.0	1.0	1.0		1.2	0.9	1.0	1.0	1.1	
		1.0	1.4	1.2	1.2	0.9	1.1	1.1		0.9	0.9	1.0	1.0	1.0	
		1.0	1.2	1.2	1.1	0.9	1.1	1.0		1.1	0.9	1.1	1.0	1.1	
		1.2	1.2	1.3	1.6	1.1	1.0	1.0		1.2	1.2	0.9	1.2	1.0	
		1.6	1.3	1.8	5.5	5.8	1.8	1.6		4.0	3.1	3.2	2.4	1.8	
船橋川(新登橋上流)	B/A	3.3	4.6	3.0	3.6	3.3	2.7	2.6	2.9	2.1	3.0	2.1	2.1	B/A	
穂谷川(淀川合流直前)	B/A	5.5	5.1	4.0	2.8	2.1	3.2	2.1	2.2	1.9	2.5	1.9	2.0	B/A	
檜尾川(磐手社神社)	B/I	2.9	3.3	1.8	1.0	1.9	1.6	1.0	1.0	1.2	1.0	0.8	0.8	B/I	
天野川(淀川合流直前)	B/A	2.8	3.8	2.1	2.3	2.7	1.8	1.9	2.9	2.1	2.5	1.3	1.5	B/A	
芥川(1)(塚脇橋)	A/I	0.9	0.7	0.5	0.6	0.8	0.5	0.5	A⇒AA	0.6	0.7	0.8	0.5	0.5	AA/I
芥川(2)(鷺打橋)	A/I	0.9	1.0	0.8	1.3	1.1	0.7	0.7		0.9	0.8	0.9	0.9	0.9	A/I
水無瀬川(名神高速道路高架橋下)	A/I	0.5	<0.5	<0.5	0.6	0.5	0.6	0.5		0.9	0.6	0.8	0.7	1.1	A/I

15 ※網掛けは、国が類型を指定する河川水域を示す

16 **太字** 環境基準未達成

17 *平成28年度より西日本旅客鉄道(株)赤川鉄橋から名称変更

18 表6-2 BOD年平均値の経年変化と類型指定改定状況(淀川水系)

水域名(環境基準点)	H21の類 型	BODの年平均値(mg/L)							H29.1府 見直し	BODの年平均値(mg/L)					現在の 類型
		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28		H29	H30	R1	R2	R3	
淀川下流(1)(枚方大橋流心) (枚方大橋左岸) (枚方大橋右岸) (烏飼大橋流心) (烏飼大橋左岸) (烏飼大橋右岸) (菅原城北大橋*)	B/A	1.1	1.1	1.2	1.1	0.9	1.0	1.0		1.1	1.0	0.9	0.9	1.0	B/A
		1.0	1.1	1.3	1.2	0.9	1.1	1.0		1.1	1.0	0.9	1.0	0.9	
		1.0	1.1	1.2	1.1	0.9	1.0	1.0		1.1	1.0	0.9	0.9	1.0	
		1.1	1.2	1.2	1.2	0.9	1.0	1.0		1.0	0.9	0.8	0.9	0.9	
		0.9	1.2	1.2	1.1	0.8	1.0	1.3		0.9	0.8	0.9	0.8	0.9	
		0.9	1.1	1.1	1.1	0.8	1.0	1.1		0.9	0.8	0.9	0.8	0.9	
		1.0	1.1	1.2	1.3	1.0	1.1	0.9		1.1	1.2	0.9	1.0	1.0	
		1.8	1.5	1.9	4.0	4.1	2.6	2.6		2.6	3.4	2.2	2.4	2.2	
船橋川(新登橋上流)	B/A	3.2	4.1	2.5	3.2	3.1	2.3	2.8	2.9	2.0	2.4	1.9	1.8	B/A	
穂谷川(淀川合流直前)	B/A	4.1	4.2	3.0	2.6	2.1	2.7	1.7	2.0	1.6	2.0	1.6	1.8	B/A	
檜尾川(磐手社神社)	B/I	2.5	2.4	1.7	1.0	1.5	1.3	0.8	0.9	1.0	0.9	0.6	0.9	B/I	
天野川(淀川合流直前)	B/A	2.4	3.1	1.8	2.0	2.2	1.6	1.5	2.4	1.7	2.0	1.3	1.5	B/A	
芥川(1)(塚脇橋)	A/I	0.8	0.6	0.6	0.6	0.7	0.6	0.5	A⇒AA	0.6	0.6	0.7	0.5	0.5	AA/I
芥川(2)(鷺打橋)	A/I	0.8	1.0	0.8	1.3	0.9	0.8	0.7		0.8	0.7	0.8	0.9	0.8	A/I
水無瀬川(名神高速道路高架橋下)	A/I	0.6	0.5	0.5	0.6	0.5	0.7	0.6		0.8	0.8	0.7	0.7	0.8	A/I

19 ※網掛けは、国が類型を指定する河川水域を示す。

20 *平成28年度より西日本旅客鉄道(株)赤川鉄橋から名称変更

② 神崎川水系

【類型指定】

○17 水域のうち、国が神崎川、猪名川上流、猪名川下流(2)の3水域について、府が残り14水域について指定。

【前回類型を見直した水域】

○天竺川（新規B類型指定）：環境基準（2mg/L以下）を達成。

○箕面川(1)（A類型→AA類型）：環境基準（1mg/L以下）を達成。

【平成29年度以降に環境基準未達成の河川・水域】

○大正川（A類型、環境基準2mg/L以下）：平成29年度（2.1mg/L）

表7-1 BOD75%値の経年変化と類型指定改定状況（神崎川水系）

水域名(環境基準点)	H21の類型	BODの75%値(mg/L)							H29.1府見直し	BODの75%値(mg/L)					現在の類型
		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28		H29	H30	R1	R2	R3	
神崎川(新三国橋) (千船橋)	B口	1.4	1.5	1.8	1.6	1.3	1.5	1.7		2.6	3.0	2.0	1.8	2.2	B口
		1.9	1.8	2.0	2.4	1.6	1.2	1.1		1.3	1.7	1.8	1.8	1.8	
		1.7	1.8	1.6	2.3	2.7	1.7	2.0		2.5	2.7	2.5	2.4	2.9	
天竺川(神崎川交流直前)							0.9	新規B	1.6	1.9	2.1	1.2	1.4	Bイ	
安威川上流(桑ノ原橋)	Aイ	0.9	0.6	0.6	0.7	0.9	0.6	0.6	類型範囲の統合	0.6	1.3	0.8	0.6	0.8	Aイ
安威川下流(1)(千蔵橋)	Aイ	1.2	1.3	1.0	1.1	1.2	0.8	1.0		0.9	1.5	0.9	0.8	0.8	Aイ
安威川下流(2)(宮鳥橋)	Aイ	1.2	1.1	1.2	1.4	1.5	1.0	0.8		1.1	1.6	0.9	1.3	0.9	
安威川下流(3)(新京阪橋)	B口	1.8	1.6	2.1	1.6	1.3	2.1	1.8		1.7	2.2	2.4	1.7	3.0	B口
佐保川及び茨木川(安威川合流直前)	Aイ	1.3	1.0	1.1	1.1	1.3	1.2	0.9		1.1	1.4	0.8	1.2	1.1	Aイ
大正川(安威川合流直前)	Aイ	1.7	1.2	1.6	1.9	1.5	1.7	1.7		2.1	2.0	1.9	1.7	1.6	Aイ
勝尾寺川(中河原橋)	A口	1.6	1.4	1.3	1.3	1.3	1.2	1.0		1.1	1.4	0.8	1.0	1.0	A口
	Aイ	1.1	1.1	1.1	0.8	0.8	0.9	0.6		0.8	0.8	1.2	0.8	0.8	Aイ
猪名川上流(銀橋) (軍行橋)	Aイ	1.1	1.1	1.0	0.8	0.8	0.8	0.7		0.7	0.9	1.3	0.9	0.8	Aイ
猪名川下流(2)(利倉橋)	Dイ	9.5	6.8	10	9.9	8.1	8.1	3.6		2.3	2.8	3.3	2.9	3.4	Dイ
箕面川(1)(箕面市取水口)	Aイ	0.5	<0.5	0.7	0.5	0.6	0.6	0.6	A⇒AA	0.9	0.8	0.9	0.6	0.8	AAイ
箕面川(2)(府県境)	Aイ	0.9	0.8	0.8	1.5	1.4	1.5	1.1		1.7	1.6	1.5	1.3	1.3	Aイ
余野川(猪名川合流直前)	Aイ	0.5	<0.5	0.5	0.7	0.5	0.7	0.7		0.8	0.6	0.9	1.5	1.1	Aイ
千里川(猪名川合流直前)	Aイ	1.3	1.3	1.2	1.1	1.1	1.1	1.2		1.4	1.4	1.7	1.4	1.5	Aイ
田尻川(兵庫県界)	Aイ	0.8	0.6	0.8	0.9	0.8	1.2	0.7		0.8	1.2	1.2	1.5	1.3	Aイ
一庫・大路次川(兵庫県界)	Aイ	0.8	0.7	0.7	0.9	0.6	1.1	0.6		0.7	0.7	1.1	1.2	1.2	Aイ
山辺川(一庫・大路次川合流直前)	Aイ	0.6	0.7	0.8	0.7	0.6	1.1	0.6		1.2	0.9	1.3	1.1	1.0	Aイ

※網掛けは、国が類型を指定する河川水域を示

太字 環境基準未達成

1 表 7 - 2 BOD年平均値の経年変化と類型指定改定状況（神崎川水系）

水域名(環境基準点)	H21の類型	BODの年平均値(mg/L)							H29.1府見直し	BODの年平均値(mg/L)					現在の類型
		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28		H29	H30	R1	R2	R3	
神崎川(新三国橋) (千船橋)	B口	1.5	1.9	1.9	1.5	1.4	1.4	1.5		2.3	2.2	1.7	1.4	2.0	B口
		1.6	1.6	1.6	2.0	1.2	1.2	1.0		1.2	1.3	1.7	1.6	1.5	
		1.6	1.7	1.5	1.9	1.8	1.9	1.7		2.2	2.2	2.0	1.8	2.0	
天竺川(神崎川交流直前)							1.0	0.9	新規B	1.5	1.5	1.7	1.0	1.1	Bイ
安威川上流(桑ノ原橋)	Aイ	0.8	0.6	0.6	0.7	0.9	0.6	0.7	類型範囲 の統合	0.6	1.2	0.7	0.6	0.7	Aイ
安威川下流(1)(千歳橋)	Aイ	1.1	0.9	0.9	0.9	1.3	0.9	1.1		0.8	1.4	0.8	0.8	0.8	Aイ
安威川下流(2)(宮島橋)	Aイ	1.0	0.9	1.0	1.2	1.3	0.9	0.8		0.9	1.3	0.8	1.1	0.9	
安威川下流(3)(新京阪橋)	B口	1.8	1.8	2.3	1.5	1.4	1.8	1.8		2.7	2.7	1.8	2.0	3.1	B口
佐保川及び茨木川(安威川合流直前)	Aイ	1.1	0.9	1.0	1.0	1.1	1.0	0.8		0.9	1.1	0.8	0.9	0.9	Aイ
大正川(安威川合流直前)	Aイ	1.3	1.1	1.7	1.6	1.4	1.6	1.5		2.0	1.7	1.6	1.5	1.7	Aイ
勝尾寺川(中河原橋)	A口	1.4	1.2	1.1	1.1	1.2	1.2	1.0		0.9	1.2	0.7	1.0	1.1	A口
猪名川上流(銀橋) (軍行橋)	Aイ	0.9	1.0	0.9	0.7	0.7	0.8	0.6		0.7	0.7	1.1	0.7	0.7	Aイ
		0.9	0.9	0.9	0.7	0.7	0.7	0.7		2.6	0.7	1.0	0.7	0.7	
猪名川下流(2)(利倉橋)	Dイ	8.2	7.4	8.3	7.9	6.8	6.5	3.4		2.6	3.2	2.8	2.5	2.6	Dイ
箕面川(1)(箕面市取水口)	Aイ	0.5	0.5	0.6	0.5	0.6	0.6	0.6	A⇒AA	0.9	0.6	0.9	0.6	0.7	AAイ
箕面川(2)(府県境)	Aイ	0.8	0.6	0.7	1.2	1.2	1.2	0.9		1.2	1.4	1.5	1.0	1.3	Aイ
余野川(猪名川合流直前)	Aイ	0.5	0.6	0.5	0.6	0.5	0.8	0.7		0.8	0.6	1.0	1.4	1.1	Aイ
千里川(猪名川合流直前)	Aイ	1.2	1.2	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0		1.3	1.3	1.5	1.1	1.4	Aイ
田尻川(兵庫県界)	Aイ	0.7	0.8	0.7	0.7	0.7	1.0	0.7		0.8	1.1	1.1	1.1	1.2	Aイ
一庫・大路次川(兵庫県界)	Aイ	0.7	0.6	0.7	0.7	0.6	0.9	0.6		0.7	0.9	1.1	1.3	1.2	Aイ
山辺川(一庫・大路次川合流直前)	Aイ	0.6	0.6	0.7	0.7	0.6	0.8	0.7		1.1	0.9	1.0	0.9	0.9	Aイ

※網掛けは、国が類型を指定する河川水域を示す。

- 2
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7
- 8
- 9
- 10
- 11
- 12
- 13
- 14
- 15
- 16
- 17
- 18
- 19
- 20
- 21
- 22
- 23

③ 寝屋川水系

【類型指定】

○府が全7水域を指定。

【前回類型を見直した水域】

○寝屋川(1) (C類型→B類型)：環境基準(3mg/L以下)を達成。

○恩智川(D類型→C類型)：環境基準(5mg/L以下)を達成。

【平成29年度以降に環境基準未達成の河川・水域】

○なし

表8-1 BOD75%値の経年変化と類型指定改定状況(寝屋川水系)

水域名(環境基準点)	H21の類型	BODの75%値(mg/L)							H29.1府見直し	BODの75%値(mg/L)					現在の類型
		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28		H29	H30	R1	R2	R3	
寝屋川(1) (萱島橋) (住道大橋)	Cイ	1.2	1.6	2.0	1.9	2.2	2.3	1.8	C⇒B	1.6	1.9	2.4	1.8	2.0	Bイ
		1.9	1.9	2.4	2.1	1.6	2.0	2.1		2.0	2.6	2.0	1.7	2.5	
寝屋川(2) (今津橋) (京橋)	Dハ	5.6	5.6	6.5	5.5	5.7	5.3	2.5		4.8	5.7	4.4	3.2	5.1	Dロ
		3.5	2.5	5.0	3.8	2.4	3.7	2.0		1.9	2.8	2.8	1.8	3.4	
恩智川 (住道新橋)	Dイ	5.1	3.7	3.7	3.2	2.7	2.9	3.4	D⇒C	4.7	3.6	3.4	2.3	2.2	Cロ
古川 (徳栄橋)	Dロ	5.6	5.4	4.4	4.4	6.2	4.6	2.7		4.2	5.1	3.9	2.4	4.3	Dロ
第二寝屋川 (新金吾郎橋)	Dイ	8.6	4.8	7.3	6.9	9.5	3.2	4.0		5.1	7.7	4.9	4.4	7.3	Dイ
平野川分水路 (天王田大橋)	Dイ	6.1	5.8	6.6	5.4	5.7	4.8	4.8		4.1	3.6	3.3	3.0	4.5	Dイ
平野川 (城見橋)	Dイ	5.9	5.7	5.9	4.5	5.1	4.2	2.9		2.5	3.7	2.8	2.6	4.4	Dイ

太字 環境基準未達成

表8-2 BOD年平均値の経年変化と類型指定改定状況(寝屋川水系)

水域名(環境基準点)	H21の類型	BODの年平均値(mg/L)							H29.1府見直し	BODの年平均値(mg/L)					現在の類型
		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28		H29	H30	R1	R2	R3	
寝屋川(1) (萱島橋) (住道大橋)	Cイ	0.9	1.4	1.7	1.6	1.9	1.9	1.4	C⇒B	1.6	1.7	2.3	2.0	1.6	Bイ
		1.6	1.8	2.2	1.7	1.5	1.7	1.8		2.1	2.4	1.8	1.4	2.6	
寝屋川(2) (今津橋) (京橋)	Dハ	5.7	4.7	5.7	4.9	5.6	4.4	2.4		3.9	5.6	4.0	3.1	4.5	Dロ
		3.1	2.3	4.0	3.2	2.7	2.9	1.8		2.5	2.9	2.5	1.7	2.8	
恩智川 (住道新橋)	Dイ	3.8	3.2	3.4	2.7	2.5	2.8	3.0	D⇒C	3.7	4.4	2.7	2.0	2.5	Cロ
古川 (徳栄橋)	Dロ	4.2	4.8	5.0	3.7	4.2	3.7	2.4		3.4	4.2	3.7	2.7	3.6	Dロ
第二寝屋川 (新金吾郎橋)	Dイ	6.5	4.5	5.8	6.0	7.0	3.1	4.8		5.4	6.4	4.0	4.1	5.5	Dイ
平野川分水路 (天王田大橋)	Dイ	4.7	4.7	5.8	4.3	5.0	3.7	4.2		4.4	3.6	3.4	2.6	3.7	Dイ
平野川 (城見橋)	Dイ	4.7	4.4	4.5	4.0	4.2	3.2	3.2		2.8	3.7	2.7	2.6	3.1	Dイ

④ 大阪市内河川

【類型指定】

○府が全 12 水域を指定。

【前回類型を見直した水域】

○なし

【平成 29 年度以降に環境基準未達成の河川・水域】

○正連寺川（B 類型、環境基準 3mg/L 以下）：令和元年度（3.1mg/L）

○住吉川（B 類型、環境基準 3mg/L 以下）：令和 3 年度（3.3mg/L）

表 9 - 1 BOD75%値の経年変化と類型指定改定状況（大阪市内河川）

水域名(環境基準点)	H21の類型	BODの75%値(mg/L)							H29.1府見直し	BODの75%値(mg/L)					現在の類型
		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28		H29	H30	R1	R2	R3	
大 川 (桜 宮 橋)	Bイ	0.8	1.0	1.1	0.9	0.7	0.8	0.8		1.0	1.4	1.1	0.9	1.2	Bイ
堂 島 川 (天 神 橋)	Bイ	1.8	1.9	2.2	1.5	1.2	1.3	1.3		1.4	2.0	1.4	1.2	1.8	Bイ
土 佐 堀 川 (天 神 橋)	Cイ	1.9	2.0	2.9	1.7	1.7	2.0	1.3		1.4	1.7	1.7	1.2	2.1	Cイ
道 頓 堀 川 (大 黒 橋)	Bイ	2.2	1.9	2.0	1.5	1.2	1.1	0.9		1.1	1.4	1.5	1.2	1.2	Bイ
正 連 寺 川 (北 港 大 橋 下 流 700 m)	Bイ	2.4	1.8	1.8	3.0	2.1	1.4	1.9		2.3	2.2	3.1	2.1	2.7	Bイ
六 軒 家 川 (春 日 出 橋)	Bイ	1.3	1.3	1.0	0.9	0.9	0.9	0.7		1.3	1.3	1.3	2.4	1.1	Bイ
安 治 川 (天 保 山 渡)	Bイ	1.3	1.2	1.1	1.1	0.8	1.0	0.7		1.1	1.6	1.5	1.2	1.1	Bイ
尻 無 川 (甚 兵 衛 渡)	Bイ	1.1	1.2	1.6	1.3	1.3	1.4	0.9		1.1	1.3	1.3	1.0	1.5	Bイ
木 津 川 (千 本 松 渡)	Bイ	1.3	1.4	1.6	1.3	1.3	1.5	1.1		1.3	1.6	1.7	1.4	2.0	Bイ
木 津 川 運 河 (船 町 渡)	Bイ	1.4	1.9	1.8	1.5	1.8	1.6	1.3		1.7	1.7	1.9	2.2	2.2	Bイ
住 吉 川 (住 之 江 大 橋 下 流 1100 m)	B口	2.3	3.5	2.6	2.6	1.9	2.0	2.0		2.2	2.2	1.9	1.6	3.3	B口
東 横 堀 川 (本 町 橋)	Bイ	2.0	2.0	1.8	1.6	1.5	1.9	1.5		1.3	1.6	2.0	1.0	2.1	Bイ

太字 環境基準未達成

表 9 - 2 BOD年平均値の経年変化と類型指定改定状況（大阪市内河川）

水域名(環境基準点)	H21の類型	BODの年平均値(mg/L)							H29.1府見直し	BODの年平均値(mg/L)					現在の類型
		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28		H29	H30	R1	R2	R3	
大 川 (桜 宮 橋)	Bイ	0.7	0.9	0.9	0.8	0.6	0.7	0.8		1.2	1.1	1.1	0.8	0.9	Bイ
堂 島 川 (天 神 橋)	Bイ	1.6	1.5	2.1	1.3	1.2	1.3	1.1		1.6	1.5	1.2	1.1	1.7	Bイ
土 佐 堀 川 (天 神 橋)	Cイ	1.7	1.7	2.9	1.6	1.4	1.6	1.1		1.4	1.5	1.5	1.1	1.9	Cイ
道 頓 堀 川 (大 黒 橋)	Bイ	1.8	1.5	1.8	1.4	1.1	1.0	0.7		0.9	1.1	1.1	1.7	1.0	Bイ
正 連 寺 川 (北 港 大 橋 下 流 700 m)	Bイ	1.9	1.6	1.4	3.3	1.7	1.6	1.8		1.9	2.0	3.2	1.8	2.7	Bイ
六 軒 家 川 (春 日 出 橋)	Bイ	1.1	1.2	0.9	0.9	0.7	0.9	0.7		1.1	1.1	1.1	1.6	1.1	Bイ
安 治 川 (天 保 山 渡)	Bイ	1.0	1.0	0.9	1.0	0.8	0.9	0.7		1.0	1.1	1.1	1.1	1.1	Bイ
尻 無 川 (甚 兵 衛 渡)	Bイ	1.1	1.0	1.4	1.1	1.0	1.1	0.8		1.1	1.1	1.4	0.9	1.2	Bイ
木 津 川 (千 本 松 渡)	Bイ	1.2	1.3	1.3	1.2	1.4	1.3	0.9		1.3	1.3	1.4	1.2	1.6	Bイ
木 津 川 運 河 (船 町 渡)	Bイ	1.3	1.5	1.4	1.3	1.4	1.4	1.3		1.4	1.6	1.8	1.7	1.9	Bイ
住 吉 川 (住 之 江 大 橋 下 流 1100 m)	B口	2.7	2.8	3.0	2.7	2.2	1.8	1.8		1.8	1.9	1.9	1.5	2.6	B口
東 横 堀 川 (本 町 橋)	Bイ	1.6	1.8	1.7	1.3	1.2	1.8	1.2		1.3	1.3	1.5	0.9	1.6	Bイ

⑤ 大和川水系

【類型指定】

○12 水域のうち、国が大和川本川の2水域について、府が残り10水域について指定。

【前回類型を見直した水域】

- 天見川（B類型→A類型）：環境基準（2mg/L以下）を達成。
- 石見川（A類型→AA類型）：環境基準（1mg/L以下）を達成していたが、令和3年度は、降雨、低流量などの影響により未達成。
- 佐備川（C類型→B類型）：環境基準（3mg/L以下）を達成。

【平成29年度以降に環境基準未達成の河川・水域】

- 石見川（AA類型、環境基準1mg/L以下）：令和3年度（1.3mg/L）
- 飛鳥川（C類型、環境基準5mg/L以下）：平成29年度（6.7mg/L）

表 10-1 BOD75%値の経年変化と類型指定改定状況（大和川水系）

水域名(環境基準点)	H21の類型	BODの75%値(mg/L)							H29.1府見直し	BODの75%値(mg/L)					現在の類型
		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28		H29	H30	R1	R2	R3	
石川(高橋) (石川橋)	B-I	2.1	1.1	1.0	1.6	1.1	1.6	1.5		1.8	1.6	1.7	1.2	1.6	B-I
		1.3	1.7	1.4	1.2	1.1	1.1	1.2		1.3	1.0	1.3	0.8	0.9	
千早川(石川合流直前)	A-I	0.9	0.8	1.0	1.3	0.6	1.1	0.8		1.1	1.3	0.9	0.8	1.1	A-I
天見川(新喜多橋)	B-I	1.5	0.8	1.0	1.1	1.0	1.1	0.9	B⇒A	1.4	1.2	1.1	0.9	1.3	A-I
石見川(新高野橋)	A-I	0.7	0.5	0.6	0.7	0.7	0.8	0.8	A⇒AA	0.9	0.8	0.7	0.6	1.3	AA-I
飛鳥川(円明橋)	C-□	6.9	3.2	5.5	5.6	11	4.6	4.0		6.7	2.9	4.1	2.9	4.4	C-□
梅川(石川合流直前)	A-I	1.3	1.1	1.0	1.1	1.1	1.2	1.3		1.4	1.1	1.4	1.6	1.4	A-I
佐備川(大伴橋)	C-I	2.7	2.1	2.5	2.1	1.8	1.9	2.1	C⇒B	2.6	1.8	1.7	1.4	1.8	B-I
大和川中流(河内橋) (浅香新取水口)	C-ハ	2.4	2.5	2.5	2.0	1.8	2.0	1.9		2.0	1.8	2.1	1.8	1.5	C-ハ
		2.1	2.0	2.0	1.7	1.6	2.1	2.3		1.8	2.0	1.8	1.9	1.6	
大和川下流(遠里小野橋)	D-ハ	2.6	2.4	2.2	2.0	1.7	2.2	2.1		2.0	1.8	2.0	2.0	1.7	D-ハ
東除川(明治小橋)	C-□	5.3	4.7	4.1	4.2	3.0	2.9	4.0		3.8	3.5	3.1	2.9	2.7	C-□
西除川(1)(狭山池合流直前)*	B-□	3.1	2.8	2.0	3.0	3.5	3.6	3.6		2.4	1.6	1.6	1.3	1.8	B-□
西除川(2)(大和川合流直前)	D-□	11	5.2	2.7	1.7	2.2	2.2	2.3		2.9	2.7	2.6	3.2	2.8	D-□

*網掛けは、国が類型を指定する河川水域を示す

太字 環境基準未達成

*平成28年度までは狭山池流

表 10-2 BOD年平均値の経年変化と類型指定改定状況（大和川水系）

水域名(環境基準点)	H21の類型	BODの年平均値(mg/L)							H29.1府見直し	BODの年平均値(mg/L)					現在の類型
		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28		H29	H30	R1	R2	R3	
石川(高橋) (石川橋)	B-I	1.8	1.0	0.9	1.5	1.1	1.3	1.5		1.6	1.8	1.8	1.2	1.8	B-I
		1.1	1.7	1.3	1.1	0.9	1.0	1.1		1.1	0.8	1.1	0.8	0.8	
千早川(石川合流直前)	A-I	0.8	0.7	0.8	0.9	0.6	0.9	0.9		1.2	1.1	0.9	0.8	1.1	A-I
天見川(新喜多橋)	B-I	1.3	0.9	0.9	0.9	0.8	0.9	1.1	B⇒A	1.1	1.0	1.0	0.8	1.0	A-I
石見川(新高野橋)	A-I	0.6	0.5	0.6	0.6	0.6	0.7	0.8	A⇒AA	0.8	0.7	0.7	0.6	1.0	AA-I
飛鳥川(円明橋)	C-□	5.6	2.9	5.7	15	6.8	3.5	3.3		8.1	2.3	5.4	3.0	5.2	C-□
梅川(石川合流直前)	A-I	1.1	0.9	0.9	1.0	0.9	1.2	1.2		1.3	1.0	1.2	1.0	1.1	A-I
佐備川(大伴橋)	C-I	2.5	1.8	2.0	2.2	1.4	1.9	1.8	C⇒B	2.1	1.4	1.5	1.3	1.3	B-I
大和川中流(河内橋) (浅香新取水口)	C-ハ	2.3	2.2	2.1	1.9	1.7	1.8	2.0		1.9	1.6	1.8	1.7	1.7	C-ハ
		1.9	1.7	1.9	1.7	1.5	1.8	1.9		1.7	1.8	1.7	1.7	1.6	
大和川下流(遠里小野橋)	D-ハ	2.4	2.1	2.0	1.8	1.6	1.8	1.9		1.9	1.7	1.7	1.7	1.5	D-ハ
東除川(明治小橋)	C-□	4.4	4.0	3.8	3.5	2.7	2.8	3.4		3.4	2.8	2.8	2.4	2.6	C-□
西除川(1)(狭山池合流直前)*	B-□	2.6	2.3	1.8	2.5	3.3	3.1	2.9		2.1	1.6	1.4	1.3	1.5	B-□
西除川(2)(大和川合流直前)	D-□	9.5	6.5	2.2	1.7	1.7	2.1	2.3		2.5	2.7	2.5	2.7	2.5	D-□

*網掛けは、国が類型を指定する河川水域を示す。

⑥ 泉州諸河川

【類型指定】

○府が全 24 水域を指定。

【前回類型を見直した水域】

○大津川下流（D類型→C類型）：環境基準（5mg/L以下）を達成。

【平成 29 年度以降に環境基準未達成の河川・水域】

○A類型及びB類型では、平成 29 年度以降、毎年 2～4 水域で環境基準未達成。

○大津川上流（B類型、環境基準 3mg/L以下）：令和 2 年度（3.1mg/L）

○松尾川（B類型、環境基準 3mg/L以下）：平成 30 年度（3.3mg/L）、令和 3 年度（3.1mg/L）

○樫井川上流（B類型、環境基準 3mg/L以下）：平成 29 年度（5.8mg/L）

○男里川（A類型、環境基準 2mg/L以下）：平成 30 年度（2.2mg/L）、令和 2 年度（2.8mg/L）

○金熊寺川（A類型、環境基準 2mg/L以下）：平成 30 年度～令和 2 年度（2.2mg/L）、令和 3 年度（2.3mg/L）

○菟砥川（A類型、環境基準 2mg/L以下）：平成 29 年度（2.2mg/L）、平成 30 年度（2.4mg/L）、令和元年度（2.1mg/L）

表 11- 1 B O D 75% 値の経年変化と類型指定改定状況（泉州諸河川）

水域名(環境基準点)	H21の類型	BODの75%値(mg/L)							H29.1府見直し	BODの75%値(mg/L)					現在の類型
		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28		H29	H30	R1	R2	R3	
石津川(石津川橋)	Dイ	6.7	3.4	4.8	3.3	2.2	2.2	2.1		2.5	2.2	2.3	1.7	2.0	Dイ
和田川(小野々井橋)	Cロ	4.7	3.8	3.4	2.8	1.9	2.6	2.8		3.0	2.7	2.7	2.4	1.9	Cロ
大津川上流(高津取水口)	Bロ	3.3	3.0	3.2	3.9	3.4	2.6	3.4		2.7	3.0	2.8	3.1	2.5	Bロ
大津川下流(大津川橋)	Dイ	3.7	4.2	3.9	4.5	3.2	2.6	2.9	D⇒C	3.3	2.9	3.1	2.6	2.4	Cイ
牛滝川(高橋)	Bロ	2.4	2.2	2.5	2.2	2.5	2.5	1.8		1.5	1.9	1.9	1.7	0.9	Bロ
松尾川(新緑田橋)	Bハ	3.1	3.3	2.7	3.2	2.5	2.5	2.6		2.6	3.3	3.0	2.8	3.1	Bハ
横尾川(紫和橋)	Bイ	2.9	2.8	2.6	3.4	2.2	2.0	2.1		2.2	2.5	2.3	2.4	2.5	Bイ
父鬼川(神田橋)	Aイ	1.5	1.7	1.3	1.6	1.5	1.2	1.5		1.5	1.5	1.5	1.6	1.9	Aイ
春木川(春木橋)	Dイ	5.4	4.1	5.8	4.9	3.9	3.8	3.6		3.9	2.8	2.8	4.3	2.6	Dイ
津田川(昭代橋)	Eイ	5.0	6.5	4.9	5.6	6.5	5.4	6.4		7.1	5.1	6.5	7.6	5.9	Eイ
近木川上流(厄除橋)	Bイ	2.2	1.7	1.6	2.8	1.7	1.3	1.8		1.6	1.6	1.9	2.2	2.4	Bイ
近木川下流(近木川橋)	Dイ	5.3	4.8	4.3	6.5	4.5	4.3	3.4		5.8	3.7	5.0	5.8	4.9	Dイ
見出川(見出橋)	Eイ	9.3	8.0	8.4	12	8.8	7.4	7.9		8.7	7.7	7.2	6.3	5.8	Eイ
佐野川(昭平橋)	Eイ	5.1	5.6	6.2	8.4	6.0	4.6	5.6		5.5	5.7	4.7	5.5	6.0	Eイ
樫井川上流(兔田橋)	Bイ	3.0	3.6	4.3	5.6	6.0	2.6	2.8		5.8	2.7	2.8	2.0	2.2	Bイ
樫井川下流(樫井川橋)	Eイ	4.9	5.3	4.3	4.6	4.2	4.3	3.5		4.4	3.8	4.6	3.6	4.6	Eイ
男里川(男里川橋)	Aイ	1.8	2.3	1.8	2.4	2.0	1.6	1.9		1.9	2.2	1.8	2.8	1.9	Aイ
金熊寺川(男里橋)	Aイ	2.6	2.7	2.3	2.4	1.8	1.7	2.1		2.0	2.2	2.2	2.2	2.3	Aイ
菟砥川(西打合橋)	Aイ	2.3	2.2	1.8	1.9	1.7	1.9	1.8		2.2	2.4	2.1	1.9	2.0	Aイ
山中川(東打合橋)	Aイ	1.5	1.9	1.3	1.7	1.8	1.3	1.3		1.5	1.8	1.3	1.7	1.6	Aイ
番川(田身輪橋)	Aイ	1.2	1.3	1.0	1.2	1.2	0.8	1.2		1.0	1.3	0.9	1.4	1.4	Aイ
大川(昭南橋)	Aイ	1.6	1.4	1.3	1.6	1.4	1.2	1.5		1.5	1.6	1.3	1.7	1.9	Aイ
東川(一軒屋橋)	Aイ	1.5	1.7	1.2	1.4	1.4	1.1	1.4		1.3	1.4	1.2	1.3	1.5	Aイ
西川(こうや橋)	Aイ	1.6	1.1	1.0	1.1	1.1	0.9	1.1		1.0	1.3	1.0	1.4	1.3	Aイ

1 表 11-2 BOD 年平均値の経年変化と類型指定改定状況（泉州諸河川）

流域名(環境基準点)	H21の類型	BODの年平均値(mg/L)								H29.1府見直し	BODの年平均値(mg/L)					現在の類型	
		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29		H30	R1	R2	R3			
泉 州 諸 河 川	石津川(石津川橋)	Dイ	6.2	3.3	3.4	2.9	2.2	1.9	1.9			2.5	1.9	2.0	1.4	1.7	Dイ
	和田川(小野々井橋)	Cロ	4.4	3.4	2.7	2.8	1.9	2.4	2.2			3.1	2.6	2.5	2.0	2.0	Cロ
	大津川上流(高津取水口)	Bロ	2.9	2.8	2.9	3.3	3.1	2.3	2.3			2.8	2.7	2.3	2.6	2.0	Bロ
	大津川下流(大津川橋)	Dイ	3.6	3.6	3.2	3.7	2.7	2.4	2.3	D⇒C		3.0	2.5	2.4	2.2	2.1	Cイ
	牛滝川(高橋)	Bロ	2.4	2.0	2.1	1.8	2.1	2.1	1.5			1.5	1.6	1.9	1.4	1.1	Bロ
	松尾川(新緑田橋)	Bハ	3.0	3.1	2.4	2.8	2.4	2.2	2.3			2.6	2.7	2.7	2.6	2.5	Bハ
	横尾川(繁和橋)	Bイ	2.6	2.7	2.1	2.9	2.0	1.9	2.0			2.0	2.2	2.0	2.1	2.2	Bイ
	父鬼川(神田橋)	Aイ	1.3	1.5	1.2	1.3	1.5	1.1	1.3			1.3	1.4	1.3	1.4	1.6	Aイ
	春木川(春木橋)	Dイ	5.3	4.2	4.8	4.2	3.7	3.6	2.9			3.5	2.3	2.3	3.8	2.7	Dイ
	津田川(昭代橋)	Eイ	5.2	5.8	3.9	5.5	5.0	5.1	5.0			6.6	5.5	5.4	6.7	5.1	Eイ
泉 州 諸 河 川	近木川上流(厄除橋)	Bイ	1.6	1.6	1.5	2.2	1.5	1.2	1.5			1.5	1.6	1.5	2.1	2.2	Bイ
	近木川下流(近木川橋)	Dイ	4.5	4.1	3.6	5.6	4.1	3.3	3.3			5.1	3.6	3.9	4.3	3.5	Dイ
	見出川(見出橋)	Eイ	8.5	7.8	7.4	10	7.9	6.5	5.8			7.3	6.7	6.0	6.6	5.4	Eイ
	佐野川(昭平橋)	Eイ	5.0	5.2	5.1	7.1	5.2	4.2	4.5			4.9	4.8	4.2	5.0	5.3	Eイ
	榎井川上流(鬼田橋)	Bイ	2.9	3.0	3.1	4.4	4.5	2.4	2.4			3.9	2.3	2.4	1.9	2.7	Bイ
	榎井川下流(榎井川橋)	Eイ	5.1	4.3	3.7	4.2	3.8	3.4	3.2			4.4	3.4	3.8	3.5	3.5	Eイ
	男里川(男里川橋)	Aイ	1.5	2.1	1.6	1.9	1.6	1.4	1.7			1.7	2.0	1.7	2.1	1.8	Aイ
	金熊寺川(男里橋)	Aイ	2.5	2.3	2.0	2.1	1.8	1.5	1.8			1.9	2.1	1.9	2.0	1.8	Aイ
	菟砥川(西打合橋)	Aイ	2.1	2.0	1.7	1.7	1.6	1.5	1.6			1.9	2.0	1.8	1.8	1.8	Aイ
	山中川(東打合橋)	Aイ	1.5	1.7	1.2	1.4	1.4	1.2	1.1			1.3	1.6	1.3	1.4	1.4	Aイ
泉 州 諸 河 川	番川(田身輪橋)	Aイ	1.0	1.1	0.9	1.0	1.1	0.7	0.9			1.0	1.1	0.9	1.2	1.0	Aイ
	大川(昭南橋)	Aイ	1.4	1.3	1.2	1.4	1.3	1.1	1.2			1.3	1.4	1.4	1.5	1.6	Aイ
	東川(一軒屋橋)	Aイ	1.5	1.6	1.1	1.3	1.2	1.0	1.1			1.1	1.2	1.0	1.2	1.3	Aイ
	西川(こうや橋)	Aイ	1.2	1.1	0.8	1.0	1.0	0.8	0.9			0.9	1.1	0.8	1.0	1.0	Aイ

2

3

4

5

2) その他の項目 (pH、DO、SS、大腸菌群数)

① pH

○環境基準値：AA～C類型は6.5以上8.5以下、D、E類型は6.0以上8.5以下。

○調査方法：原則として6時間間隔で4回採取し、個々の試料を測定。

○令和3年度結果：表12のとおり。

調査した2,624検体のうち、279検体が環境基準不適合(不適合割合11%)。

環境基準点94地点中、1回以上環境基準不適合であったのは、52地点。

・類型別：A類型及びB類型の河川における不適合が大半。

・水系別：淀川水系、神崎川水系、大和川水系、泉州諸河川での不適合が多くみられる一方で、寝屋川水系及び大阪市内河川における不適合はほとんどみられない。

○主な原因：基準不適合の検体は、いずれもpHが8.5より高く、水質の良好なA・B類型が大半であった。図2のとおり、pHが高くなるほどDOの値が高くなることから、pHの基準不適合は光合成による影響が大きいと考えられ、過去から同様の傾向がある。一方、寝屋川水系及び大阪市内河川は、コンクリートで囲まれて他の水系と比べて水深が深く藻類等に日光が届きにくいいため、光合成が活発に起こりにくくpHが高くなりやすいと考えられる。

表12 pHの環境基準不適合状況(令和3年度)

【類型別】

類型	不適合検体数/調査検体数(%)	不適合地点数/環境基準点数(%)
AA	11/84 (13%)	3/3 (100%)
A	117/546 (21%)	21/27 (78%)
B	118/1190 (10%)	17/39 (44%)
C	23/252 (9%)	5/9 (56%)
D	3/456 (1%)	2/12 (17%)
E	7/96 (7%)	4/4 (100%)
計	279/2624 (11%)	52/94 (55%)

【水系別】

水系	不適合検体数/調査検体数 (%)	不適合地点数/環境基準点数 (%)
淀川水系	59/344 (17%)	7/15 (47%)
神崎川水系	96/428 (22%)	14/20 (70%)
寝屋川水系	0/384 (0%)	0/9 (0%)
大阪市内河川	3/540 (1%)	2/12 (12%)
大和川水系	27/320 (8%)	9/14 (64%)
泉州諸河川	94/608 (15%)	20/24 (83%)
計	279/2624 (11%)	52/94 (55%)

1
2

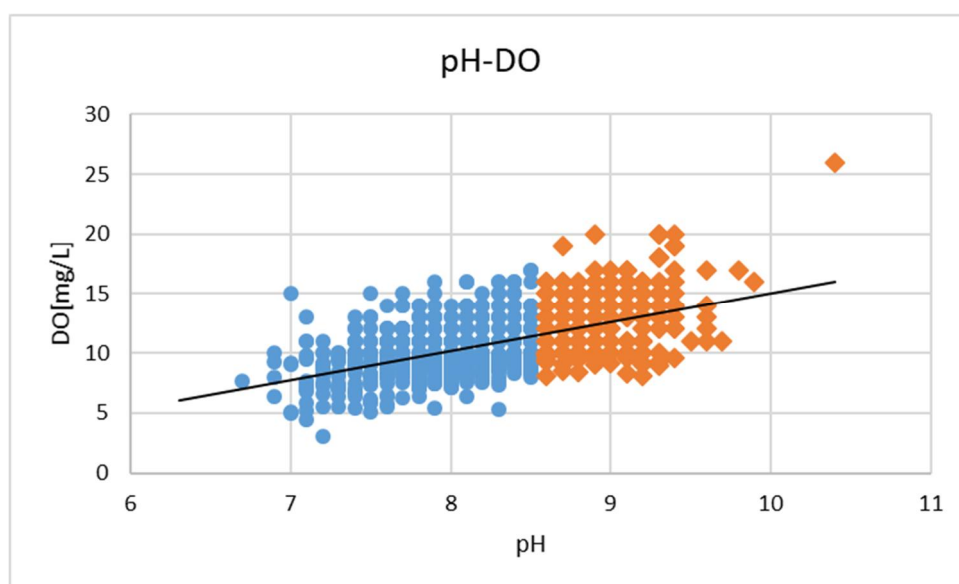


図2 pHとDOの散布図（令和3年度）

3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15

②DO

○環境基準値：AA、A類型が7.5mg/L以上、B、C類型が5mg/L以上、D、E類型が2mg/L以上。

○調査方法：午後3時に最も近い採水時の試料について測定。

○令和3年度結果：表13のとおり、概ねDOの環境基準を達成していると言える。

調査した1,072検体のうち14検体（不適合割合1%）が環境基準不適合。

・類型別：B類型の水域が大半を占めており、AA類

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11

型及びE類型の水域では、すべて適合。

- ・水系別：大阪市内河川の水域が大半を占めており、淀川水系、大和川水系及び泉州諸河川ではすべて適合。また、寝屋川水系及び大阪市内河川の不適合検体数は減少。

○主な原因：環境基準不適合が多く見られた大阪市内河川のうち正連寺川及び道頓堀川（いずれもB類型）は感潮域にあり、流速が小さいために低酸素の状態になりやすいと考えられる。

表 13 DOの環境基準不適合状況（令和3年度）

【類型別】

類型	不適合検体数/調査検体数 (%)	不適合地点数/環境基準点数 (%)
A A	0/36 (0%)	0/3 (0%)
A	1/268 (0.4%)	1/27 (4%)
B	11/468 (2%)	7/39 (18%)
C	1/108 (1%)	1/9 (11%)
D	1/144 (1%)	1/12 (8%)
E	0/48 (0%)	0/4 (0%)
計	14/1072 (1%)	10/94 (11%)

【水系別】

水系	不適合検体数/調査検体数 (%)	不適合地点数/環境基準点数 (%)
淀川水系	0/180 (0%)	0/15 (0%)
神崎川水系	3/200 (2%)	3/20 (15%)
寝屋川水系	1/108 (1%)	1/9 (11%)
大阪市内河川	10/144 (7%)	6/12 (50%)
大和川水系	0/160 (0%)	0/14 (0%)
泉州諸河川	0/280 (0%)	0/24 (0%)
計	14/1072 (1%)	10/94 (11%)

12
13
14
15
16
17
18
19

③SS

○環境基準値：AA～B類型で25mg/L以下、C類型で50mg/L以下、D類型で100mg/L以下、E類型では「ごみ等の浮遊が認められないこと」。

○調査方法：原則として6時間間隔で4回採水し、混合試料について測定。

○令和3年度結果：表14のとおり、A類型、B類型及びC類型の7地点で環境基準不適合。

調査した1,056検体のうち、9検体が環境基準不適合（不適合割合1%）。

大阪市内河川及び大和川水系では環境基準不適合はなかった。

○主な原因：降雨等によると考えられる。

表14 SSの環境基準不適合状況（令和3年度）

【類型別】

類型	不適合検体数/調査検体数 (%)	不適合地点数/環境基準点数 (%)
AA	0/36 (0%)	0/3 (0%)
A	1/268 (0.4%)	1/27 (4%)
B	7/452 (2%)	5/39 (13%)
C	1/108 (1%)	1/9 (11%)
D	0/144 (0%)	0/12 (0%)
E	0/48 (0%)	0/4 (0%)
計	9/1056 (1%)	7/94 (7%)

【水系別】

水系	不適合検体数/調査検体数 (%)	不適合地点数/環境基準点数 (%)
淀川水系	4/164 (2%)	3/15 (20%)
神崎川水系	1/200 (1%)	1/20 (5%)
寝屋川水系	3/108 (3%)	2/9 (22%)
大阪市内河川	0/144 (0%)	0/12 (0%)
大和川水系	0/160 (0%)	0/14 (0%)
泉州諸河川	1/280 (0.4%)	1/24 (4%)
計	9/1056 (1%)	7/94 (7%)

(注) m/n の n は調査対象検体数、m は環境基準値に適合していない検体数

④大腸菌群数

○環境基準値：AA類型が50MPN/100mL以下、A類型が1,000MPN/100mL以下、B類型が5,000MPN/100mL以下、C～E類型は設定なし。

○調査方法：午後3時に最も近い採水時の試料について測定。

○令和3年度結果：表15のとおり、大腸菌群数を測定しているAA、A及びB類型のほとんどの地点で環境基準不適合。

○留意事項：国の検討会（今後の水環境保全に関する検討会、平成23年3月）において、『ふん便汚染が想定されない山間部の河川等においても基準値を大きく上回る大腸菌群数が測定されるなど指標性に乏しい』との指摘があり、国は、大腸菌群数に代わる指標を検討し、令和3年10月に環境基準項目として「大腸菌数」を告示し、令和4年4月1日から施行。

表15 大腸菌群数の環境基準不適合状況（令和3年度）

【類型別】

類型	不適合検体数/調査検体数 (%)	不適合地点数/環境基準点数 (%)
AA	32/36 (89%)	3/3 (100%)
A	212/268 (79%)	27/27 (100%)
B	206/452 (46%)	38/39 (97%)
計	450/756 (60%)	68/69 (99%)

【水系別】

水系	不適合検体数/調査検体数 (%)	不適合地点数/環境基準点数 (%)
淀川水系	53/152 (35%)	13/14 (93%)
神崎川水系	133/188 (71%)	19/19 (100%)
寝屋川水系	14/24 (58%)	2/2 (100%)
大阪市内河川	54/132 (41%)	11/11 (100%)
大和川水系	62/88 (70%)	8/8 (100%)
泉州諸河川	134/172 (78%)	15/15 (100%)
計	450/756 (60%)	68/69 (99%)

16

17

1 (2) 水生生物の保全に関する3項目

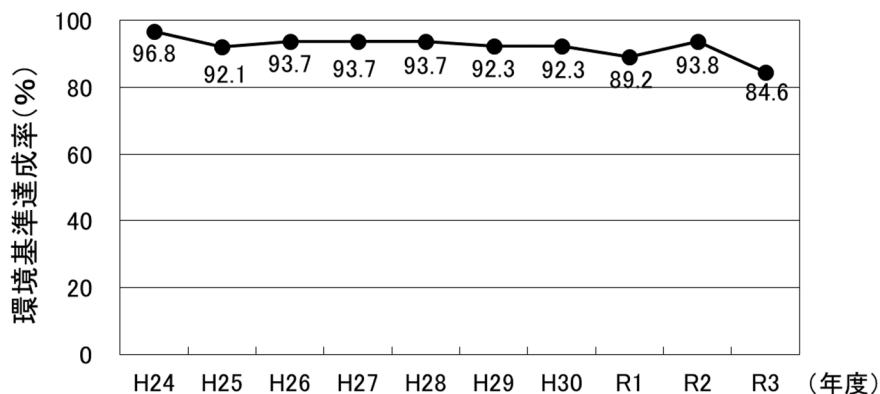
2 1) 全亜鉛

3 ○環境基準値：全類型一律の0.03mg/L（平成15年11月設定）

4 ○環境基準達成状況：図3のとおり、平成24年度以降、毎年概ね90%以上
5 上で推移。

6 令和3年度は、表16のとおり、不適合はすべて生物B類型である。

7 水系別では、淀川、寝屋川、大阪市内河川及び大和川で不適合であり、年平均値は0.031~0.064mg/L
8 の範囲。
9
10
11



12 図3 水質環境基準（全亜鉛）の達成率の推移

13
14
15
16 表16 全亜鉛の環境基準超過状況（令和3年度）

17 【類型別】

類型	不適合水域数／類型指定水域数 (%)	
生物A	0 / 9 (0%)	10 / 65 (15.4%)
生物B	10 / 56 (17.9%)	

18
19
20
21
22
23

1 【水系別】

水系	不適合水域数／類型指定水域数	不適合水域及び年平均値(mg/L)
淀川水系	1 / 8 (12.5%)	船橋川(0.033)
神崎川水系	0 / 16 (0%)	
寝屋川水系	1 / 2 (50%)	寝屋川(0.031)
大阪市内 河川	7 / 12 (58.3%)	堂島川(0.037)、土佐堀川(0.044) 道頓堀川(0.034)、尻無川(0.034) 木津川運河(0.033)、住吉川(0.064) 東横堀川(0.037)
大和川水系	1 / 10 (10%)	東除川(0.034)
泉州諸河川	0 / 17 (0%)	
計	10 / 65 (15.4%)	

2

3

4 2) ノニルフェノール

5 ○環境基準値：生物A類型が0.001mg/L以下、生物特A類型が0.0006mg/L
6 以下、生物B類型および生物特B類型が0.002mg/L以下(平
7 成24年8月設定)

8 ○環境基準達成状況：すべての水域で環境基準適合。
9 (平成24年度：35水域、平成25～28年度：63水域、
10 平成29年度以降：65水域)

11

12 3) LAS(直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩)

13 ○環境基準値：生物A類型が0.03mg/L以下、生物特A類型が0.02mg/L以
14 下、生物B類型が0.05mg/L以下、生物特B類型が0.04mg/L
15 以下(平成25年3月設定)

16 ○環境基準達成状況：すべての水域で環境基準適合。
17 (平成26～28年度：63水域、平成29年度以降：65
18 水域)

19

20

1 (3) 魚類の生息の状況

2 ○魚類の生息の状況は、前回類型指定の見直しを行った際にとりまとめた
3 調査結果とそれ以降に行われた調査結果を比較すると、全体として、同
4 様の魚種が確認されている。(資料2)。

5 ○表 17 に示す、生物Aに対応する魚種であるイワナ、ニジマス、カジカ
6 などの冷水性の魚種や、希少種であるアジメドジョウ及びナガレホトケ
7 ドジョウについては、安威川上流、一庫・大路次川など前回と同様の河
8 川水域で引き続き生息が確認されている。

9 ○なお、(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所生物多様性センターが、
10 令和4年度に府内37河川水域において環境DNA (MiFish法)を用いた
11 魚類相調査*を実施している。冷水性の魚種等のDNAが検出された
12 河川においては、今後、必要に応じて捕獲調査が実施され、生息状況の
13 確認が進められる予定である。

14 *環境DNA (MiFish法)を用いた魚類相調査について

15 現地で採水した河川水中に含まれる魚類由来のDNAを解析する
16 ことにより、生息する魚類を把握しようとする調査。検出されたD
17 NAが河川外から流入している可能性を排除できない場合(例えば、
18 過去の生息記録が無い、生息環境が合致しないなど)については、
19 必要に応じて捕獲調査を実施して、その生息を確認する必要がある。

22 表 17 水生生物類型に対応する主な魚介類

類型	主な魚介類
生物A	<u>アマゴ</u> 、 <u>サツキマス</u> 、 <u>ヤマメ</u> 、 <u>サクラマス</u> 、 <u>イワナ</u> 、 <u>アメマス</u> 、 <u>カラフトマス</u> 、 <u>シロザケ</u> 、 <u>ニジマス</u> 、 <u>スチールヘッド</u> 、 <u>ヒメマス</u> 、 <u>ベニサケ</u> 、 <u>カジカ</u>
生物B	<u>ウグイ</u> 、 <u>シラウオ</u> 、 <u>オイカワ</u> 、 <u>ギンブナ</u> 、 <u>ゲンゴロウブナ</u> 、 <u>キンブナ</u> 、 <u>オオキンブナ</u> 、 <u>コイ</u> 、 <u>ドジョウ</u> 、 <u>ナマズ</u> 、 <u>ヨシノボリ</u> 、 <u>ウナギ</u> 、 <u>ボラ</u> 、 <u>スジエビ</u> 、 <u>テナガエビ</u> 、 <u>ヒラテテナガエビ</u> 、 <u>ミナミテナガエビ</u> 、 <u>ヌカエビ</u> 、 <u>モクズガニ</u> 、 <u>マシジミ</u> 、 <u>ヤマトシジミ</u>

23 ※平成18年6月に環水大水060630002号で公布された「水生生物の保全に係
24 る環境基準の類型指定について」で技術的助言があった淡水域における水域
25 類型に対応する魚介類の分類表を基に作成。

26 ※下線は、当該表の分布状況を基に、大阪府域にも分布すると考えられるもの。

4. 類型指定の基本的な考え方

(1) BOD等5項目

1) 着眼する項目

pH、DO、SS、大腸菌群数の環境基準超過の状況は「3. 水質等の状況」2)の①～④に示すとおりであり、pHについては光合成の影響を、DOについては河川構造の影響を、SSについては降雨や上流における工事などの影響を、それぞれ大きく受けている。また、大腸菌群数については、国の検討会において、指標性に乏しいとの指摘がなされ、大腸菌群数に代わる指標として令和3年10月に環境基準項目として大腸菌数が告示され、令和4年4月1日から施行されたところである。

以上のことから、BOD等5項目に係る類型指定の検討にあたっては、これまでと同様に、河川の代表的な汚濁指標であるBODの状況に主眼を置く。

2) 各水系で目指すべき類型

府内の河川をより魅力あるものとするため、前回見直し時と同様に、「全水域C類型以上」を目指すこととする。

類型指定の検討にあたっては各水系の特性を考慮する必要があることから、前回と同様に、各水系で「目指すべき類型」を設定する。

「目指すべき類型」については、「2. 水域の利用の状況」に示すとおり、前回以降、水系別に見た水道、水産、農業用水等の利水の状況に大きな変化はなく、河川環境の活用や保全の取組が活発に行われており、水系別に見た取組みの方向性に変化は見られないことから、前回設定した類型の考え方を基本とし、表18のとおりとする。

表 18 各水系で目指すべき類型

水系		目指すべき類型
淀川水系		淀川下流(1)が水道3級相当の上水道水源として利用されていることから、B類型以上を目標とすることが適当。
神崎川水系	神崎川の支川	神崎川がB類型に指定されていることから、B類型以上を目標とすることが適当。
	猪名川上流の支川	全てA類型に指定されている。
寝屋川水系		都市域を流下する水域であり、水質の状況等を踏まえて現在はD類型に指定されている。しかしながら、寝屋川中流部等の一部の水域では親水性に配慮した事業なども実施されているほか、全般的に身近な河川への注目度も高まってきていることから、魚の生息に良好とされる類型(C類型以上)を目標とすることが適当。

大阪市内河川		全ての流域が都市域である河川であり、護岸等の河川の形態や利用目的からはC類型が適当と考えられる水域である。しかしながら、大阪市内河川の流域は既に下水道もほぼ100%整備されているほか、近年は水の回廊といわれる部分を中心として、都市域の潤いの場等としての注目度も高まっている。また、12水域のうち、大川等11水域については、既に、都市域の潤いの場としての利用に十分対応したB類型になっている。これらを考慮すると、現状においては底質や護岸など、親水性には乏しい状況にある区間もあるものの全水域ともB類型を目標とすることが望ましい。
大和川水系	石川とその支川	石川が「水産2級相当」に適応しているとされるB類型に指定されていることから、全ての水域がB類型以上を目標とすることが適当。
	西除川 東除川	都市域を流下する水域であり、現状の水質の状況等を踏まえ、現在はそれぞれB～D類型に指定されている。しかしながら、府民の身近な河川への関心を高めるためにも、魚の生息に良好とされる類型（C類型以上）を目標とすることが適当。
泉州諸河川	樫井川以北の河川	いずれも中流・下流域が市街地化した河川であるが、他の流域と比べて生活排水対策の進捗が遅れているため、現状の水質の状況等から上流部や支川を除き、現在はほとんどがDまたはE類型に指定されている。しかしながら、これらの河川についても近年は、身近な河川としての注目度も高まりつつあることから、より良い水質を目指して、上流部及び支川はB類型以上、下流部は魚の生息に良好とされる類型（C類型以上）を目標とすべき。
	男里川以南の河川	全てA類型に指定されている。

1

2

3

3) 各河川水域の種類の検討

4

「目指すべき類型・達成期間」を踏まえ、近年の水質状況等をもとに、今後概ね5年間の目標となる類型・達成期間を次に示す方針で検討するものとする。

5

6

7

8

①当該水系の「目指すべき類型」に合致していない水域

9

・近年の水質状況等を考慮しつつ、「目指すべき類型」への改定に向け、上位類型への改定や達成期間の見直しを検討する。

10

11

・特にD、E類型については、近年の水質状況を考慮しつつ、できるだけ、上位類型への改定や達成期間の見直しを検討する。

12

13

②当該水系の「目指すべき類型」に合致している水域

14

・近年の水質状況等を考慮しつつ、各河川の利用目的を鑑みて良好な水

1 質を維持する観点から、上位類型に改定することが望ましいと考えら
2 れる水域については、上位類型に改定することを検討する。

3 **③新規指定**

4 ・新規の類型指定については、これまでと同様に、流路延長 5 km、流域
5 面積 10km² 以上もしくはそれと同等と考えられる河川を基本とし、利
6 用目的や水質の現況、発生源の状況、将来の開発予定などを考慮して
7 検討する

8

9 **(2) 水生生物の保全に関する3項目**

10 前回の基本的な考え方が妥当と考えられることから次に示す方針で検討
11 するものとする。

12 **①生物A類型**

13 流域に豊かな自然環境を有し、かつ水質が非常に良好であることから、冷
14 水性の魚種や府域で絶滅が危惧される魚種が生息している可能性のある水
15 域については、以下の条件を総合的に考慮し、「生物A」に指定する。

16 (ア) 上流域が山間部であるなど、自然が豊かな流域を持つこと。

17 (イ) BODがA類型の環境基準に十分に適合していること。

18 (ウ) 冷水性の魚種やカジカ、アジメドジョウ、ナガレホトケドジョウなど
19 希少種の生息する可能性があると考えられること。

20 (エ) 冷水性の魚種についての漁業権が設定されていること。

21

22 **②生物B類型**

23 ①以外の水域で、BOD等5項目に係る指定類型がC類型以上となる水域
24 を「生物B」に指定する。

1 5. 改定又は新規指定を検討する河川の抽出

2 (1) BOD等5項目

3 「4. 類型指定の基本的な考え方」(1)の①～③の考え方に沿って、府内
4 のすべての河川水域を対象にBOD等5項目に係る改定及び新規指定を検
5 討する河川を抽出した。

7 1) 当該水系の「目指すべき類型」に合致していない水域

8 対象水域は、表19のとおり16河川水域があり、近年の水質(上位類型の
9 環境基準達成状況、年平均値推移等)を踏まえて、以下の考え方で上位類型
10 へ改定する候補を抽出した。

11 <抽出の考え方>

- 12 ・5年間連続(平成29年度～令和3年度)で上位類型の環境基準を達成し
13 ていること。
- 14 ・ただし、D及びE類型の河川水域は、できるだけ上位類型への改定や達成
15 期間を見直す必要があるため、5年連続で上位類型の環境基準を達成して
16 いない場合も、BODの75%値や年平均値の推移を踏まえて上位類型への
17 改定候補とする。
- 18 ・また、現在の類型より2段階上の類型の環境基準を達成している場合は、
19 2段階上の類型への改定候補とする。

21 表19「目指すべき類型」に合致していない河川水域のBOD75%値の推移

区分	河川水域名	区域	目指すべき類型	現在の類型	BODの75%値					
					H29	H30	R1	R2	R3	
寝屋川水系	寝屋川(2)	住道大橋より下流 (今津橋) (京橋)	C類型以上類型	Dロ	4.8	5.7	4.4	3.2	5.1	
					1.9	2.8	2.8	1.8	3.4	
	古川	全域			4.2	5.1	3.9	2.4	4.3	
	第二寝屋川	全域			Dイ	5.1	7.7	4.9	4.4	7.3
	平野川分水路	全域			Dイ	4.1	3.6	3.3	3.0	4.5
	平野川	全域	Dイ	2.5	3.7	2.8	2.6	4.4		
大阪市内河川	土佐堀川	全域	B類型	Cイ	1.4	1.7	1.7	1.2	2.1	
大和川水系	飛鳥川	全域	B類型以上	Cロ	6.7	2.9	4.1	2.9	4.4	
	西除川(2)	狭山池流出端より下流	C類型以上	Dロ	2.9	2.7	2.6	3.2	2.8	
泉州諸河川	石津川	全域	上流部及び支川はB類型以上、下流部はC類型以上	Dイ	2.5	2.2	2.3	1.7	2.0	
	和田川	全域			Cロ	3.0	2.7	2.7	2.4	1.9
	春木川	全域			Dイ	3.9	2.8	2.8	4.3	2.6
	津田川	全域			Eイ	7.1	5.1	6.5	7.6	5.9
	近木川下流	稲谷川合流点より下流			Dイ	5.8	3.7	5.0	5.8	4.9
	見出川	全域			Eイ	8.7	7.7	7.2	6.3	5.8
	佐野川	全域			Eイ	5.5	5.7	4.7	5.5	6.0
	樫井川下流	兎田橋より下流			Eイ	4.4	3.8	4.6	3.6	4.6

22 河川水域名 5年連続で2段階上位の類型の基準を達成

23 数字 上位類型の基準を達成
数字 環境基準未達成

25 ア) 5年間連続で上位類型の環境基準を達成している河川水域

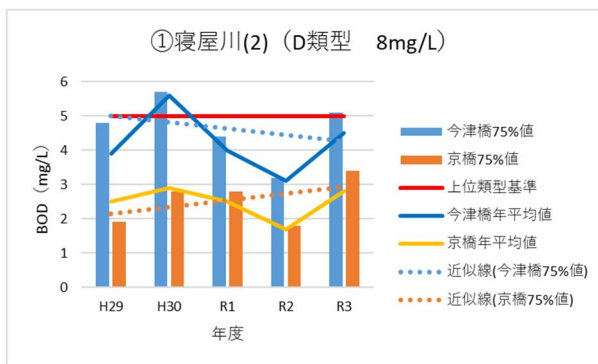
26 平野川分水路、平野川、土佐堀川、西除川(2)、石津川、和田川、春木川、津
27 田川、佐野川、樫井川下流は、5年連続で上位類型の環境基準を達成してお

り、上位類型への改定候補とする。

イ) 上位類型の環境基準未達成がある河川水域

最近5年間のBOD75%値の推移(以下のグラフ内で点線で示す)が改善傾向にあり、上位類型の環境基準を大きく超過していない場合は、改定候補とする。

① 寝屋川(2) (D類型)



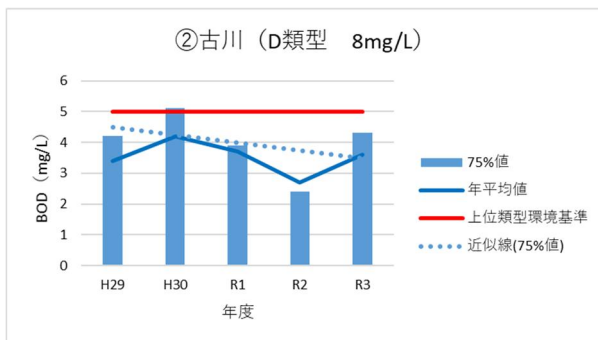
16

2つある環境基準点のうち、今津橋では平成30年度と令和3年度に上位類型の環境基準を達成していないが、改善傾向にある。

京橋では5年間連続で上位類型の環境基準を達成。

以上のことから、上位類型への改定候補とする。

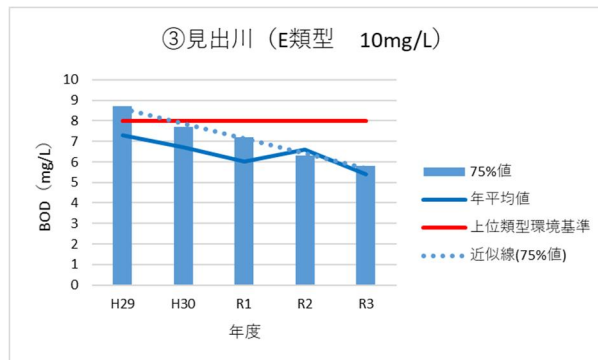
② 古川 (D類型)



平成30年度に上位類型の環境基準を達成していないが、超過は0.1mg/Lのみで、改善傾向にある。

以上のことから、上位類型への改定候補とする。

③ 見出川 (E類型)



35

平成29年度に上位類型の環境基準を達成していないが、平成30年度以降は連続して達成しており、また改善傾向にある。

以上のことから、上位類型への改定候補とする。

17

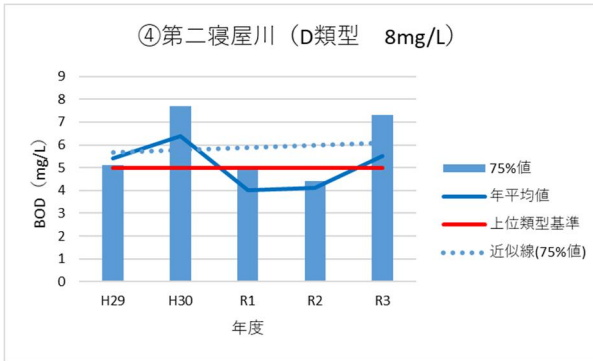
18

26

27

36

1 ④第二寝屋川（D類型）



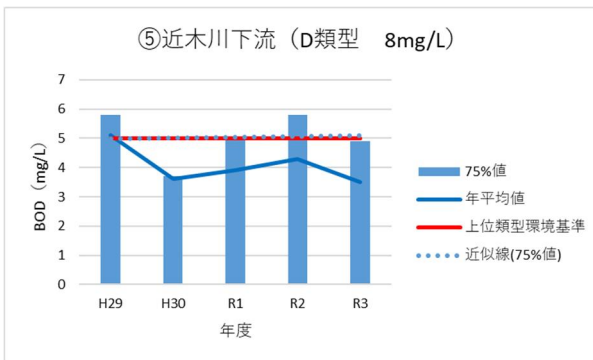
9

令和元年度と令和2年度は上位類型の環境基準を達成しているが、変動が大きく、改善傾向にあるとは言えない。

以上のことから、上位類型への改定候補としない。

10

11 ⑤近木川下流（D類型）



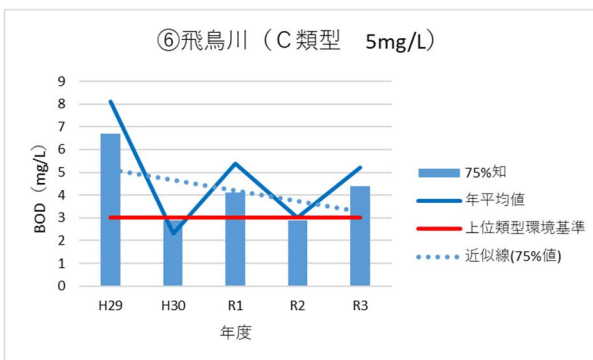
19

平成29年度と令和2年度に上位類型の環境基準を達成しておらず、平成30年度以降改善傾向にあるとは言えない。

以上のことから、上位類型への改定候補としない。

20

21 ⑥飛鳥川（C類型）



29

平成30年度と令和2年度に上位類型の環境基準を達成しているが、平成29年度は現類型の環境基準を超過するなど、変動が非常に大きい。

以上のことから、上位類型への改定候補としない。

30

31 う) 現在の類型より2段階上の類型の環境基準を達成している河川水域

32 石津川及び檜井川下流は、表20のとおり2段階上の類型の環境基準を
33 達成しており、2段階上の類型への改定候補とする。

34

35

36

1 **表 20 現在の類型より 2 段階上の類型の環境基準を達成している河川水域**

水域名	河川水域名	現在の類型 (BOD 環境基準値)	BOD75%値 (H29～R3)	上位類型の BOD 環境基準値
泉州諸河川	石津川	D (8mg/L)	1.7～2.5	B (3mg/L)、C (5mg/L)
泉州諸河川	樫井川下流	E (10mg/L)	3.6～4.6	C (5mg/L)、D (8mg/L)

2

3

4 **エ) 上位類型への改定候補**

5 以上のことから、「目指すべき類型」に合致していない水域については、
6 表 21 のとおり、13 河川水域を上位類型への改定候補とする。

7

8

9

**表 21 「目指すべき類型」に合致していない水域の
上位類型への改定河川水域候補一覧**

水域名	河川水域名	現在の類型	改定類型候補(案)
淀川	なし	—	—
神崎川	なし	—	—
寝屋川	寝屋川(2)	D	C
	古川	D	C
	平野川分水路	D	C
	平野川	D	C
大阪市内河川	土佐堀川	C	B
大和川	西除川(2)	D	C
泉州諸河川	石津川	D	B
	和田川	C	B
	春木川	D	C
	津田川	E	D
	見出川	E	D
	佐野川	E	D
	樫井川下流	E	C

- 1 2) 当該水系の「目指すべき類型」に合致している水域
 2 対象水域は、表 22 のとおり 58 河川水域があり、近年の水質について、
 3 5 年間連続（平成 29 年度～令和 3 年度）で上位類型の環境基準を達成し
 4 ている河川水域を上位類型へ改定する候補として表 23 のとおり抽出した。
 5 （大阪市内河川は、全河川水域が目指すべき類型である B 類型に既に指定
 6 されているので除外）

8 表 22 「目指すべき類型」に合致している河川水域の BOD75%値の推移

区分	河川水域名	区 域	目指すべき類型	現在の類型	BODの75%値				
					H29	H30	R1	R2	R3
淀川水系	船橋川	全域	B 類型以上	Bハ	2.9	2.1	3.0	2.1	2.1
	穂谷川	全域		Bハ	2.2	1.9	2.5	1.9	2.0
	檜尾川	全域		Bイ	1.0	1.2	1.0	0.8	0.8
	天野川	奈良県界より下流		Bハ	2.9	2.1	2.5	1.3	1.5
	芥川(1)	京都府界から塚脇橋まで		AAイ	0.6	0.7	0.8	0.5	0.5
	芥川(2)	塚脇橋より下流		Aイ	0.9	0.8	0.9	0.9	0.9
	水無瀬川	全域		Aイ	0.9	0.6	0.8	0.7	1.1
	天竺川	全域		Bイ	1.6	1.9	2.1	1.2	1.4
神崎川水系	安威川上流	茨木市取水口より上流	B 類型以上	Aイ	0.6	1.3	0.8	0.6	0.8
	安威川下流(1)・(2)	茨木市取水口から大正川合流点まで		Aイ	1.1	1.6	0.9	1.3	0.9
	安威川下流(3)	大正川合流点より下流		Bロ	1.7	2.2	2.4	1.7	3.0
	佐保川及び茨木川	全域		Aイ	1.1	1.4	0.8	1.2	1.1
	大正川	全域	Aイ	2.1	2.0	1.9	1.7	1.6	
	勝尾寺川	全域	Aロ	1.1	1.4	0.8	1.0	1.0	
	箕面川(1)	箕面市取水口より上流	AAイ	0.9	0.8	0.9	0.6	0.8	
	箕面川(2)	箕面市取水口から兵庫県界まで	Aイ	1.7	1.6	1.5	1.3	1.3	
	余野川	全域	Aイ	0.8	0.6	0.9	1.5	1.1	
	千里川	全域	Aイ	1.4	1.4	1.7	1.4	1.5	
	田尻川	兵庫県界より上流	Aイ	0.8	1.2	1.2	1.5	1.3	
	一庫・大路次川	京都府界から兵庫県界まで	Aイ	0.7	0.7	1.1	1.2	1.2	
	山辺川	全域	Aイ	1.2	0.9	1.3	1.1	1.0	
	寝屋川水系	寝屋川(1)	住道大橋より上流 (萱島橋)	C 類型以上	Bイ	1.6	1.9	2.4	1.8
恩智川		住道大橋 (住道大橋)	Cロ		2.0	2.6	2.0	1.7	2.5
大阪市内河川	大川(大川+城北川)	大川全域及び城北川全域	B 類型	Cロ	4.7	3.6	3.4	2.3	2.2
	堂島川	全域		Bイ	1.0	1.4	1.1	0.9	1.2
	道頓堀川	全域		Bイ	1.4	2.0	1.4	1.2	1.8
	正蓮寺川	全域		Bイ	1.1	1.4	1.5	1.2	1.2
	六軒家川	全域		Bイ	2.3	2.2	3.1	2.1	2.7
	安治川	全域		Bイ	1.3	1.3	1.3	2.4	1.1
	尻無川	全域		Bイ	1.1	1.6	1.5	1.2	1.1
	木津川	全域		Bイ	1.1	1.3	1.3	1.0	1.5
	木津川運河	全域		Bイ	1.3	1.6	1.7	1.4	2.0
	住吉川	全域		Bイ	1.7	1.7	1.9	2.2	2.2
	東横堀川	全域		Bロ	2.2	2.2	1.9	1.6	3.3
	石川	全域 (高橋)		Bイ	1.3	1.6	2.0	1.0	2.1
	大和川水系	千早川		全域 (石川橋)	B 類型以上	Bイ	1.8	1.6	1.7
天見川		全域	Aイ	1.3		1.0	1.3	0.8	0.9
石見川		全域	Aイ	1.1		1.3	0.9	0.8	1.1
梅川		全域	Aイ	1.4		1.2	1.1	0.9	1.3
佐備川		全域	AAイ	0.9		0.8	0.7	0.6	1.3
東除川		全域	Aイ	1.4		1.1	1.4	1.6	1.4
西除川(1)		狭山池流出端より上流	Bイ	2.6		1.8	1.7	1.4	1.8
大津川上流		泉大津市高津取水口より上流	Cロ	3.8		3.5	3.1	2.9	2.7
大津川下流		泉大津市高津取水口より下流	Bロ	2.4		1.6	1.6	1.3	1.8
牛滝川		全域	Cイ	2.7		3.0	2.8	3.1	2.5
泉州諸河川	松尾川	全域	上流部及び支川はB類型以上、下流部はC類型以上	Cイ	3.3	2.9	3.1	2.6	2.4
	榎尾川	全域		Bロ	1.5	1.9	1.9	1.7	0.9
	父鬼川	全域		Bハ	2.6	3.3	3.0	2.8	3.1
	近木川上流	稲谷川合流点より上流		Bイ	2.2	2.5	2.3	2.4	2.5
	櫻井川上流	兎田橋より上流		Aイ	1.5	1.5	1.5	1.6	1.9
	男里川	全域		Bイ	1.6	1.6	1.9	2.2	2.4
	金熊寺川	全域		Bイ	5.8	2.7	2.8	2.0	2.2
	菟砥川	全域		Aイ	1.9	2.2	1.8	2.8	1.9
	山中川	全域		Aイ	2.0	2.2	2.2	2.2	2.3
	番川	全域		Aイ	2.2	2.4	2.1	1.9	2.0
	大川	全域		Aイ	1.5	1.8	1.3	1.7	1.6
	東川	全域		Aイ	1.0	1.3	0.9	1.4	1.4
	西川	全域		Aイ	1.5	1.6	1.3	1.7	1.9
	東川	全域		Aイ	1.3	1.4	1.2	1.3	1.5
西川	全域	Aイ	1.0	1.3	1.0	1.4	1.3		

数字 上位類型の基準を達成
 数字 環境基準未達成

1
2

表 23 「目指すべき類型」に合致している水域の
上位類型への改定河川水域候補一覧

水域名	河川水域名	現在の類型	改定類型候補 (案)
淀川	檜尾川	B	A
	芥川(2)	A	A A
神崎川	なし	—	—
寝屋川	なし	—	—
大阪市内河川	なし	—	—
大和川	石川	B	A
泉州諸河川	牛滝川	B	A

3

4

3) 新規指定

5

新規指定について、これまでと同様に、流路延長 5 km、流域面積 10km²以上もしくはそれと同等と考えられる河川を基本とし、利用目的や水質の現況、発生源の状況、将来の開発予定などを考慮して検討し、現時点で対象となるのは、表 24 の山田川（神崎川水系）及び水越川（大和川水系）である。

6

7

8

9

10

これらについては、いずれも発生源の状況や利用形態について考慮すべき変化があった場合に新規に指定することが妥当と考えられるが、特に変化は確認されないので、今回も新規に指定はしないこととする。

11

12

13

14

表 24 流路延長 5 km、流域面積 10km² 以上（それと同等）
の河川（現在、類型未指定）

15

水系	河川水域	流路延長 (km)	流域面積 (km ²)	流域行政区域
神崎川	山田川	7. 4	8. 1	吹田市、摂津市
大和川	水越川	5. 7	14. 8	河南町、千早赤阪村

16

17

1 4) 改定候補の河川水域

2 1)、2)、3)の検討結果を踏まえて、水質(BOD)の観点から類型
3 を改定する候補は、表25のとおり17河川水域とした。

5 表25 水質の観点から類型を改定する河川水域の候補一覧

水域名	河川水域名	現在の類型	改定類型候補 (案)	検討 分類
淀川	檜尾川	B	A	2)
	芥川(2)	A	A A	2)
寝屋川	寝屋川(2)	D	C	1)
	古川	D	C	1)
	平野川分水路	D	C	1)
	平野川	D	C	1)
大阪市内河川	土佐堀川	C	B	1)
大和川	西除川(2)	D	C	1)
	石川	B	A	2)
泉州諸河川	石津川	D	B	1)
	和田川	C	B	1)
	牛滝川	B	A	2)
	春木川	D	C	1)
	津田川	E	D	1)
	見出川	E	D	1)
	佐野川	E	D	1)
	檜井川下流	E	C	1)

6
7
8 (2) 水生生物の保全に関する3項目

9 「4. 類型指定の基本的な考え方」(2)の①及び②の考え方に沿って、府
10 内のすべての河川水域を対象に、表25に示すBOD等5項目に係る類型の
11 改定等も踏まえ、水生生物の保全等に関する3項目に係る新規指定及び改定
12 を検討する河川を抽出した。

1 1) 生物A

2 BOD等の項目について水質が良好なA類型以上となる河川水域は、比
3 較的低温域を好む水生生物が生息する場合、「生物A」の指定が可能とな
4 る。

5 このため、今回上位類型への改定候補である表 25 の河川水域の内、A
6 類型又はAA類型への改定候補である、檜尾川、芥川(2)、石川及び牛滝川
7 の4水域については現在指定されている「生物B」から「生物A」への改
8 定候補として抽出した。

9

10 2) 生物B

11 BOD等の項目がC類型以上となる河川水域は「生物B」に指定するこ
12 ととなる。

13 このため、今回上位類型への改定候補である表 25 の河川水域の内、E
14 類型又はD類型からC類型又はB類型への改定候補である、寝屋川(2)、
15 古川、平野川分水路、平野川、西除川(2)、石津川、春木川及び檜井川下流
16 の8河川水域について、「生物B」の指定候補として抽出した。

17

1 6. 河川水域ごとの検討結果

2 (1) 上位類型への改定

3 水質の観点から上位類型へ改定する候補の 17 河川水域（表 25）につい
4 て、水質以外に流域の利用形態（上水道水源、農業用水、親水利用等）、開
5 発計画、下水道整備状況、発生源状況、水生生物生息状況等を確認し、表
6 26 のとおり、16 河川水域の類型指定改定案を作成した。

7 なお、達成期間については、以下の考え方で早期に達成できるように見
8 直しを行うこととし、表 26 に記載した。

9

10 【達成期間見直しの考え方】

11 上位類型への改定候補の河川水域については、以下の考え方で環境基準
12 の達成期間見直しを検討した。

13

14 1) BOD等5項目

15 5年間連続（平成 29 年度～令和 3 年度）で上位類型の BOD の環境基
16 準を達成していれば、達成期間をイ（直ちに達成）とし、それ以外は、
17 ロ（5 年以内で可及的速やかに達成）とする。

18

19 2) 水生生物の保全に関する3項目

20 全亜鉛について、環境基準を 5 年連続で達成している場合はイ（直ち
21 に達成）、5 年連続で未達成の場合はハ（5 年を超える期間で可及的速や
22 かに達成）とし、一部のみ達成している場合はロ（5 年以内で可及的速
23 やかに達成）とする。

24 ただし、全亜鉛以外のノニルフェノール又は LAS が環境基準を達成
25 していない場合は、「イ」の場合は「ロ」、「ロ」の場合は「ハ」とする。

1 表 26 類型指定改定案

通し番号	河川水域名	水系 (目指すべき 類型)	BOD等の項目/ 水生生物の保全に関する項目		河川の概況	水質の状況 (mg/L)		利用形態	開発計画	下水道整備状況	発生源状況	水生生物生息状況	総論	改定案
			現在の 類型	見直し 候補案		BOD	水生生物の保全 に関わる項目							
1	檜尾川	淀川 (B以上)	Bイ/ 生物Bイ	Aイ/ 生物Aイ	高槻市 一級河川	A類型環境基準： 2mg/L以下 75%値：0.8～1.2 年平均値：0.6～1.0	全亜鉛：0.004～0.009 ノニルフェノール： <0.00006～<0.00006 LAS：<0.0006～0.0008	農業用水 水浴や水遊 び等の親水 利用可能な 場あり	特になし	高槻市内99.7%	特になし	コイ、ギンブ ナ、オイカワ等 (H25) 生物B相当	上位類型のBOD環境基準を達成しており、水浴や水遊び等の親水利用可能な場があるため、B類型からA類型に改定する。 しかし、生物B相当の水生生物しか確認されていないため、現在の類型(生物B)のままとする。 なお、開発計画や発生源で特に問題となるものはない。	Aイ/ (生物Bイ)
2	芥川(2)		Aイ/ 生物Bイ	AAイ/ 生物Aイ	高槻市 延長25km 流域面積52km ² 一級河川	AA類型環境基準： 1mg/L以下 75%値：0.8～0.9 年平均値：0.7～0.9	全亜鉛：0.001～0.004 ノニルフェノール： <0.00006～<0.00006 LAS：0.0007～0.0017	水浴や水遊 び等の親水 利用はある が自然探勝 の利用なし	特になし	高槻市内99.7%	特になし	オイカワ、ド ジョウ等(H25) 生物B相当	上位類型のBOD環境基準を達成しているが、自然探勝の利用がないため、現在の類型(A)のままとする。 また、生物B相当の水生生物しか確認されていないため、現在の類型(生物B)のままとする。 なお、開発計画や発生源で特に問題となるものはない。	改定なし
3	寝屋川(2)	寝屋川 (C以上)	Dロ/ -	Cロ/ 生物Bロ	大阪市 東大阪市 大東市 門真市 延長25km 流域面積 267.6km ² 一級河川	C類型環境基準： 5mg/L以下 75%値：3.2～5.7 年平均値：3.1～5.6 【今津橋】 75%値：1.8～3.4 年平均値：1.7～2.9	【今津橋】 全亜鉛：0.021～0.038 ノニルフェノール： 0.00014～0.00022 LAS：0.0008～0.037 【京橋】 全亜鉛：0.012～0.058 ノニルフェノール： <0.00006～0.00046 LAS：<0.0006～0.044	農業用水	特になし	大阪市内99.9% 東大阪市内 99.9% 大東市内99.2% 門真市内96.9%	下水終末処 理施設など	コイ、フナ属、 ギンブナ等 (H29) 生物B相当	今津橋では上位類型のBOD環境基準を達成していない年度があるが改善傾向にあり、京橋では上位類型の環境基準を達成しているため、D類型からC類型に改定する。 また、生物B相当の水生生物が確認されているため、新たに生物Bを指定する。ただし、全亜鉛の環境基準を達成していない年度があるため、達成期間はロとする。 なお、開発計画や発生源で特に問題となるものはない。	Cロ/ 生物Bロ
4	古川		Dロ/ -	Cロ/ 生物Bハ	大阪市 守口市 門真市 寝屋川市 延長7.5km 一級河川	C類型環境基準： 5mg/L以下 75%値：2.4～5.1 年平均値：2.7～4.2	全亜鉛：0.015～0.043 ノニルフェノール： 0.00020～0.00026 LAS：0.0008～0.33	農業用水	特になし	大阪市内99.9% 守口市内100.0% 門真市内96.9% 寝屋川市内99.7%	市営住宅の し尿処理施 設など	オイカワ、コ イ、フナ等 (H25)公的機関 以外の調査 生物B相当	上位類型のBOD環境基準を平成30年度に達成していないが、超過が少ないことから、D類型からC類型に改定する。 また、生物B相当の水生生物が確認されているため、新たに生物Bを指定する。ただし、全亜鉛及びLASの環境基準を達成していない年度があるため、達成期間はハとする。 なお、開発計画や発生源で特に問題となるものはない。	Cロ/ 生物Bハ
5	平野川分水路		Dイ/ -	Cイ/ 生物Bハ	大阪市 一級河川	C類型環境基準： 5mg/L以下 75%値：3.0～4.5 年平均値：2.6～4.4	全亜鉛：0.049～0.12 ノニルフェノール： 0.00024～0.00066 LAS：<0.0006～0.021	特になし	特になし	大阪市内99.9%	下水終末処 理施設など	コイ、フナ属、 ボラ等(H29) 生物B相当	上位類型のBOD環境基準を達成しているため、D類型からC類型に改定する。 また、生物B相当の水生生物が確認されているため、新たに生物Bを指定する。ただし、全亜鉛の環境基準を全て達成していないため、達成期間はハとする。	Cイ/ 生物Bハ
6	平野川		Dイ/ -	Cイ/ 生物Bハ	大阪市 八尾市 柏原市 一級河川	C類型環境基準： 5mg/L以下 75%値：2.5～4.4 年平均値：2.6～3.7	全亜鉛：0.063～0.097 ノニルフェノール： 0.00028～0.0014 LAS：<0.0006～0.013	農業用水	特になし	大阪市内99.9% 柏原市内87.6%	繊維製品の 製造・加工 施設など	コイ、フナ属、 オイカワ等 (H29) 生物B相当	上位類型のBOD環境基準を達成しているため、D類型からC類型に改定する。 また、生物B相当の水生生物が確認されているため、新たに生物Bを指定する。ただし、全亜鉛の環境基準を全て達成していないため、達成期間はハとする。	Cイ/ 生物Bハ
7	土佐堀川	大阪市内河 川 (B)	Cイ/ 生物Bイ	Bイ/ 生物Bイ	大阪市	B類型環境基準： 3mg/L以下 75%値：1.2～2.1 年平均値：1.1～1.9	全亜鉛：0.015～0.044 ノニルフェノール： 0.00008～0.00032 LAS：0.0041～0.050	特になし	特になし	大阪市内99.9%	特になし	ボラ、コウライ モロコ、マハゼ 等(H29) 生物B相当	上位類型のBOD環境基準を達成しているため、C類型からB類型に改定する。 水生生物の類型は、BOD等の類型がBのため、現在の類型(生物B)のままとする。 なお、開発計画や発生源で特に問題となるものはない。	Bイ/ 生物Bイ
8	石川	大和川 (B以上)	Bイ/ 生物Bイ	Aイ/ 生物Aロ	藤井寺市 羽曳野市 富田林市 河内長野市 延長30km 一級河川	A類型環境基準： 2mg/L以下 75%値：1.2～1.8 年平均値：1.2～1.8 【石川橋】 75%値：0.8～1.3 年平均値：0.8～1.1	【高橋】 全亜鉛：0.004～0.030 ノニルフェノール： <0.00006～<0.00006 LAS：0.0021～0.038 【石川橋】 全亜鉛：0.003～0.005 ノニルフェノール： <0.00006～<0.00006 LAS：0.0010～0.0018	上水道水源 農業用水 運動広場、 石川河川公 園 水浴や水遊 び等の親水 利用あり	特になし	藤井寺市内 83.5% 羽曳野市内 85.8% 富田林市内 94.1% 河内長野市内 94.5%	府営住宅の し尿処理施 設など	コイ、ギンブ ナ、オイカワ等 (H24) 生物B相当	上位類型のBOD環境基準を達成しており、水浴や水遊び等の親水利用可能な場があるため、B類型からA類型に改定する。 しかし、生物B相当の水生生物しか確認されていないため、現在の類型(生物B)のままとする。 なお、開発計画や発生源で特に問題となるものはない。	Aイ/ (生物Bイ)
9	西除川(2)	大和川 (C以上)	Dロ/ -	Cイ/ 生物Bハ	松原市 堺市 大阪狭山市 延長26km 流域面積54km ² 一級河川	C類型環境基準： 5mg/L以下 75%値：2.6～3.2 年平均値：2.5～2.7	全亜鉛：0.040～0.049 ノニルフェノール： <0.00006～0.00008 LAS：<0.0006～0.0020	農業用水	特になし	松原市内98.4% 堺市内99.9% 大阪狭山市内 99.9%	特になし	ウナギ、コイ、 オイカワ等 (R3) 生物B相当	上位類型のBOD環境基準を達成しているため、D類型からC類型に改定する。 また、生物B相当の水生生物が確認されているため、新たに生物Bを指定する。ただし、全亜鉛の環境基準を全て達成していないため、達成期間はハとする。	Cイ/ 生物Bハ

1 表 26 類型指定改定案（続き）

通し番号	河川水域名	水系 (目指すべき 類型)	BOD等の項目/ 水生生物の保全に関する項目		河川の概況	水質の状況 (mg/L)		利用形態	開発計画	下水道整備状況	発生源状況	水生生物生息状況	総論	改定案
			現在の 類型	見直し 候補案		BOD	水生生物の保全 に関わる項目							
10	石津川	泉州諸河川 (C以上)	Dイ/ -	Bイ/ 生物B口	堺市 延長13km 流域面積78km ² 二級河川	B類型環境基準： 3mg/L以下 75%値：1.7~2.5 年平均値：1.4~2.5	全亜鉛：0.019~0.047 ノニルフェノール：- LAS：-	農業用水	特になし	堺市内99.9%	特になし	ウナギ、コイ、 オイカワ等 (H26) 生物B相当	2段階上の類型のBOD環境基準を達成しているため、D類型からB類型に改定する。 また、生物B相当の水生生物が確認されているため、新たに生物Bを指定する。ただし、全亜鉛の環境基準を達成していない年度があるため、達成期間を口とする。 なお、開発計画や発生源で特に問題となるものはない。	Bイ/ 生物B口
11	和田川	泉州諸河川 (B以上)	C口/ 生物Bイ	Bイ/ 生物Bイ	堺市 二級河川	B類型環境基準： 3mg/L以下 75%値：1.9~3.0 年平均値：2.0~3.1	全亜鉛：0.007~0.016 ノニルフェノール： <0.00006~0.00027 LAS：0.0077~0.016	農業用水	特になし	堺市内99.9%	特になし	コイ、ギンブ ナ、オイカワ等 生物B相当	上位類型のBOD環境基準を達成しているため、C類型からB類型に改定する。 水生生物の類型は、BOD等の類型がBのため、現在の類型(生物B)のままとする。 なお、開発計画や発生源で特に問題となるものはない。	Bイ/ 生物Bイ
12	牛滝川		B口/ 生物Bイ	Aイ/ 生物Aイ	岸和田市 延長17.5km 流域面積 45.4km ²	A類型環境基準： 2mg/L以下 75%値：0.9~1.9 年平均値：1.1~1.9	全亜鉛：0.002~0.019 ノニルフェノール： <0.00006~0.00006 LAS：0.0017~0.0067	農業用水 水浴や水遊び等の親水 利用あり	特になし	岸和田市内 96.2%	特になし	コイ、ギンブ ナ、オイカワ等 (H17) 生物B相当	上位類型のBOD環境基準を達成しており、水浴や水遊び等の親水利用可能な場があるため、B類型からA類型に改定する。 しかし、生物B相当の水生生物しか確認されていないため、現在の類型(生物B)のままとする。 なお、開発計画や発生源で特に問題となるものはない。	Aイ/ (生物Bイ)
13	春木川		Dイ/ -	Cイ/ 生物B口	岸和田市 延長10km 流域面積 14.4km ² 二級河川	C類型環境基準： 5mg/L以下 75%値：2.6~4.3 年平均値：2.3~3.8	全亜鉛：0.018~0.046 ノニルフェノール：- LAS：-	農業用水	特になし	岸和田市内 96.2%	特になし	ウナギ、コイ、 フナ類等(R3) 生物B相当	上位類型のBOD環境基準を達成しているため、D類型からC類型に改定する。 また、生物B相当の水生生物が確認されているため、新たに生物Bを指定する。ただし、全亜鉛の環境基準を達成していない年度があるため、達成期間を口とする。	Cイ/ 生物B口
14	津田川	泉州諸河川 (C以上)	Eイ/ -	Dイ/ -	貝塚市 岸和田市 延長15.5km 流域面積 26.3km ² 二級河川	D類型環境基準： 8mg/L以下 75%値：5.1~7.6 年平均値：5.1~6.7	-	農業用水	貝塚市内 の65区画 の住宅開 発：合併 処理浄化 槽	貝塚市内67.3% 岸和田市内 96.2%	弁当製造施 設など	-	上位類型のBOD環境基準を達成しているため、E類型からD類型に改定する。 なお、新たな発生源として、貝塚市内で住宅開発(65区画)の予定があるが、合併浄化槽で処理されることから、特に問題とならない。	Dイ/ -
15	見出川		Eイ/ -	D口/ -	貝塚市 泉佐野市 熊取町 延長12km 流域面積10km ² 二級河川	D類型環境基準： 8mg/L以下 75%値：5.8~8.7 年平均値：5.4~7.3	-	農業用水	貝塚市内 の区画整 理事業 等：下水 接続	貝塚市内67.3% 泉佐野市内 42.6% 熊取町内83.2%	市やマン ションのし 尿処理施設 など	-	上位類型のBOD環境基準を平成29年度は達成していないが、改善傾向にあるため、E類型からD類型に改定する。 ただし、上位類型の環境基準を満たしていない年度があるため、達成期間は口とする。 なお、新たな発生源として、貝塚市内で区画整理事業の予定があるが、下水接続されることから、特に問題とならない。	D口/ -
16	佐野川		Eイ/ -	Dイ/ -	泉佐野市 熊取町 二級河川	D類型環境基準： 8mg/L以下 75%値：4.7~6.0 年平均値：4.2~5.3	-	農業用水	特になし	泉佐野市内 42.6% 熊取町内83.2%	病院等のし 尿処理施設 など	-	上位類型のBOD環境基準を達成しているため、E類型からD類型に改定する。 なお、開発計画や発生源で特に問題となるものはない。	Dイ/ -
17	樫井川下流		Eイ/ -	Cイ/ 生物B口	田尻町 泉南市 泉佐野市 延長16.3km	C類型環境基準： 5mg/L以下 75%値：3.6~4.6 年平均値：3.4~4.4	全亜鉛：0.023~0.048 ノニルフェノール：- LAS：-	農業用水	特になし	田尻町内97.3% 泉南市内59.0% 泉佐野市内 42.6%	市や病院等 のし尿処理 施設など	コイ、フナ属、 オイカワ等 (H26) 生物B相当	2段階上の類型のBOD環境基準を達成しているため、E類型からC類型に改定する。 また、生物B相当の水生生物が確認されているため、新たに生物Bを指定する。ただし、全亜鉛の環境基準を達成していない年度があるため、達成期間を口とする。 なお、開発計画や発生源で特に問題となるものはない。	Cイ/ 生物B口

2
3
4
5
6
7
8
9
0
1
2

1 (2) 類型を改定しない河川水域の達成期間見直し

2 類型指定見直し候補から外れた河川水域で、達成期間が「イ(直ちに達成)」
3 でないものについては、以下のとおり達成期間の見直し案を作成した。

4
5 1) BOD等5項目

6 BOD等5項目の類型指定を見直さない河川水域で、達成期間が「ロ」
7 又は「ハ」であるものは、表27のとおり11河川水域がある。

8
9 ア) 達成期間が「ロ(5年以内に可及的速やかに達成)」の河川

- 10 ・勝尾寺川(A類型)、恩智川(C類型)、東除川(C類型)、西除川(1)
11 (B類型)

12 現類型の環境基準を達成しているため、達成期間を「イ」に改定す
13 る。

14 (安威川下流(3)は、7.安威川の類型指定・環境基準点の見直しで
15 別途検討。)

- 16 ・飛鳥川(C類型)

17 平成29年度に現類型の環境基準を達成しなかったが、平成30年度
18 以降は、連続して達成しているため、「イ」に改定する。

- 19 ・住吉川(B類型)、大津川上流(B類型)

20 令和2年度又は3年度に現類型の環境基準を達成していないため、
21 引き続き「ロ」とする。

22
23 イ) 達成期間が「ハ(5年を超える期間で可及的速やかに達成)」の河
24 川

- 25 ・船橋川、穂谷川、天野川(全てB類型)

26 現類型の環境基準を達成しているため、達成期間を「イ」に改定す
27 る。

- 28 ・松尾川(B類型)

29 現類型の環境基準を達成していない年度がある(平成30年度及び
30 令和3年度)が、可能な限り早期に達成するため、「ロ」に改定する。

31

1 表 27 類型を改定しないが達成期間を見直す河川水域の BOD75%値の推移

	区分	河川水域名	現在の類型	BOD の 75% 値 (mg/L)				
				H29	H30	R1	R2	R3
ア)	神崎川水系	勝尾寺川	A 口	1.1	1.4	0.8	1.0	1.0
	寝屋川水系	恩智川	C 口	4.7	3.6	3.4	2.3	2.2
	大和川水系	東除川	C 口	3.8	3.5	3.1	2.9	2.7
		西除川(1)	B 口	2.4	1.6	1.6	1.3	1.8
		飛鳥川	C 口	6.7	2.9	4.1	2.9	4.4
	大阪市内河川	住吉川	B 口	2.2	2.2	1.9	1.6	3.3
	泉州	大津川上流	B 口	2.7	3.0	2.8	3.1	2.5
イ)	淀川水系	船橋川	B ハ	2.9	2.1	3.0	2.1	2.1
		穂谷川	B ハ	2.2	1.9	2.5	1.9	2.0
		天野川	B ハ	2.9	2.1	2.5	1.3	1.5
	泉州	松尾川	B ハ	2.6	3.3	3.0	2.8	3.1

2

3

4 2) 水生生物の保全に関する 3 項目

5

6 ア) 達成期間が「ロ」の河川

7

- ・ 恩智川 (生物 B)

8

5 年間全ての水生生物保全項目の環境基準を達成しているため「イ」に改定する。

9

10

- ・ 寝屋川(1)、東除川、男里川 (全て生物 B)

11

全亜鉛の環境基準を達成していないため、引き続き「ロ」とする。

12

13

14

15

16

17

18

7. 安威川の類型指定・環境基準点の見直し

(1) 必要性

- ・安威川ダムは、今年度内に試験湛水を行い令和5年度から供用開始される予定であり、運用後は、その周辺の河川環境が大きく変化すると考えられる。
- ・茨木市は、上水道水源を安威川の茨木市取水口としていたが、現在は浅井戸扱いとなり、既に取水口の呼称はなくなっている。
- ・安威川の現在の環境基準の類型は、この取水口の上流と下流で分けて指定されているが、安威川ダムの供用に伴い、現在の類型指定や環境基準点等の一部見直しを検討する。

(2) 現状の類型指定・環境基準点等

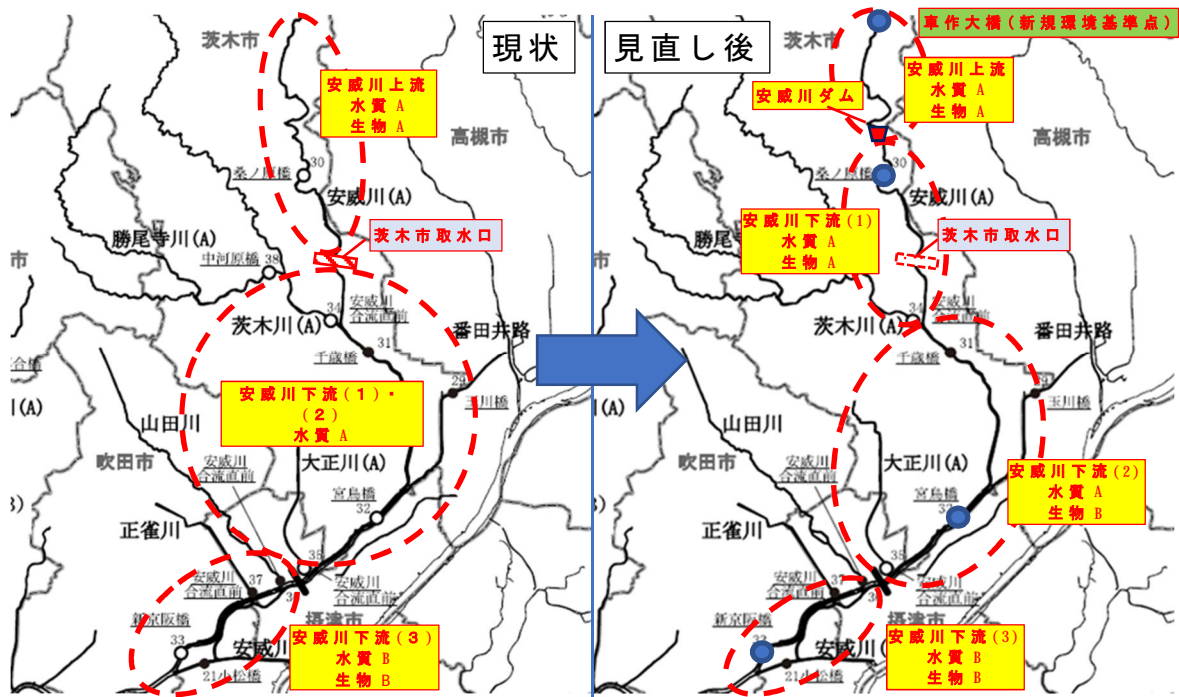
安威川では、現在表28のとおり、BOD等や水生生物保全に係る類型を指定しており、毎年度、環境基準点等で水質の常時監視を実施している。

表28 安威川の類型指定状況（現在）

河川水域名 (範囲)	BOD等の項目 に係る類型	水生生物保全に関する項目に係る類型	常時監視地点名 (○：環境基準点 ●：準基準点)
	類型指定年（最終改定年）		
① 安威川上流 (茨木市取水口より上流)	Aイ 昭和45年	生物Aイ 平成21年	桑ノ原橋○ (安威川ダムより下流)
② 安威川下流(1)・(2) (茨木市取水口から 大正川合流点まで)	Aイ 昭和45年(平成29年)	生物Bイ 平成29年	千歳橋● (茨木川合流より下流) 宮鳥橋○
③ 安威川下流(3) (大正川合流点より下流)	Bロ 昭和45年(平成21年)	生物Bイ 平成21年	新京阪橋○

(注)「イ」は直ちに達成。「ロ」は5年以内に可及的速やかに達成。

1 (3) 見直し案について



2
3
4
5
6 図4 安威川の類型指定の現状と見直し案

表29 安威川の類型指定見直し案

河川水域名 (範囲)	BOD等の項目 に係る類型 (現在の類型)	水生生物保全に關する 項目に係る類型 (現在の類型)	常時監視地点名 〔○：環境基準点〕
① 安威川上流 (安威川ダム流出端より 上流)	Aイ (Aイ)	生物Aイ (生物Aイ)	車作大橋○ 【新規】
② 安威川下流(1) (安威川ダム流出端から 茨木川合流点まで)	Aイ (Aイ)	生物Aイ (生物Aイ、生物Bイ)	桑ノ原橋○
③ 安威川下流(2) (茨木川合流点から 大正川合流点まで)	Aイ (Aイ)	生物Bイ (生物Bイ)	宮鳥橋○
④ 安威川下流(3) (大正川合流点より下流)	Bイ (Bロ)	生物Bイ (生物Bイ)	新京阪橋○

7
8 1) 類型指定及びその範囲

9 ①安威川上流

10 安威川ダムの運用により河川環境が大きく
11 変わると考えられるため、「安威川上流」は、
12 「茨木市取水口より上流」から「安威川ダム流
13 出端より上流」に変更する。

車作大橋(桑ノ原橋の上流)→



1 類型については、現在、BOD等の項目はA類型となっており、茨木市
2 が独自に調査している安威川ダムより上流（車作大橋）でもA類型の環境
3 基準値を下回っていることから、引き続きAとし、水生生物に関する項目
4 も引き続き生物Aとする。

6 ②安威川下流(1)

7 「安威川上流」の範囲を変更するため、「安威川下流」は安威川ダム流
8 出端から下流とする。

9 また、「安威川下流」の水域区分は、2水域から3水域に増やし、「安威川
10 下流(1)」は「安威川ダム流出端から下流の茨木川合流点（準基準点の千
11 歳橋の上流）まで」とする。

12 類型については、現在、BOD等の項目はA類型となっており、上位類
13 型の環境基準は達成していないことから、引き続きAとし、水生生物に関
14 する項目も現安威川上流部分を含むことから引き続き生物Aとする。



16 安威川ダム放流側



17 旧茨木市取水口付近

23 ③安威川下流(2)

24 安威川下流(1)を新しく設定するため、安威川下流(2)は、茨木川合流点
25 から大正川合流点までとする。

26 類型については、BOD等と水生生物保全に関する項目は変更なしとす
27 る。

28 ④安威川下流(3)

29 安威川下流(3)は、現在から変更がないため、範囲の変更はない。

30 類型については、BOD等と水生生物保全に関する項目は変更なしとす
31 る。

32 ただし、BOD等の項目の達成期間は現状「ロ」であるが、平成29年
33 度以降、現在のB類型の環境基準を達成しているため、「イ」に変更する
34 ことが適当と考えられる。

1 (参考) 安威川水域の現在の類型とBODの75%値の推移

水域名(環境基準点)		目指すべき類型	現在の類型		BODの75%値(mg/L)				
			BOD等	水生生物	H29	H30	R1	R2	R3
神 崎 川	安威川上流(桑ノ原橋)	B類型以上	Aイ	生物Aイ	0.6	1.3	0.8	0.6	0.8
	安威川下流(1)(千歳橋)		Aイ	生物Bイ	0.9	1.5	0.9	0.8	0.8
	安威川下流(2)(宮鳥橋)				1.1	1.6	0.9	1.3	0.9
	安威川下流(3)(新京阪橋)		Bロ	生物Bイ	1.7	2.2	2.4	1.7	3.0

2
3

4 2) 環境基準点等

5 今回の類型指定の見直しにより、安威川の水域区分が3水域から4水域に
6 増加するが、「安威川上流」には環境基準点がないため、新たに設置する必
7 要がある。

8 このため、茨木市が独自にこれまで水質測定を行っている龍仙峡の「車作
9 大橋」を新たな環境基準点の候補とし、市の測定結果では、過去10年間で
10 最大でも1.2mg/LとA類型の基準を達成しているため、「車作大橋」を「安
11 威川上流」の新たな環境基準点とする。

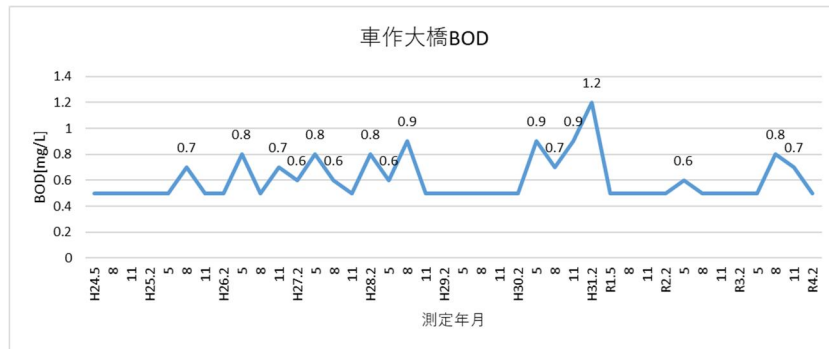
12 また、測定頻度は、基本現状と同様(BOD等は年間4回)とし、現在の「安
13 威川上流」の環境基準点である「桑ノ原橋」は、安威川ダム供用後の影響を
14 把握するために、引き続き、「安威川下流(1)」の環境基準点として常時監視
15 を継続することが適当と考えられる。

16 さらに、千歳橋は、下流の環境基準点(宮鳥橋)とBOD値がほとんど同
17 じのため、前回の見直しで類型範囲を統合して環境基準点から準基準点に変
18 更したが、環境基準点の調査結果の評価等にこれまで使用していないことか
19 ら廃止しても問題ないと考えられる。

20

21 (参考) 茨木市の水質測定状況(車作大橋)

- 22 ・測定頻度：年4回(ただし、平成22年度までは年12回実施)
- 23 ・BOD測定結果(平成29年度から令和3年度)
- 24 年間75%値 <0.5~0.9mg/L 年平均値 <0.5~0.9mg/L



28
29
30
31
32
33

図5 車作大橋のBOD濃度の推移(茨木市提供)

注) <0.5のデータも便宜上0.5として表記

1 8. まとめ

2 河川水質環境基準に係る類型については、以下のとおり、上位類型への改定
 3 等を行うことが適当である。なお、この改定に伴う類型別の河川水域数は表 30
 4 に示すとおりである。

5

6 (1) 上位類型への改定

7 16 河川水域について、BOD等5項目の類型を上位の類型に改定する。

8 このうち、8 河川水域については、新たに水生生物類型を指定する。

水系	河川水域名	範囲	類型改定案	
			BOD等5項目	水生生物3項目
淀川水系	檜尾川	全域	Bイ → Aイ	(生物Bイ 改定なし)
寝屋川水系	寝屋川(2)	住道大橋より下流	Dロ → Cロ	生物Bロ (新規)
	古川	全域	Dロ → Cロ	生物Bハ (新規)
	平野川分水路	全域	Dイ → Cイ	生物Bハ (新規)
	平野川	全域	Dイ → Cイ	生物Bハ (新規)
大阪市内河川	土佐堀川	全域	Cイ → Bイ	(生物Bイ 改定なし)
大和川水系	石川	全域	Bイ → Aイ	(生物Bイ 改定なし)
	西除川(2)	狭山池流出端より下流	Dロ → Cイ	生物Bハ (新規)
泉州諸河川	石津川	全域	Dイ → Bイ	生物Bロ (新規)
	和田川	全域	Cロ → Bイ	(生物Bイ 改定なし)
	牛滝川	全域	Bロ → Aイ	(生物Bイ 改定なし)
	春木川	全域	Dイ → Cイ	生物Bロ (新規)
	津田川	全域	Eイ → Dイ	—
	見出川	全域	Eイ → Dロ	—
	佐野川	全域	Eイ → Dイ	—
	櫻井川下流	兎田橋より下流	Eイ → Cイ	生物Bロ (新規)

9

10

1 (2) 類型範囲の変更

2 神崎川水系・安威川について、類型範囲及び達成期間を変更する。

河川水 域名	類 型 範 囲		BOD等 5項目	水生生物 3項目	環境基準点
	現行	変更案			
安威川 上流	茨木市取水口より 上流	安威川ダム流出端 より上流	(A I) (改定なし)	(生物 A I) (改定なし)	車作大橋 (新設)
安威川 下流(1)	茨木市取水口から 大正川合流点まで	安威川ダム流出端 から茨木川合流点 まで	(A I) (改定なし)	生物 A I (取水口より上 流は改定な く、下流は生 物 B I → 生物 A I に改定)	桑ノ原橋
安威川 下流(2)		茨木川合流点から 大正川合流点まで	(A I) (改定なし)	(生物 B I) (改定なし)	宮島橋 (準基準点「千 歳橋」は廃止)
安威川 下流(3)	大正川合流点より 下流	大正川合流点より 下流	B I → B I	(生物 B I) (改定なし)	新京阪橋

3

4 (3) 達成期間の変更

5 類型を改定しない8河川水域について、達成期間を変更する。

水系	河川水域名	範 囲	BOD等5項目	水生生物3項目
淀川水系	船橋川	全 域	B I → B I	—
	穂谷川	全 域	B I → B I	—
	天野川	奈良県界より下流	B I → B I	—
神崎川水系	勝尾寺川	全 域	A I → A I	—
寝屋川水系	恩智川	全 域	C I → C I	生物 B I → 生物 B I
大和川水系	飛鳥川	全 域	C I → C I	—
	東除川	全 域	C I → C I	—
	西除川(1)	狭山池流出端より上流	B I → B I	—

6

7

1
2
3

表 30 類型別の指定水域数

①<BOD等5項目>

類型	現行	指定・改定案
A A	3	3
A	26	30
B	29	29
C	8	13
D	11	7
E	4	0
全類型	81	82

4
5

②<水生生物の保全等に関する3項目>

類型	現行	指定・改定案
生物A	9	10
生物B	56	64
全類型	65	74

6
7

※生物特A、生物特Bの指定水域なし

1 おわりに

2 本部会では、計3回の審議を行い、府内の河川水域における水質や利用の状
3 況等を踏まえ、類型指定の基本的な考え方を示し、この考え方に沿って上位
4 類型への改定を検討すべき河川水域を抽出した。

5 抽出した個々の河川水域については、月別のBOD濃度等の水質、流域の
6 利用形態、発生源の状況等をさらに詳細に検証した。

7 その結果、16河川水域についてBOD等5項目を上位類型へ改定をすると
8 ともに、このうち8河川水域は新たに水生生物類型を指定し、類型指定を見直
9 さない河川水域も環境基準の達成状況を踏まえて達成期間を前倒しするこ
10 が適当であるとの結論を得た。

11 また、新たなダムの供用が予定されている河川水域は、河川環境が変化す
12 ると考えられることから、類型範囲等を変更することが適当であると判断した。

13

14 今回の類型指定見直しを行うと、BOD等5項目について、府内ではE類型
15 の河川水域はなくなるが、7河川水域で依然D類型が残存するため、水質の常
16 時監視を適切に行い、府内の全ての河川水域がC類型以上となるよう、引き続
17 きさらなる水質改善に取り組んでいく必要がある。

18 一方で、水生生物については、水質だけでなく水温や河川構造等の河川環境
19 によって生息状況が異なることから、環境DNA調査のような新しい手法も含
20 めて、府内の関係機関等と連携し、府内の河川水域における水生生物の実態を
21 把握していくことも期待する。

22

23 大阪府においては、上述の内容を踏まえて、河川水質環境基準に係る類型指
24 定について適切に見直しを実施し、引き続き関係機関と連携して生活排水対策
25 や事業場の排水規制・指導など河川水質保全の取組みを推進するとともに、
26 府民が水質だけでなく水生生物も含めた豊かな川により一層関心を持ち、利用
27 していただけるよう取り組まれない。

28

《資料》

- 1 月別のBOD濃度、流量及びBOD汚濁負荷量の詳細データ . . . 資1
- 2 大阪府内河川に生息している魚類 . . . 資2

月別のBOD濃度、流量及びBOD汚濁負荷量の詳細データ

目次

	河川水域	ページ		河川水域	ページ
①	平野川分水路	資1-3	⑫	古川	資1-15
②	平野川	資1-4	⑬	見出川	資1-16
③	土佐堀川	資1-5	⑭	第二寝屋川	資1-17
④	西除川 (2)	資1-6	⑮	近木川下流	資1-18
⑤	石津川	資1-7	⑯	飛鳥川	資1-19
⑥	和田川	資1-8	⑰	檜尾川	資1-20
⑦	春木川	資1-9	⑱	芥川 (2)	資1-21
⑧	津田川	資1-10	⑲-1	石川 高橋	資1-22
⑨	佐野川	資1-11	⑲-2	石川 石川橋	資1-23
⑩	檜井川下流	資1-12	⑳	牛滝川	資1-24
⑪-1	寝屋川 (2) 今津橋	資1-13	㉑	安威川上流 車作大橋	資1-25
⑪-2	寝屋川 (2) 京橋	資1-14			

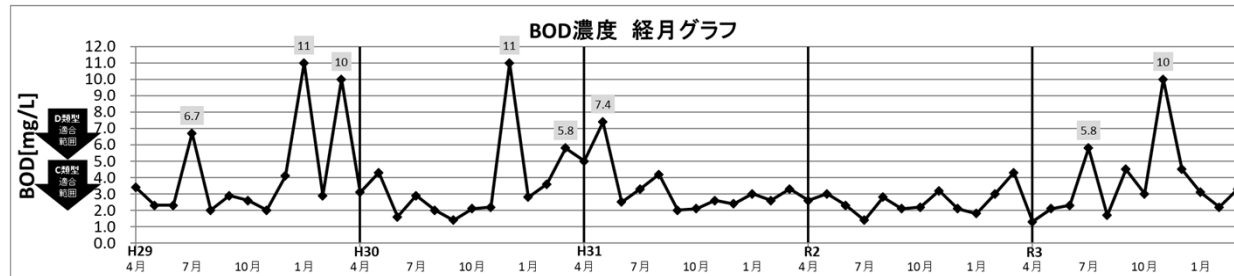
① 平野川分水路 測定地点名:天王田大橋【環境基準点】

BOD濃度、流量及びBOD汚濁負荷量の月別データ

	H29年度			H30年度			R1年度			R2年度			R3年度			
	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m ³ /s]	BOD負荷量 [kg/日]	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m ³ /s]	BOD負荷量 [kg/日]	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m ³ /s]	BOD負荷量 [kg/日]	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m ³ /s]	BOD負荷量 [kg/日]	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m ³ /s]	BOD負荷量 [kg/日]	
月平均 (※1)	4月	3.4	—	—	3.1	—	—	5.0	—	—	2.6	—	—	1.3	—	—
	5月	2.3	—	—	4.3	—	—	7.4	—	—	3.0	—	—	2.1	—	—
	6月	2.3	—	—	1.6	—	—	2.5	—	—	2.3	—	—	2.3	—	—
	7月	6.7	—	—	2.9	—	—	3.3	—	—	1.4	—	—	5.8	—	—
	8月	2	—	—	2	—	—	4.2	—	—	2.8	—	—	1.7	—	—
	9月	2.9	—	—	1.4	—	—	2.0	—	—	2.1	—	—	4.5	—	—
	10月	2.6	—	—	2.1	—	—	2.1	—	—	2.2	—	—	3.0	—	—
	11月	2	—	—	2.2	—	—	2.6	—	—	3.2	—	—	10	—	—
	12月	4.1	—	—	11	—	—	2.4	—	—	2.1	—	—	4.5	—	—
	1月	11	—	—	2.8	—	—	3.0	—	—	1.8	—	—	3.1	—	—
	2月	2.9	—	—	3.6	—	—	2.6	—	—	3.0	—	—	2.2	—	—
	3月	10	—	—	5.8	—	—	3.3	—	—	4.3	—	—	3.3	—	—
年平均(※2)	4.4	—	—	3.6	—	—	3.4	—	—	2.6	—	—	3.7	—	—	

※1: 流量については各月の調査にて複数回測定を行っていることから、それらの平均値を月平均とした。

※2: 年間における全測定値の平均から年平均値を算出した。



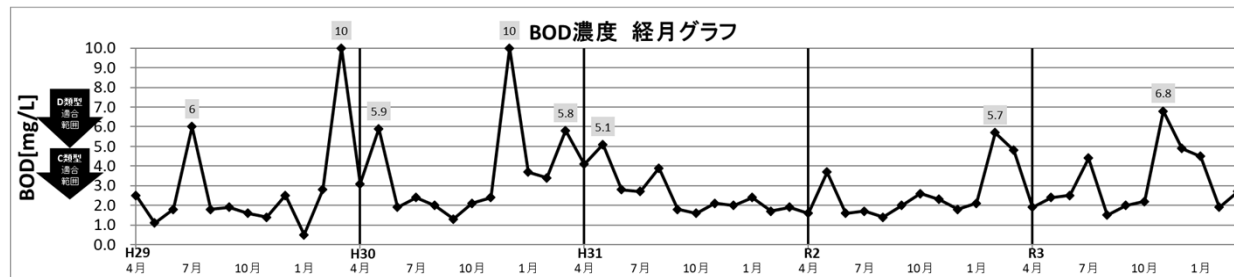
② 平野川 測定地点名:城見橋【環境基準点】

BOD濃度、流量及びBOD汚濁負荷量の月別データ

	H29年度			H30年度			R1年度			R2年度			R3年度			
	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m ³ /s]	BOD負荷量 [kg/日]	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m ³ /s]	BOD負荷量 [kg/日]	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m ³ /s]	BOD負荷量 [kg/日]	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m ³ /s]	BOD負荷量 [kg/日]	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m ³ /s]	BOD負荷量 [kg/日]	
月平均(※1)	4月	2.5	—	—	3.1	—	—	4.1	—	—	1.6	—	—	1.9	—	—
	5月	1.1	—	—	5.9	—	—	5.1	—	—	3.7	—	—	2.4	—	—
	6月	1.8	—	—	1.9	—	—	2.8	—	—	1.6	—	—	2.5	—	—
	7月	6.0	—	—	2.4	—	—	2.7	—	—	1.7	—	—	4.4	—	—
	8月	1.8	—	—	2.0	—	—	3.9	—	—	1.4	—	—	1.5	—	—
	9月	1.9	—	—	1.3	—	—	1.8	—	—	2.0	—	—	2.0	—	—
	10月	1.6	—	—	2.1	—	—	1.6	—	—	2.6	—	—	2.2	—	—
	11月	1.4	—	—	2.4	—	—	2.1	—	—	2.3	—	—	6.8	—	—
	12月	2.5	—	—	10	—	—	2.0	—	—	1.8	—	—	4.9	—	—
	1月	0.5	—	—	3.7	—	—	2.4	—	—	2.1	—	—	4.5	—	—
	2月	2.8	—	—	3.4	—	—	1.7	—	—	5.7	—	—	1.9	—	—
	3月	10	—	—	5.8	—	—	1.9	—	—	4.8	—	—	2.7	—	—
年平均(※2)	2.8	—	—	3.7	—	—	2.7	—	—	2.6	—	—	3.1	—	—	

※1:流量については各月の調査にて複数回測定を行っていることから、それらの平均値を月平均とした。

※2:年間における全測定値の平均から年平均値を算出した。



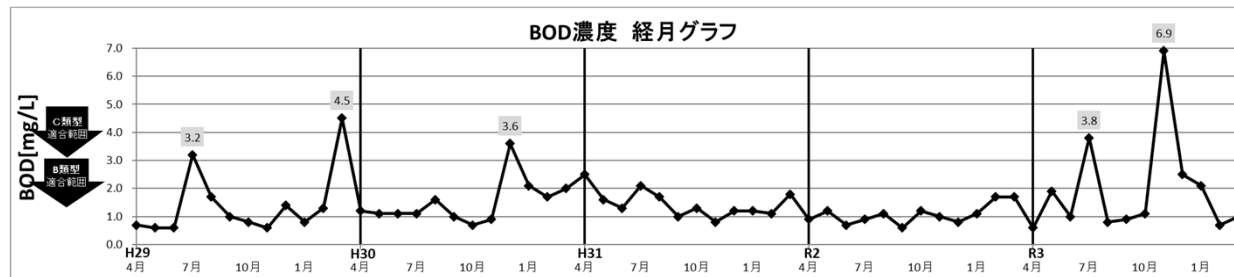
③ 土佐堀川 測定地点名:天神橋【環境基準点】

BOD濃度、流量及びBOD汚濁負荷量の月別データ

	H29年度			H30年度			R1年度			R2年度			R3年度			
	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m ³ /s]	BOD負荷量 [kg/日]	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m ³ /s]	BOD負荷量 [kg/日]	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m ³ /s]	BOD負荷量 [kg/日]	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m ³ /s]	BOD負荷量 [kg/日]	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m ³ /s]	BOD負荷量 [kg/日]	
月平均(※1)	4月	0.7	—	—	1.2	—	—	2.5	—	—	0.9	—	—	0.6	—	—
	5月	0.6	—	—	1.1	—	—	1.6	—	—	1.2	—	—	1.9	—	—
	6月	0.6	—	—	1.1	—	—	1.3	—	—	0.7	—	—	1.0	—	—
	7月	3.2	—	—	1.1	—	—	2.1	—	—	0.9	—	—	3.8	—	—
	8月	1.7	—	—	1.6	—	—	1.7	—	—	1.1	—	—	0.8	—	—
	9月	1.0	—	—	1.0	—	—	1.0	—	—	0.6	—	—	0.9	—	—
	10月	0.8	—	—	0.7	—	—	1.3	—	—	1.2	—	—	1.1	—	—
	11月	0.6	—	—	0.9	—	—	0.8	—	—	1.0	—	—	6.9	—	—
	12月	1.4	—	—	3.6	—	—	1.2	—	—	0.8	—	—	2.5	—	—
	1月	0.8	—	—	2.1	—	—	1.2	—	—	1.1	—	—	2.1	—	—
	2月	1.3	—	—	1.7	—	—	1.1	—	—	1.7	—	—	0.7	—	—
	3月	4.5	—	—	2.0	—	—	1.8	—	—	1.7	—	—	1.0	—	—
年平均(※2)	1.4	—	—	1.5	—	—	1.5	—	—	1.1	—	—	1.9	—	—	

※1: 流量については各月の調査にて複数回測定を行っていることから、それらの平均値を月平均とした。

※2: 年間における全測定値の平均から年平均値を算出した。



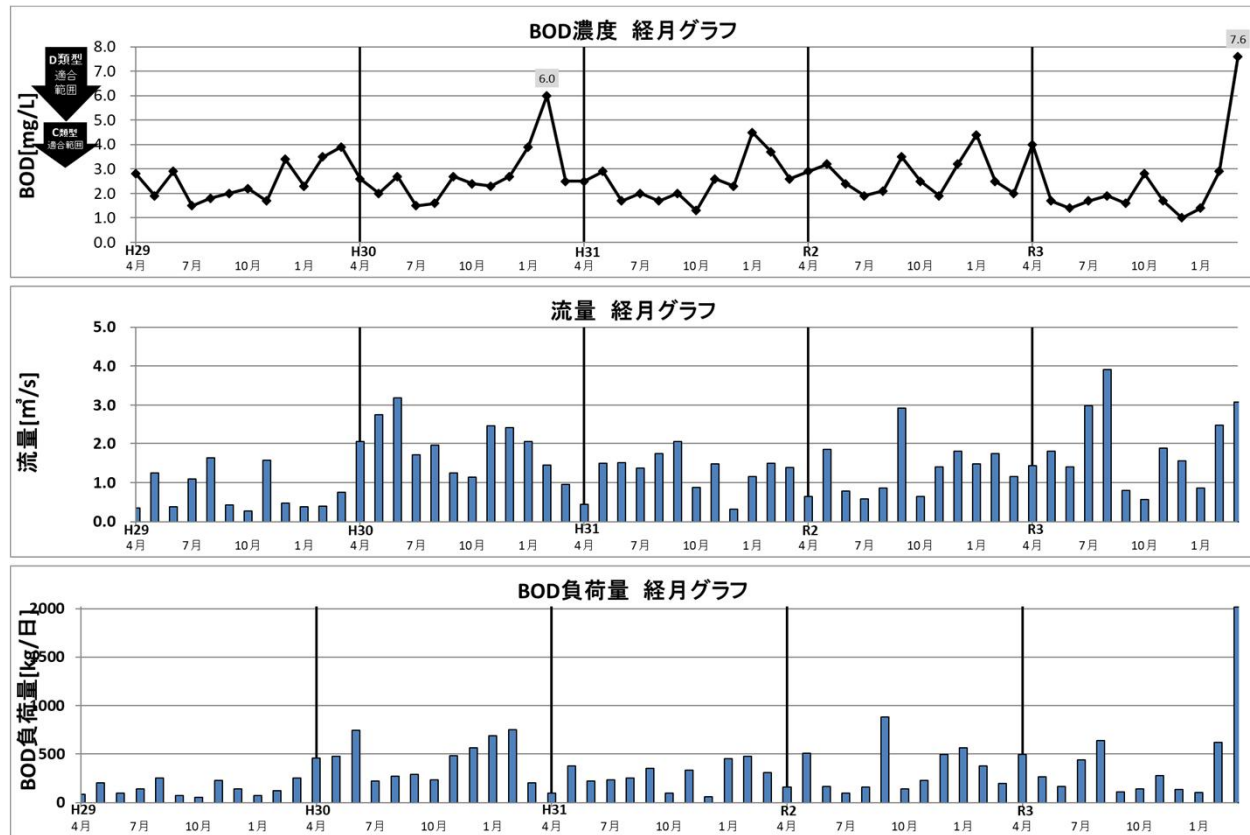
④ 西除川 (2) 測定地点名:大和川合流直前【環境基準点】

BOD濃度、流量及びBOD汚濁負荷量の月別データ

	H29年度			H30年度			R1年度			R2年度			R3年度			
	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m ³ /s]	BOD負荷量 [kg/日]	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m ³ /s]	BOD負荷量 [kg/日]	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m ³ /s]	BOD負荷量 [kg/日]	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m ³ /s]	BOD負荷量 [kg/日]	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m ³ /s]	BOD負荷量 [kg/日]	
月平均(※1)	4月	2.8	0.35	84.1	2.6	2.05	460.5	2.5	0.45	96.1	2.9	0.64	159.7	4.0	1.44	495.9
	5月	1.9	1.25	204.4	2.0	2.75	475.2	2.9	1.50	375.2	3.2	1.85	511.5	1.7	1.80	264.4
	6月	2.9	0.38	95.8	2.7	3.19	743.6	1.7	1.52	222.5	2.4	0.79	163.8	1.4	1.40	168.7
	7月	1.5	1.09	140.6	1.5	1.72	222.3	2.0	1.37	236.3	1.9	0.59	96.4	1.7	2.99	439.2
	8月	1.8	1.63	253.5	1.6	1.96	271.0	1.7	1.74	255.6	2.1	0.87	157.4	1.9	3.91	641.9
	9月	2.0	0.42	73.0	2.7	1.25	292.2	2.0	2.04	352.9	3.5	2.93	885.3	1.6	0.80	109.9
	10月	2.2	0.27	50.8	2.4	1.14	235.9	1.3	0.88	98.8	2.5	0.64	138.8	2.8	0.58	139.1
	11月	1.7	1.57	231.0	2.3	2.45	486.4	2.6	1.48	332.5	1.9	1.41	231.1	1.7	1.88	276.1
	12月	3.4	0.47	138.1	2.7	2.41	561.6	2.3	0.32	63.1	3.2	1.80	497.0	1.0	1.56	134.8
	1月	2.3	0.38	75.5	3.9	2.04	688.2	4.5	1.16	451.0	4.4	1.48	562.6	1.4	0.86	104.0
	2月	3.5	0.40	121.7	6.0	1.45	750.4	3.7	1.50	477.9	2.5	1.74	376.4	2.9	2.47	617.6
	3月	3.9	0.75	253.6	2.5	0.95	205.2	2.6	1.38	310.6	2.0	1.15	198.7	7.6	3.08	2019.2
年平均(※2)	2.5	0.75	143.5	2.7	1.95	449.4	2.5	1.28	272.7	2.7	1.32	331.6	2.5	1.90	450.9	

※1:流量については各月の調査にて複数回測定を行っていることから、それらの平均値を月平均とした。

※2:年間における全測定値の平均から年平均値を算出した。



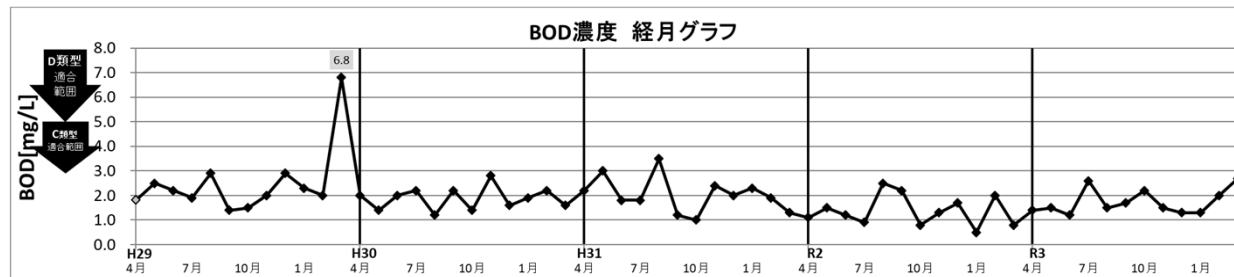
⑤ 石津川 測定地点名:石津川橋【環境基準点】

BOD濃度、流量及びBOD汚濁負荷量の月別データ

	H29年度			H30年度			R1年度			R2年度			R3年度			
	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m ³ /s]	BOD負荷量 [kg/日]	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m ³ /s]	BOD負荷量 [kg/日]	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m ³ /s]	BOD負荷量 [kg/日]	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m ³ /s]	BOD負荷量 [kg/日]	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m ³ /s]	BOD負荷量 [kg/日]	
月平均(※1)	4月	1.8	—	—	2.0	—	—	2.2	—	—	1.1	—	—	1.4	—	—
	5月	2.5	—	—	1.4	—	—	3.0	—	—	1.5	—	—	1.5	—	—
	6月	2.2	—	—	2.0	—	—	1.8	—	—	1.2	—	—	1.2	—	—
	7月	1.9	—	—	2.2	—	—	1.8	—	—	0.9	—	—	2.6	—	—
	8月	2.9	—	—	1.2	—	—	3.5	—	—	2.5	—	—	1.5	—	—
	9月	1.4	—	—	2.2	—	—	1.2	—	—	2.2	—	—	1.7	—	—
	10月	1.5	—	—	1.4	—	—	1.0	—	—	0.8	—	—	2.2	—	—
	11月	2.0	—	—	2.8	—	—	2.4	—	—	1.3	—	—	1.5	—	—
	12月	2.9	—	—	1.6	—	—	2.0	—	—	1.7	—	—	1.3	—	—
	1月	2.3	—	—	1.9	—	—	2.3	—	—	0.5	—	—	1.3	—	—
	2月	2.0	—	—	2.2	—	—	1.9	—	—	2.0	—	—	2.0	—	—
	3月	6.8	—	—	1.6	—	—	1.3	—	—	0.8	—	—	2.7	—	—
年平均(※2)	2.5	—	—	1.9	—	—	2.0	—	—	1.4	—	—	1.7	—	—	

※1:流量については各月の調査にて複数回測定を行っていることから、それらの平均値を月平均とした。

※2:年間における全測定値の平均から年平均値を算出した。

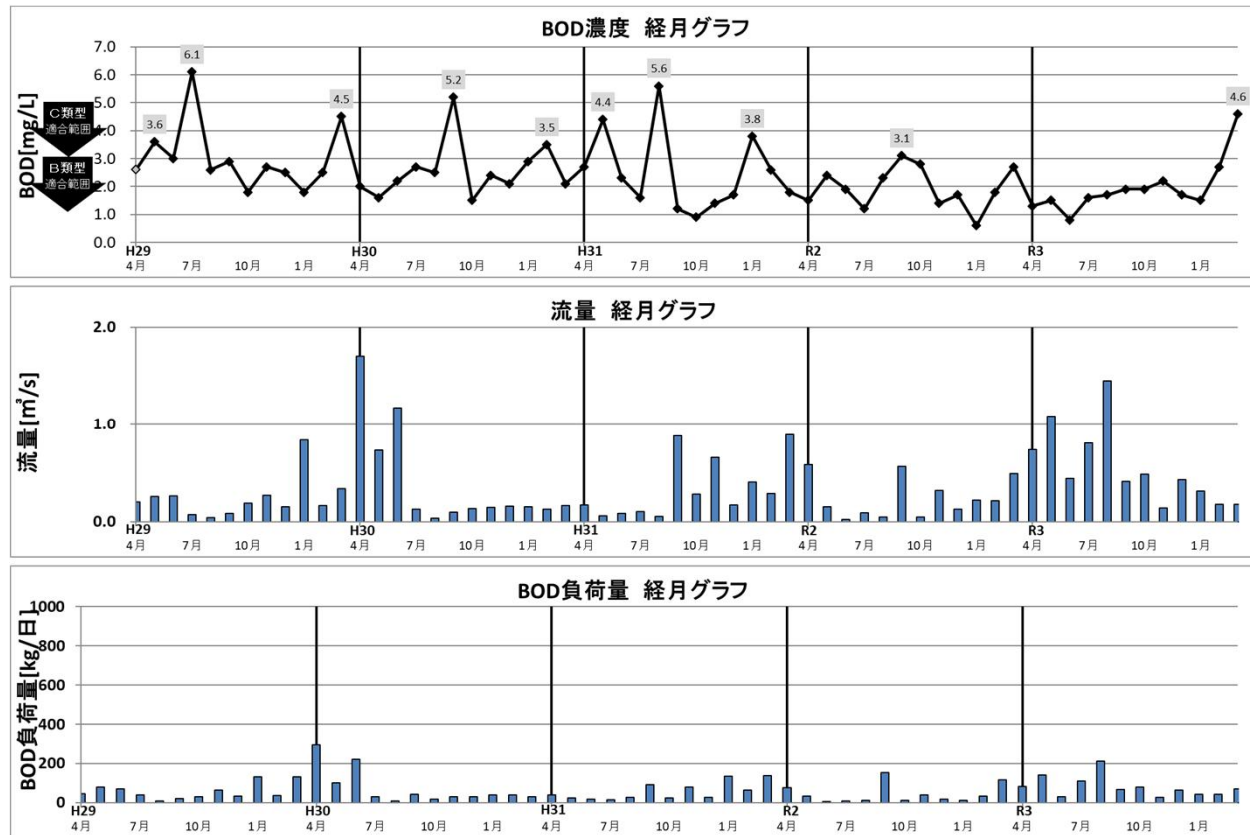


⑥ 和田川 測定地点名:小野々井橋【環境基準点】

BOD濃度、流量及びBOD汚濁負荷量の月別データ

	H29年度			H30年度			R1年度			R2年度			R3年度			
	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m³/s]	BOD負荷量 [kg/日]	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m³/s]	BOD負荷量 [kg/日]	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m³/s]	BOD負荷量 [kg/日]	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m³/s]	BOD負荷量 [kg/日]	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m³/s]	BOD負荷量 [kg/日]	
月平均(※1)	4月	2.6	0.20	44.9	2.0	1.70	294.2	2.7	0.17	40.2	1.5	0.59	75.8	1.3	0.74	83.1
	5月	3.6	0.26	80.1	1.6	0.74	101.6	4.4	0.06	23.8	2.4	0.16	32.1	1.5	1.09	140.6
	6月	3.0	0.27	68.7	2.2	1.17	222.4	2.3	0.09	16.9	1.9	0.02	3.7	0.8	0.45	30.8
	7月	6.1	0.08	39.5	2.7	0.13	29.7	1.6	0.11	14.5	1.2	0.09	9.3	1.6	0.81	111.3
	8月	2.6	0.04	9.0	2.5	0.04	7.6	5.6	0.06	26.6	2.3	0.05	9.9	1.7	1.45	213.0
	9月	2.9	0.09	21.3	5.2	0.10	42.7	1.2	0.88	91.2	3.1	0.57	152.0	1.9	0.41	67.3
	10月	1.8	0.19	29.2	1.5	0.13	17.2	0.9	0.29	22.2	2.8	0.05	12.1	1.9	0.49	79.6
	11月	2.7	0.27	63.6	2.4	0.15	30.6	1.4	0.66	79.5	1.4	0.32	38.4	2.2	0.14	26.6
	12月	2.5	0.16	33.5	2.1	0.16	28.6	1.7	0.17	25.3	1.7	0.13	18.7	1.7	0.43	63.2
	1月	1.8	0.84	130.6	2.9	0.16	38.8	3.8	0.41	133.8	0.6	0.22	11.5	1.5	0.32	40.8
	2月	2.5	0.16	35.1	3.5	0.13	39.3	2.6	0.29	64.6	1.8	0.22	33.4	2.7	0.18	40.8
	3月	4.5	0.34	130.2	2.1	0.17	30.4	1.8	0.89	138.4	2.7	0.49	114.9	4.6	0.18	69.6
年平均(※2)	3.1	0.24	57.1	2.6	0.40	73.6	2.5	0.34	56.4	2.0	0.24	42.7	2.0	0.55	80.6	

※1: 流量については各月の調査にて複数回測定を行っていることから、それらの平均値を月平均とした。
 ※2: 年間における全測定値の平均から年平均値を算出した。

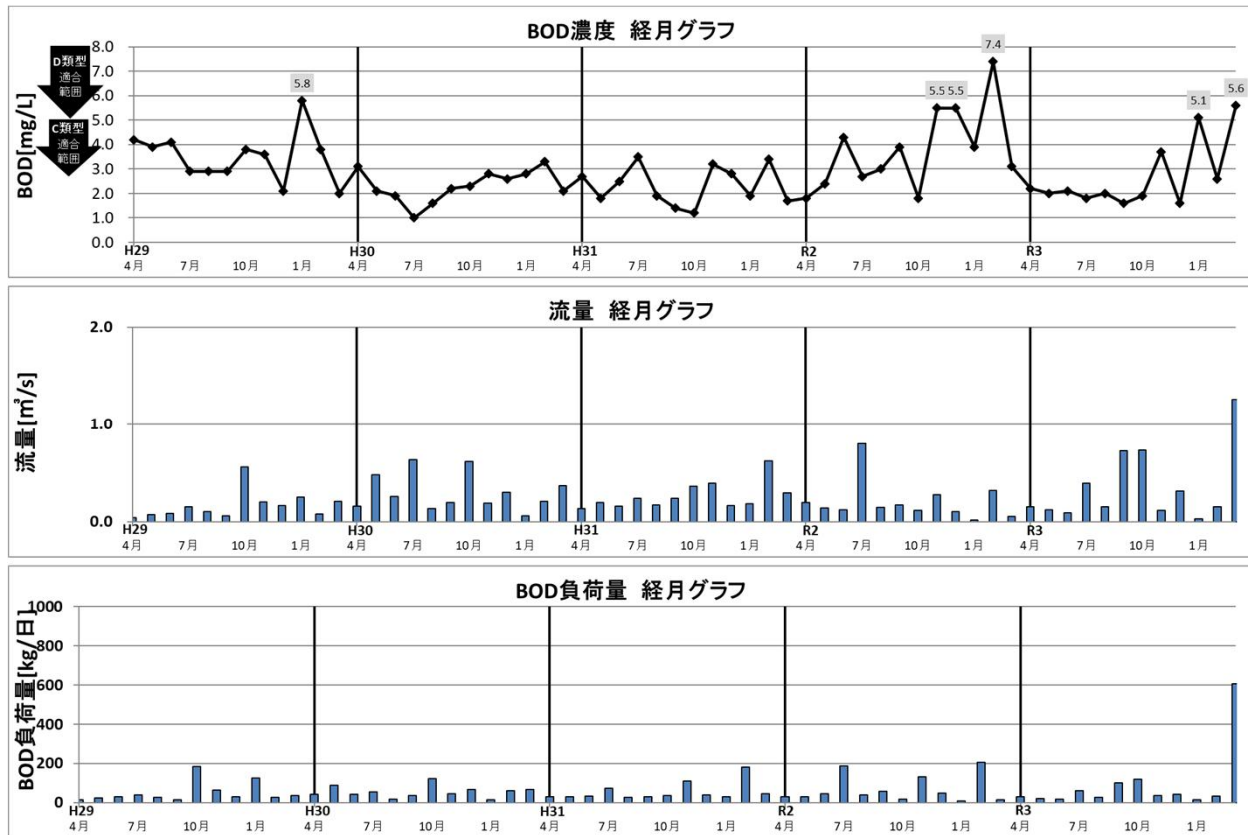


⑦ 春木川 測定地点名:春木橋【環境基準点】

BOD濃度、流量及びBOD汚濁負荷量の月別データ

	H29年度			H30年度			R1年度			R2年度			R3年度			
	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m ³ /s]	BOD負荷量 [kg/日]	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m ³ /s]	BOD負荷量 [kg/日]	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m ³ /s]	BOD負荷量 [kg/日]	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m ³ /s]	BOD負荷量 [kg/日]	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m ³ /s]	BOD負荷量 [kg/日]	
月平均(※1)	4月	4.2	0.04	14.5	3.1	0.16	42.9	2.7	0.13	30.9	1.8	0.20	30.7	2.2	0.15	28.5
	5月	3.9	0.07	24.4	2.1	0.48	87.1	1.8	0.20	30.7	2.4	0.14	29.0	2.0	0.12	20.7
	6月	4.1	0.09	31.0	1.9	0.26	42.3	2.5	0.16	34.0	4.3	0.12	44.6	2.1	0.09	16.3
	7月	2.9	0.16	38.8	1.0	0.64	54.9	3.5	0.24	72.6	2.7	0.80	187.2	1.8	0.40	61.4
	8月	2.9	0.10	25.7	1.6	0.14	18.7	1.9	0.17	27.9	3.0	0.15	37.6	2.0	0.16	26.8
	9月	2.9	0.06	15.0	2.2	0.20	37.1	1.4	0.24	28.7	3.9	0.17	58.1	1.6	0.73	100.2
	10月	3.8	0.56	184.7	2.3	0.62	122.7	1.2	0.36	37.3	1.8	0.12	18.3	1.9	0.73	119.8
	11月	3.6	0.20	63.0	2.8	0.19	46.6	3.2	0.39	108.5	5.5	0.28	131.9	3.7	0.12	36.8
	12月	2.1	0.17	29.9	2.6	0.30	67.4	2.8	0.17	40.5	5.5	0.10	48.7	1.6	0.32	43.5
	1月	5.8	0.25	125.3	2.8	0.06	13.9	1.9	0.18	30.0	3.9	0.02	6.7	5.1	0.03	13.2
	2月	3.8	0.08	25.4	3.3	0.21	59.9	3.4	0.62	182.1	7.4	0.32	206.2	2.6	0.15	33.7
	3月	2.0	0.21	35.9	2.1	0.37	66.7	1.7	0.30	43.7	3.1	0.05	14.1	5.6	1.26	607.2
年平均(※2)	3.5	0.17	51.1	2.3	0.30	55.0	2.3	0.26	55.6	3.8	0.21	67.8	2.7	0.35	92.4	

※1: 流量については各月の調査にて複数回測定を行っていることから、それらの平均値を月平均とした。
 ※2: 年間における全測定値の平均から年平均値を算出した。

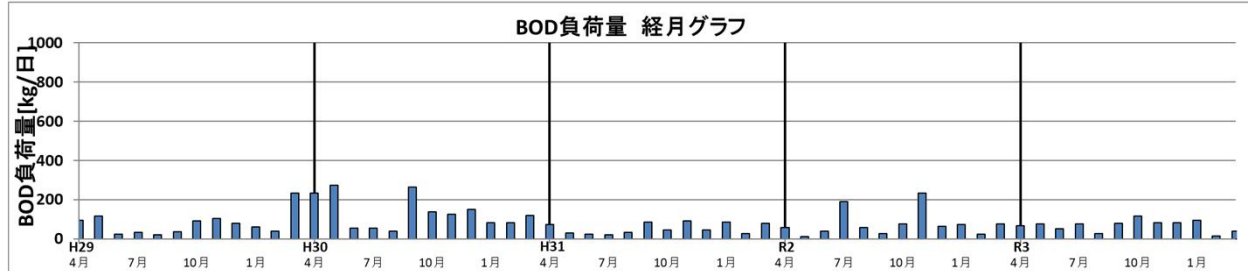
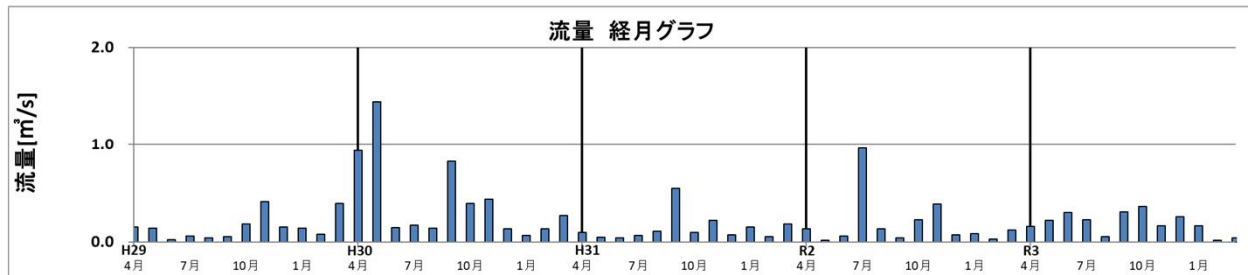
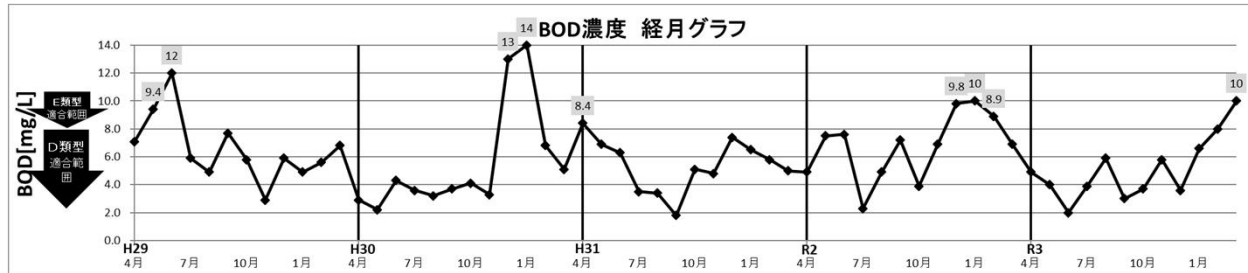


⑧ 津田川 測定地点名:昭代橋【環境基準点】

BOD濃度、流量及びBOD汚濁負荷量の月別データ

	H29年度			H30年度			R1年度			R2年度			R3年度			
	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m³/s]	BOD負荷量 [kg/日]	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m³/s]	BOD負荷量 [kg/日]	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m³/s]	BOD負荷量 [kg/日]	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m³/s]	BOD負荷量 [kg/日]	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m³/s]	BOD負荷量 [kg/日]	
月平均(※1)	4月	7.1	0.15	93.5	2.9	0.94	234.3	8.4	0.10	72.6	4.9	0.14	57.2	4.9	0.16	67.7
	5月	9.4	0.14	115.7	2.2	1.45	274.7	6.9	0.05	28.3	7.5	0.02	9.7	4.0	0.22	76.0
	6月	12	0.02	23.3	4.3	0.15	54.8	6.3	0.05	24.5	7.6	0.06	39.4	2.0	0.30	51.8
	7月	5.9	0.06	31.9	3.6	0.17	52.9	3.5	0.07	19.7	2.3	0.96	190.8	3.9	0.23	77.5
	8月	4.9	0.05	19.1	3.2	0.14	38.7	3.4	0.11	32.3	4.9	0.14	57.2	5.9	0.06	28.0
	9月	7.7	0.05	34.9	3.7	0.83	264.5	1.8	0.55	84.8	7.2	0.05	28.0	3.0	0.31	79.1
	10月	5.8	0.18	91.5	4.1	0.39	139.0	5.1	0.10	44.1	3.9	0.23	77.5	3.7	0.37	116.7
	11月	2.9	0.41	103.4	3.3	0.44	124.0	4.8	0.22	92.3	6.9	0.39	232.5	5.8	0.17	82.7
	12月	5.9	0.16	79.0	13	0.13	148.8	7.4	0.07	44.8	9.8	0.08	63.5	3.6	0.26	80.9
	1月	4.9	0.14	60.3	14	0.07	81.6	6.5	0.15	84.2	10	0.09	73.4	6.6	0.17	94.1
	2月	5.6	0.08	37.5	6.8	0.14	80.8	5.8	0.06	27.6	8.9	0.03	23.1	8.0	0.02	13.8
	3月	6.8	0.40	232.1	5.1	0.27	119.0	5.0	0.18	78.8	6.9	0.13	74.5	10	0.05	38.9
年平均(※2)	6.6	0.15	76.8	5.5	0.43	134.4	5.4	0.14	52.8	6.7	0.19	77.2	5.1	0.19	67.3	

※1:流量については各月の調査にて複数回測定を行っていることから、それらの平均値を月平均とした。
 ※2:年間における全測定値の平均から年平均値を算出した。

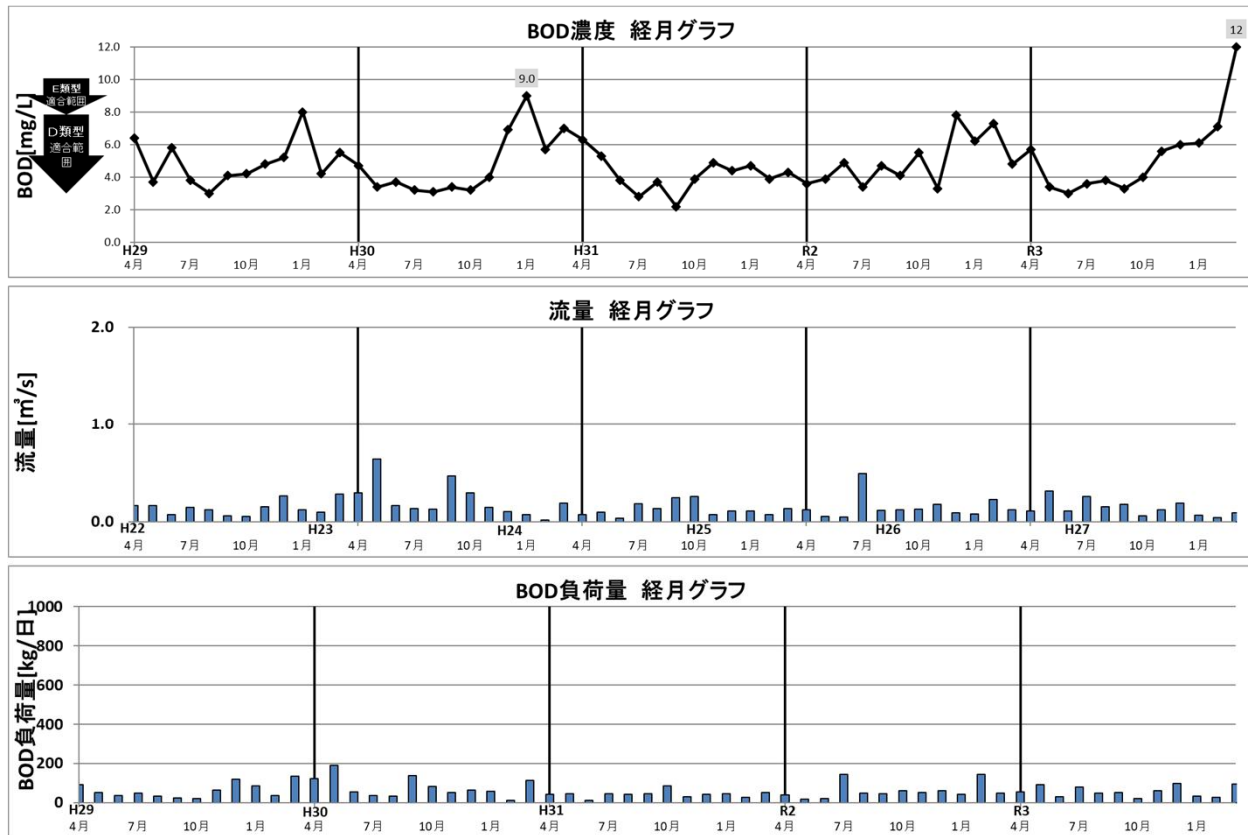


⑨ 佐野川 測定地点名:昭平橋【環境基準点】

BOD濃度、流量及びBOD汚濁負荷量の月別データ

	H29年度			H30年度			R1年度			R2年度			R3年度			
	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m³/s]	BOD負荷量 [kg/日]	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m³/s]	BOD負荷量 [kg/日]	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m³/s]	BOD負荷量 [kg/日]	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m³/s]	BOD負荷量 [kg/日]	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m³/s]	BOD負荷量 [kg/日]	
月平均(※1)	4月	6.4	0.17	91.2	4.7	0.30	120.8	6.3	0.08	40.8	3.6	0.13	38.9	5.7	0.11	54.2
	5月	3.7	0.16	51.9	3.4	0.64	188.7	5.3	0.10	45.8	3.9	0.06	18.5	3.4	0.32	92.5
	6月	5.8	0.07	35.1	3.7	0.17	53.5	3.8	0.04	12.3	4.9	0.05	21.2	3.0	0.11	28.5
	7月	3.8	0.15	47.6	3.2	0.14	37.3	2.8	0.19	44.8	3.4	0.49	143.9	3.6	0.26	79.3
	8月	3.0	0.12	31.8	3.1	0.13	34.1	3.7	0.13	42.4	4.7	0.12	46.7	3.8	0.15	49.2
	9月	4.1	0.06	22.1	3.4	0.47	137.3	2.2	0.24	46.1	4.1	0.13	44.3	3.3	0.18	51.3
	10月	4.2	0.06	20.0	3.2	0.30	81.6	3.9	0.26	86.8	5.5	0.13	61.8	4.0	0.06	20.7
	11月	4.8	0.16	64.3	4.0	0.15	50.1	4.9	0.07	30.7	3.3	0.18	51.3	5.6	0.13	60.5
	12月	5.2	0.27	119.1	6.9	0.11	62.6	4.4	0.11	42.8	7.8	0.09	60.7	6.0	0.19	98.5
	1月	8.0	0.13	86.4	9.0	0.07	56.4	4.7	0.11	45.7	6.2	0.08	42.9	6.1	0.07	34.3
	2月	4.2	0.10	34.5	5.7	0.02	9.8	3.9	0.08	25.3	7.3	0.23	145.1	7.1	0.05	27.6
	3月	5.5	0.28	133.1	7.0	0.19	113.4	4.3	0.14	50.2	4.8	0.12	49.8	12	0.09	93.3
年平均(※2)	4.9	0.14	61.4	4.8	0.22	78.8	4.2	0.13	42.8	5.0	0.15	60.4	5.3	0.14	57.5	

※1: 流量については各月の調査にて複数回測定を行っていることから、それらの平均値を月平均とした。
 ※2: 年間における全測定値の平均から年平均値を算出した。

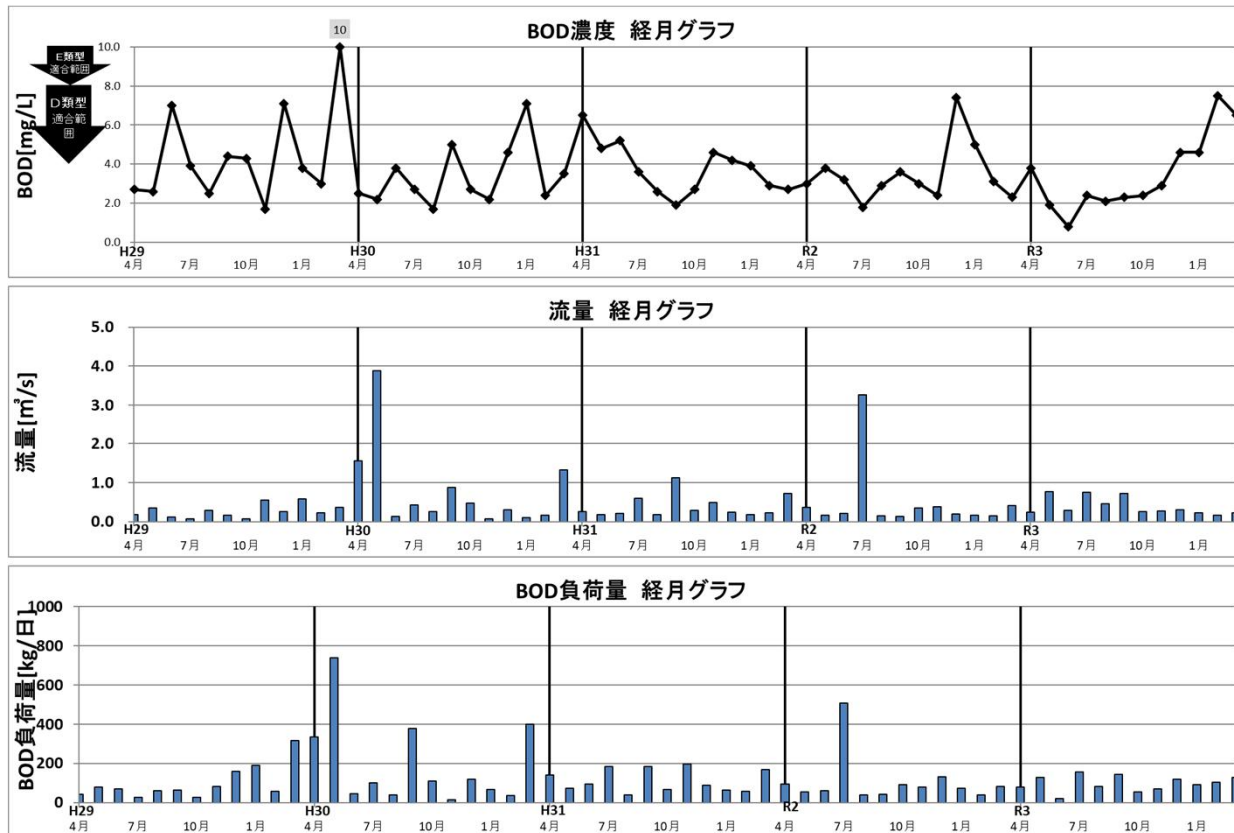


⑩ 樫井川下流 測定地点名: 樫井川橋【環境基準点】

BOD濃度、流量及びBOD汚濁負荷量の月別データ

	H29年度			H30年度			R1年度			R2年度			R3年度			
	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m³/s]	BOD負荷量 [kg/日]	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m³/s]	BOD負荷量 [kg/日]	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m³/s]	BOD負荷量 [kg/日]	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m³/s]	BOD負荷量 [kg/日]	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m³/s]	BOD負荷量 [kg/日]	
月平均(※1)	4月	2.7	0.18	42.0	2.5	1.55	335.3	6.5	0.25	141.8	3.0	0.36	93.3	3.8	0.24	78.8
	5月	2.6	0.36	80.3	2.2	3.88	737.5	4.8	0.18	73.6	3.8	0.17	55.8	1.9	0.78	127.2
	6月	7.0	0.12	69.6	3.8	0.14	44.3	5.2	0.21	93.2	3.2	0.22	60.8	0.8	0.29	20.0
	7月	3.9	0.08	26.1	2.7	0.43	100.3	3.6	0.60	185.1	1.8	3.27	508.6	2.4	0.76	157.6
	8月	2.5	0.28	61.0	1.7	0.26	37.5	2.6	0.18	39.3	2.9	0.15	37.6	2.1	0.46	83.5
	9月	4.4	0.17	62.7	5.0	0.88	378.0	1.9	1.12	183.9	3.6	0.14	43.5	2.3	0.72	143.1
	10月	4.3	0.07	26.0	2.7	0.47	109.1	2.7	0.28	65.9	3.0	0.35	90.7	2.4	0.26	53.9
	11月	1.7	0.56	81.5	2.2	0.07	13.3	4.6	0.49	194.7	2.4	0.38	78.8	2.9	0.28	68.9
	12月	7.1	0.26	159.5	4.6	0.30	119.2	4.2	0.25	88.9	7.4	0.21	131.1	4.6	0.30	119.2
	1月	3.8	0.58	189.6	7.1	0.11	65.9	3.9	0.19	63.2	5.0	0.17	73.4	4.6	0.23	91.4
	2月	3.0	0.23	58.3	2.4	0.17	35.8	2.9	0.24	58.9	3.1	0.15	40.2	7.5	0.16	103.7
	3月	10	0.37	315.4	3.5	1.32	399.2	2.7	0.72	168.0	2.3	0.42	83.5	6.5	0.23	129.2
年平均(※2)	4.4	0.27	97.7	3.4	0.80	198.0	3.8	0.39	113.0	3.5	0.50	108.1	3.5	0.39	98.0	

※1: 流量については各月の調査にて複数回測定を行っていることから、それらの平均値を月平均とした。
 ※2: 年間における全測定値の平均から年平均値を算出した。



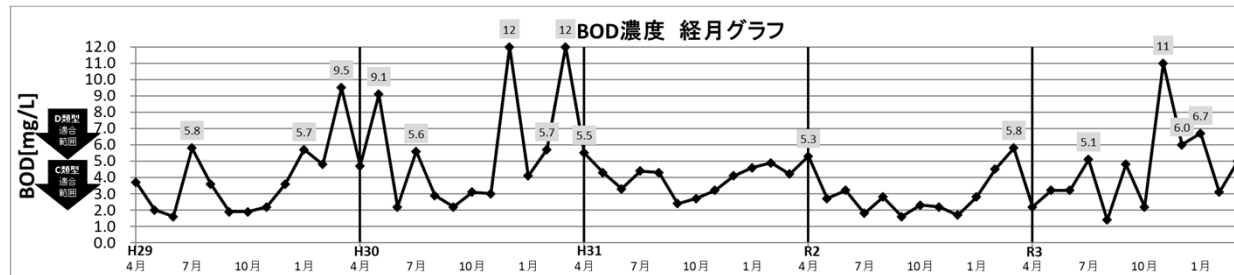
⑪-1 寝屋川(2) 測定地点名:今津橋【環境基準点】

BOD濃度、流量及びBOD汚濁負荷量の月別データ

	H29年度			H30年度			R1年度			R2年度			R3年度			
	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m ³ /s]	BOD負荷量 [kg/日]	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m ³ /s]	BOD負荷量 [kg/日]	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m ³ /s]	BOD負荷量 [kg/日]	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m ³ /s]	BOD負荷量 [kg/日]	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m ³ /s]	BOD負荷量 [kg/日]	
月平均(※1)	4月	3.7	—	—	4.7	—	—	5.5	—	—	5.3	—	—	2.2	—	—
	5月	2.0	—	—	9.1	—	—	4.3	—	—	2.7	—	—	3.2	—	—
	6月	1.6	—	—	2.2	—	—	3.3	—	—	3.2	—	—	3.2	—	—
	7月	5.8	—	—	5.6	—	—	4.4	—	—	1.8	—	—	5.1	—	—
	8月	3.6	—	—	2.9	—	—	4.3	—	—	2.8	—	—	1.4	—	—
	9月	1.9	—	—	2.2	—	—	2.4	—	—	1.6	—	—	4.8	—	—
	10月	1.9	—	—	3.1	—	—	2.7	—	—	2.3	—	—	2.2	—	—
	11月	2.2	—	—	3.0	—	—	3.2	—	—	2.2	—	—	11	—	—
	12月	3.6	—	—	12	—	—	4.1	—	—	1.7	—	—	6.0	—	—
	1月	5.7	—	—	4.1	—	—	4.6	—	—	2.8	—	—	6.7	—	—
	2月	4.8	—	—	5.7	—	—	4.9	—	—	4.5	—	—	3.1	—	—
	3月	9.5	—	—	12	—	—	4.2	—	—	5.8	—	—	5.0	—	—
年平均(※2)	3.9	—	—	5.6	—	—	4.0	—	—	3.1	—	—	4.5	—	—	

※1:流量については各月の調査にて複数回測定を行っていることから、それらの平均値を月平均とした。

※2:年間における全測定値の平均から年平均値を算出した。



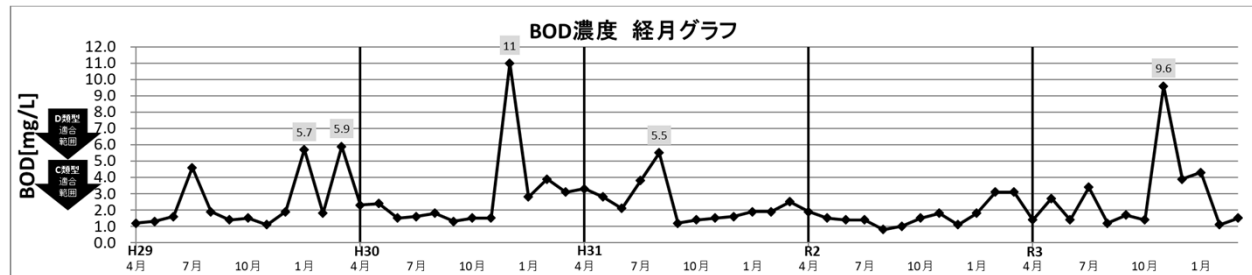
⑪-2 寝屋川(2) 測定地点名:京橋【環境基準点】

BOD濃度、流量及びBOD汚濁負荷量の月別データ

	H29年度			H30年度			R1年度			R2年度			R3年度			
	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m³/s]	BOD負荷量 [kg/日]	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m³/s]	BOD負荷量 [kg/日]	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m³/s]	BOD負荷量 [kg/日]	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m³/s]	BOD負荷量 [kg/日]	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m³/s]	BOD負荷量 [kg/日]	
月平均(※1)	4月	1.2	—	—	2.3	—	—	3.3	—	—	1.9	—	—	1.4	—	—
	5月	1.3	—	—	2.4	—	—	2.8	—	—	1.5	—	—	2.7	—	—
	6月	1.6	—	—	1.5	—	—	2.1	—	—	1.4	—	—	1.4	—	—
	7月	4.6	—	—	1.6	—	—	3.8	—	—	1.4	—	—	3.4	—	—
	8月	1.9	—	—	1.8	—	—	5.5	—	—	0.8	—	—	1.2	—	—
	9月	1.4	—	—	1.3	—	—	1.2	—	—	1.0	—	—	1.7	—	—
	10月	1.5	—	—	1.5	—	—	1.4	—	—	1.5	—	—	1.4	—	—
	11月	1.1	—	—	1.5	—	—	1.5	—	—	1.8	—	—	9.6	—	—
	12月	1.9	—	—	1.1	—	—	1.6	—	—	1.1	—	—	3.9	—	—
	1月	5.7	—	—	2.8	—	—	1.9	—	—	1.8	—	—	4.3	—	—
	2月	1.8	—	—	3.9	—	—	1.9	—	—	3.1	—	—	1.1	—	—
	3月	5.9	—	—	3.1	—	—	2.5	—	—	3.1	—	—	1.5	—	—
年平均(※2)	2.5	—	—	2.9	—	—	2.5	—	—	1.7	—	—	2.8	—	—	

※1:流量については各月の調査にて複数回測定を行っていることから、それらの平均値を月平均とした。

※2:年間における全測定値の平均から年平均値を算出した。



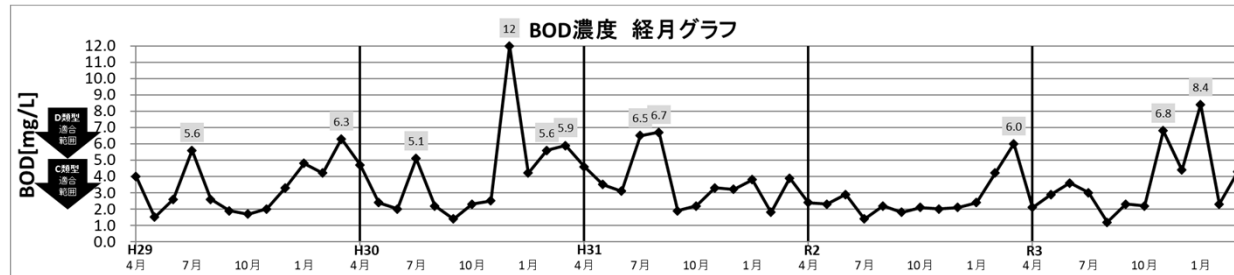
⑫ 古川 測定地点名:徳栄橋【環境基準点】

BOD濃度、流量及びBOD汚濁負荷量の月別データ

	H29年度			H30年度			R1年度			R2年度			R3年度			
	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m³/s]	BOD負荷量 [kg/日]	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m³/s]	BOD負荷量 [kg/日]	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m³/s]	BOD負荷量 [kg/日]	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m³/s]	BOD負荷量 [kg/日]	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m³/s]	BOD負荷量 [kg/日]	
月平均 (※1)	4月	4.0	—	—	4.7	—	—	4.6	—	—	2.4	—	—	2.1	—	—
	5月	1.5	—	—	2.4	—	—	3.5	—	—	2.3	—	—	2.9	—	—
	6月	2.6	—	—	2.0	—	—	3.1	—	—	2.9	—	—	3.6	—	—
	7月	5.6	—	—	5.1	—	—	6.5	—	—	1.4	—	—	3.0	—	—
	8月	2.6	—	—	2.2	—	—	6.7	—	—	2.2	—	—	1.2	—	—
	9月	1.9	—	—	1.4	—	—	1.9	—	—	1.8	—	—	2.3	—	—
	10月	1.7	—	—	2.3	—	—	2.2	—	—	2.1	—	—	2.2	—	—
	11月	2.0	—	—	2.5	—	—	3.3	—	—	2.0	—	—	6.8	—	—
	12月	3.3	—	—	1.2	—	—	3.2	—	—	2.1	—	—	4.4	—	—
	1月	4.8	—	—	4.2	—	—	3.8	—	—	2.4	—	—	8.4	—	—
	2月	4.2	—	—	5.6	—	—	1.8	—	—	4.2	—	—	2.3	—	—
	3月	6.3	—	—	5.9	—	—	3.9	—	—	6.0	—	—	4.3	—	—
年平均(※2)	3.4	—	—	4.2	—	—	3.7	—	—	2.7	—	—	3.6	—	—	

※1:流量については各月の調査にて複数回測定を行っていることから、それらの平均値を月平均とした。

※2:年間における全測定値の平均から年平均値を算出した。



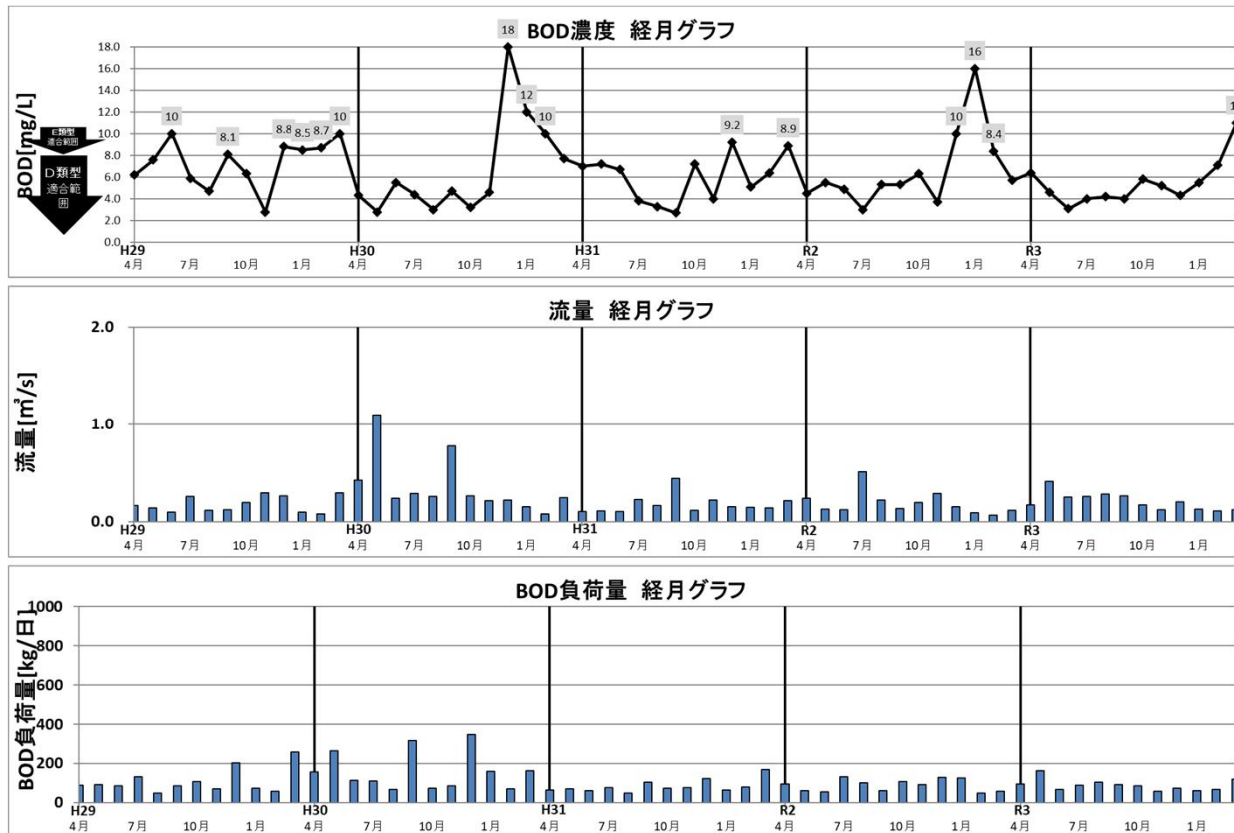
⑬ 見出川 測定地点名:見出橋【環境基準点】

BOD濃度、流量及びBOD汚濁負荷量の月別データ

	H29年度			H30年度			R1年度			R2年度			R3年度			
	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m³/s]	BOD負荷量 [kg/日]	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m³/s]	BOD負荷量 [kg/日]	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m³/s]	BOD負荷量 [kg/日]	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m³/s]	BOD負荷量 [kg/日]	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m³/s]	BOD負荷量 [kg/日]	
月平均(※1)	4月	6.2	0.17	89.7	4.3	0.42	157.0	7.0	0.10	63.5	4.5	0.24	93.3	6.4	0.17	94.0
	5月	7.6	0.14	91.9	2.8	1.10	265.5	7.2	0.05	68.4	5.5	0.13	61.8	4.6	0.41	163.0
	6月	10	0.10	86.4	5.5	0.24	114.0	6.7	0.05	60.8	4.9	0.13	52.9	3.1	0.25	67.0
	7月	5.9	0.26	132.5	4.4	0.29	109.3	3.8	0.07	75.5	3.0	0.51	132.2	4.0	0.26	89.9
	8月	4.7	0.12	46.7	3.0	0.26	66.7	3.3	0.11	47.8	5.3	0.22	100.7	4.2	0.29	103.4
	9月	8.1	0.12	85.7	4.7	0.78	315.7	2.7	0.55	102.6	5.3	0.14	61.8	4.0	0.27	91.6
	10月	6.3	0.20	106.1	3.2	0.27	73.3	7.2	0.10	71.5	6.3	0.20	106.1	5.8	0.17	85.2
	11月	2.8	0.30	71.4	4.6	0.21	84.5	4.0	0.22	76.9	3.7	0.29	92.7	5.2	0.13	56.2
	12月	8.8	0.27	201.5	18	0.22	346.0	9.2	0.07	123.2	10	0.15	129.6	4.3	0.20	74.3
	1月	8.5	0.10	71.6	12	0.15	158.1	5.1	0.15	63.9	16	0.09	124.4	5.5	0.13	61.8
	2月	8.7	0.08	58.3	10	0.08	69.1	6.4	0.06	78.8	8.4	0.07	47.2	7.1	0.11	67.5
	3月	10	0.30	257.0	7.7	0.24	161.3	8.9	0.18	167.2	5.7	0.12	56.6	11	0.13	118.8
年平均(※2)	7.3	0.18	108.2	6.7	0.35	160.1	6.0	0.14	83.4	6.6	0.19	88.3	5.4	0.21	89.4	

※1:流量については各月の調査にて複数回測定を行っていることから、それらの平均値を月平均とした。

※2:年間における全測定値の平均から年平均値を算出した。

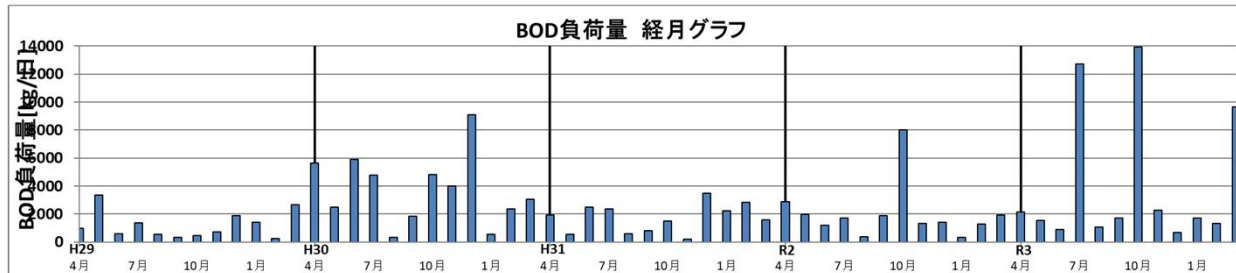
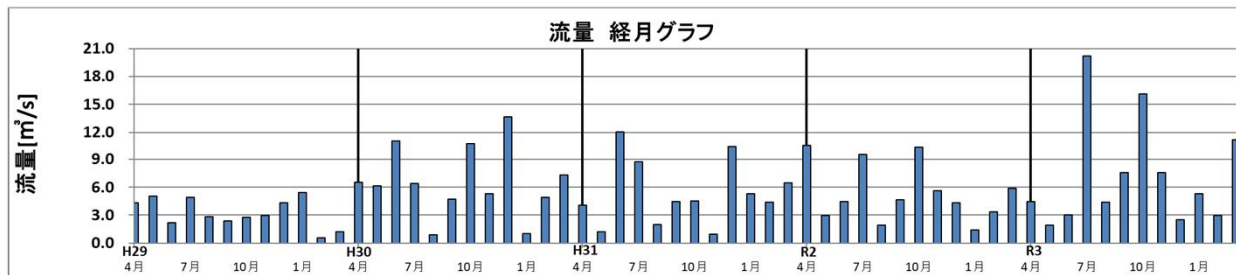
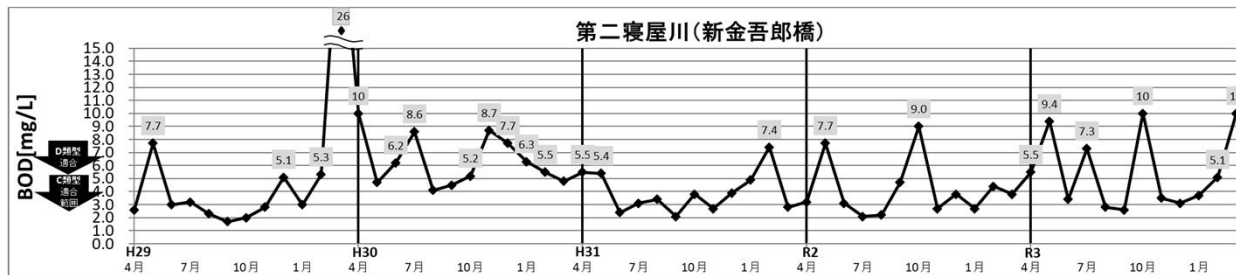


⑭ 第二寝屋川 測定地点名:新金吾郎橋 【環境基準点】

BOD濃度、流量及びBOD汚濁負荷量の月別データ

	H29年度			H30年度			R1年度			R2年度			R3年度			
	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m³/s]	BOD負荷量 [kg/日]	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m³/s]	BOD負荷量 [kg/日]	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m³/s]	BOD負荷量 [kg/日]	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m³/s]	BOD負荷量 [kg/日]	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m³/s]	BOD負荷量 [kg/日]	
月平均(※1)	4月	2.6	4.30	965.4	10	6.51	5620.3	5.5	4.10	1945.9	3.2	10.47	2893.8	5.5	4.47	2121.8
	5月	7.7	5.04	3354.7	4.7	6.11	2481.1	5.4	1.19	555.2	7.7	2.99	1987.5	9.4	1.91	1549.2
	6月	3.0	2.20	569.6	6.2	11.05	5916.6	2.4	12.01	2489.4	3.1	4.45	1190.5	3.4	3.03	891.1
	7月	3.2	4.94	1365.8	8.6	6.41	4761.0	3.1	8.76	2344.9	2.1	9.51	1725.5	7.3	20.18	12724.8
	8月	2.3	2.85	565.4	4.1	0.90	317.0	3.4	1.99	583.8	2.2	1.93	366.4	2.8	4.38	1060.2
	9月	1.7	2.39	350.3	4.5	4.73	1837.1	2.1	4.44	805.6	4.7	4.63	1879.1	2.6	7.58	1702.8
	10月	2.0	2.76	476.9	5.2	10.70	4807.3	3.8	4.55	1493.9	9.0	10.31	8017.1	10	16.13	13939.2
	11月	2.8	2.99	723.3	8.7	5.30	3983.9	2.7	0.93	217.5	2.7	5.62	1311.0	3.5	7.58	2292.2
	12月	5.1	4.31	1897.0	7.7	13.66	9087.7	3.9	10.32	3477.4	3.8	4.35	1429.0	3.1	2.48	665.1
	1月	3.0	5.41	1401.6	6.3	1.02	556.6	4.9	5.30	2243.8	2.7	1.40	326.6	3.7	5.30	1693.2
	2月	5.3	0.55	251.9	5.5	4.93	2341.5	7.4	4.42	2827.6	4.4	3.38	1284.9	5.1	2.99	1317.5
	3月	26	1.19	2673.2	4.8	7.31	3029.5	2.8	6.49	1569.5	3.8	5.88	1929.7	10	11.20	9672.5
年平均(※2)	5.4	3.24	1216.3	6.4	6.55	3728.3	4.0	5.37	1712.9	4.1	5.41	2028.4	5.5	7.27	4135.8	

※1: 流量については各月の調査にて複数回測定を行っていることから、それらの平均値を月平均とした。
 ※2: 年間における全測定値の平均から年平均値を算出した。

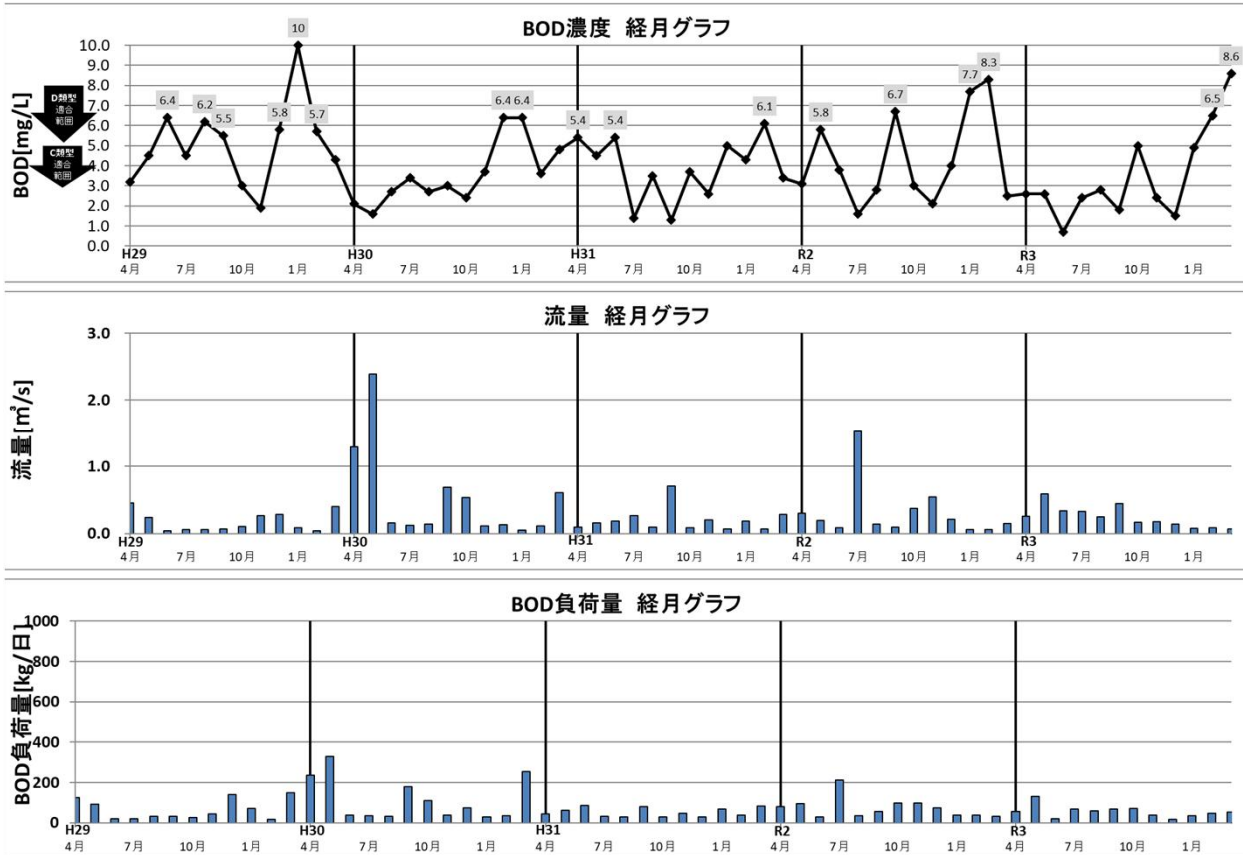


⑮ 近木川下流 測定地点名:近木川橋【環境基準点】

BOD濃度、流量及びBOD汚濁負荷量の月別データ

	H29年度			H30年度			R1年度			R2年度			R3年度			
	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m³/s]	BOD負荷量 [kg/日]	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m³/s]	BOD負荷量 [kg/日]	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m³/s]	BOD負荷量 [kg/日]	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m³/s]	BOD負荷量 [kg/日]	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m³/s]	BOD負荷量 [kg/日]	
月平均(※1)	4月	3.2	0.45	125.1	2.1	1.30	235.0	5.4	0.10	45.5	3.1	0.30	80.4	2.6	0.26	57.3
	5月	4.5	0.24	92.3	1.6	2.39	330.4	4.5	0.16	63.2	5.8	0.19	95.2	2.6	0.59	132.5
	6月	6.4	0.04	20.7	2.7	0.16	37.9	5.4	0.19	87.5	3.8	0.09	29.5	0.7	0.34	20.6
	7月	4.5	0.06	21.4	3.4	0.12	36.0	1.4	0.27	32.7	1.6	1.53	211.5	2.4	0.33	68.4
	8月	6.2	0.06	33.5	2.7	0.14	32.1	3.5	0.09	28.0	2.8	0.14	33.9	2.8	0.25	59.3
	9月	5.5	0.07	30.9	3.0	0.69	179.5	1.3	0.71	79.5	6.7	0.10	55.0	1.8	0.45	69.2
	10月	3.0	0.11	27.2	2.4	0.54	111.5	3.7	0.09	28.8	3.0	0.38	97.2	5.0	0.17	71.3
	11月	1.9	0.26	43.1	3.7	0.12	37.6	2.6	0.21	46.1	2.1	0.55	98.9	2.4	0.18	37.3
	12月	5.8	0.28	141.6	6.4	0.14	74.6	5.0	0.07	29.2	4.0	0.22	74.3	1.5	0.14	18.1
	1月	10	0.08	71.3	6.4	0.05	29.0	4.3	0.19	68.7	7.7	0.06	36.6	4.9	0.08	33.9
	2月	5.7	0.04	18.5	3.6	0.12	36.5	6.1	0.07	38.2	8.3	0.06	39.4	6.5	0.09	47.7
	3月	4.3	0.40	148.6	4.8	0.61	253.0	3.4	0.28	83.0	2.5	0.15	32.4	8.6	0.07	52.0
年平均(※2)	5.1	0.17	64.5	3.6	0.53	116.1	3.9	0.20	52.5	4.3	0.31	73.7	3.5	0.24	55.6	

※1: 流量については各月の調査にて複数回測定を行っていることから、それらの平均値を月平均とした。
 ※2: 年間における全測定値の平均から年平均値を算出した。

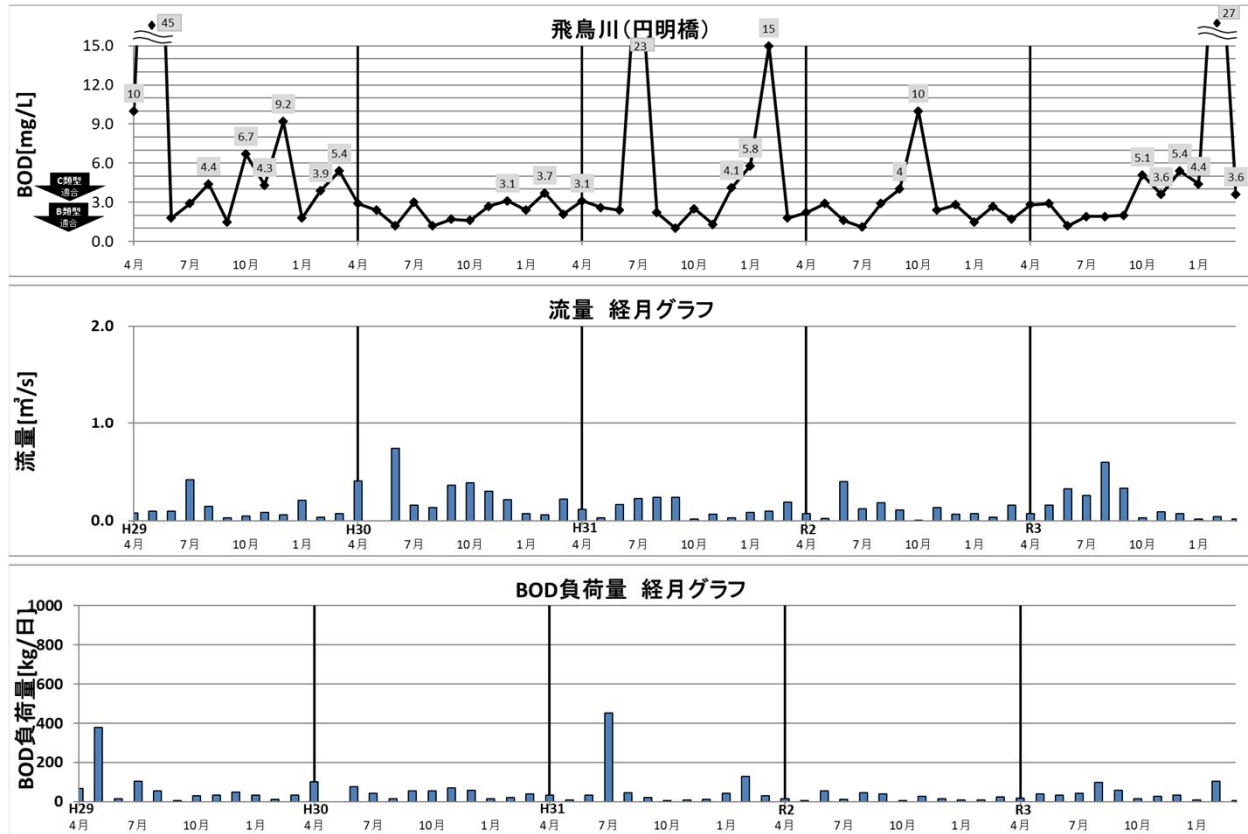


⑩ 飛鳥川 測定地点名: 円明橋 【環境基準点】

BOD濃度、流量及びBOD汚濁負荷量の月別データ

	H29年度			H30年度			R1年度			R2年度			R3年度			
	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m³/s]	BOD負荷量 [kg/日]	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m³/s]	BOD負荷量 [kg/日]	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m³/s]	BOD負荷量 [kg/日]	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m³/s]	BOD負荷量 [kg/日]	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m³/s]	BOD負荷量 [kg/日]	
月平均(※1)	4月	10	0.08	67.0	2.9	0.41	101.5	3.1	0.12	31.5	2.2	0.07	13.3	2.8	0.07	16.9
	5月	45	0.10	379.1	2.4	—	—	2.6	0.03	6.7	2.9	0.03	6.3	2.9	0.16	40.1
	6月	1.8	0.10	15.2	1.2	0.74	76.7	2.4	0.16	33.7	1.6	0.40	55.3	1.2	0.33	33.7
	7月	2.9	0.42	105.2	3.0	0.16	40.8	23	0.23	452.1	1.1	0.12	11.4	1.9	0.26	41.9
	8月	4.4	0.15	55.1	1.2	0.14	14.3	2.2	0.24	45.6	2.9	0.19	46.4	1.9	0.60	98.5
	9月	1.5	0.03	4.2	1.7	0.36	53.2	1.0	0.24	20.7	4	0.11	38.0	2.0	0.33	57.0
	10月	6.7	0.05	28.9	1.6	0.39	53.6	2.5	0.02	4.3	10	0.01	4.3	5.1	0.03	13.2
	11月	4.3	0.09	31.6	2.7	0.30	70.0	1.3	0.07	7.6	2.4	0.14	28.0	3.6	0.09	28.0
	12月	9.2	0.06	49.7	3.1	0.21	56.9	4.1	0.03	11.5	2.8	0.07	15.7	5.4	0.07	32.7
	1月	1.8	0.21	32.7	2.4	0.07	15.0	5.8	0.08	41.3	1.5	0.07	9.1	4.4	0.02	7.6
	2月	3.9	0.04	12.6	3.7	0.06	20.0	15	0.10	129.6	2.7	0.04	8.2	27	0.05	105.0
	3月	5.4	0.07	32.7	2.1	0.22	39.9	1.8	0.19	29.9	1.7	0.16	23.5	3.6	0.02	6.2
年平均(※2)	8.1	0.12	67.8	2.3	0.28	49.3	5.4	0.13	67.9	3.0	0.12	21.6	5.2	0.17	40.1	

※1: 流量については各月の調査にて複数回測定を行っていることから、それらの平均値を月平均とした。
 ※2: 年間における全測定値の平均から年平均値を算出した。



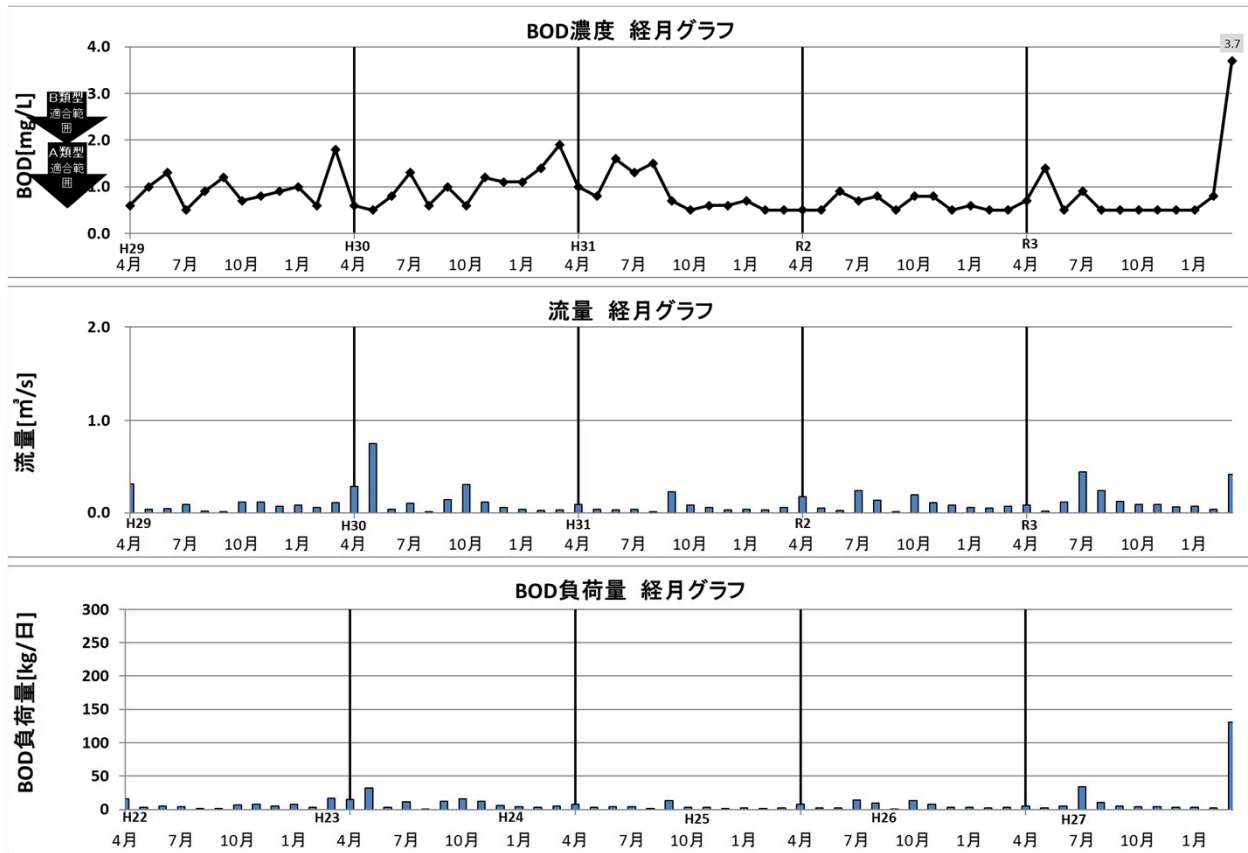
⑰ 檜尾川 測定地点名: 磐手杜神社 【環境基準点】

BOD濃度、流量及びBOD汚濁負荷量の月別データ

	H29年度			H30年度			R1年度			R2年度			R3年度			
	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m ³ /s]	BOD負荷量 [kg/日]	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m ³ /s]	BOD負荷量 [kg/日]	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m ³ /s]	BOD負荷量 [kg/日]	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m ³ /s]	BOD負荷量 [kg/日]	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m ³ /s]	BOD負荷量 [kg/日]	
月平均(※1)	4月	0.6	0.31	16.1	0.6	0.29	14.8	1.0	0.09	7.8	< 0.5	0.18	7.6	0.7	0.08	4.8
	5月	1.0	0.04	3.0	0.5	0.75	32.2	0.8	0.04	2.8	0.5	0.05	2.2	1.4	0.02	2.4
	6月	1.3	0.05	5.1	0.8	0.04	2.8	1.6	0.03	4.1	0.9	0.03	1.9	< 0.5	0.12	5.0
	7月	< 0.5	0.09	3.9	1.3	0.10	11.2	1.3	0.04	4.5	0.7	0.24	14.5	0.9	0.44	34.2
	8月	0.9	0.02	1.6	0.6	0.01	0.5	1.5	0.01	1.3	0.8	0.14	9.3	< 0.5	0.24	10.4
	9月	1.2	0.01	1.0	1.0	0.14	12.1	0.7	0.23	13.6	< 0.5	0.01	0.4	0.5	0.12	5.2
	10月	0.7	0.12	7.0	0.6	0.31	15.8	< 0.5	0.08	3.5	0.8	0.20	13.5	0.5	0.09	3.9
	11月	0.8	0.12	7.9	1.2	0.12	11.9	0.6	0.06	3.1	0.8	0.11	7.6	< 0.5	0.09	3.9
	12月	0.9	0.07	5.4	1.1	0.06	5.7	0.6	0.03	1.6	< 0.5	0.08	3.5	< 0.5	0.07	2.8
	1月	1.0	0.09	7.3	1.1	0.04	3.8	0.7	0.04	2.4	0.6	0.06	3.1	< 0.5	0.07	3.0
	2月	0.6	0.06	2.9	1.4	0.03	3.0	< 0.5	0.03	1.3	< 0.5	0.05	2.2	0.8	0.04	2.4
	3月	1.8	0.11	17.1	1.9	0.03	4.9	< 0.5	0.06	2.6	< 0.5	0.07	3.0	3.7	0.41	131.1
年平均(※2)	0.9	0.09	6.5	1.0	0.16	9.9	0.9	0.06	4.0	0.6	0.10	5.7	0.9	0.15	17.4	

※1: 流量については各月の調査にて複数回測定を行っていることから、それらの平均値を月平均とした。

※2: 年間における全測定値の平均から年平均値を算出した。

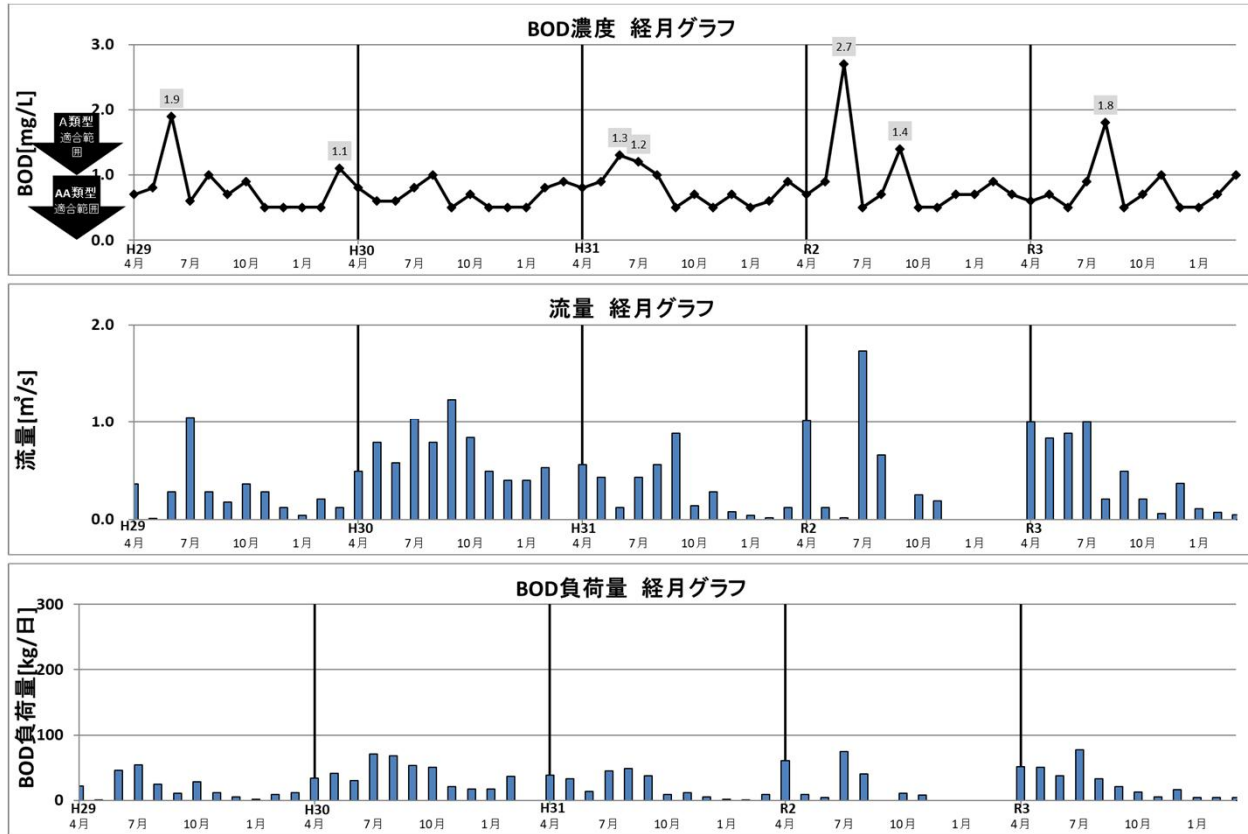


⑱ 芥川(2) 測定地点名: 鷺打橋 【環境基準点】

BOD濃度、流量及びBOD汚濁負荷量の月別データ

	H29年度			H30年度			R1年度			R2年度			R3年度			
	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m³/s]	BOD負荷量 [kg/日]	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m³/s]	BOD負荷量 [kg/日]	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m³/s]	BOD負荷量 [kg/日]	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m³/s]	BOD負荷量 [kg/日]	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m³/s]	BOD負荷量 [kg/日]	
月平均(※1)	4月	0.7	0.36	21.8	0.8	0.49	33.9	0.8	0.56	38.7	0.7	1.01	61.1	0.6	1.00	51.8
	5月	0.8	0.01	0.7	0.6	0.79	41.0	0.9	0.43	33.4	0.9	0.12	9.3	0.7	0.83	50.2
	6月	1.9	0.28	46.0	0.6	0.58	30.1	1.3	0.12	13.5	2.7	0.02	4.7	0.5	0.88	38.0
	7月	0.6	1.05	54.4	0.8	1.03	71.2	1.2	0.43	44.6	0.5	1.73	74.7	0.9	1.00	77.8
	8月	1.0	0.28	24.2	1.0	0.79	68.3	1.0	0.56	48.4	0.7	0.66	39.9	1.8	0.21	32.7
	9月	0.7	0.18	10.9	0.5	1.23	53.1	0.5	0.88	38.0	1.4	0	0.0	0.5	0.49	21.2
	10月	0.9	0.36	28.0	0.7	0.84	50.8	0.7	0.14	8.5	0.5	0.25	10.8	0.7	0.21	12.7
	11月	0.5	0.28	12.1	0.5	0.49	21.2	< 0.5	0.28	12.1	< 0.5	0.19	8.2	1.0	0.06	5.2
	12月	0.5	0.12	5.2	< 0.5	0.40	17.3	0.7	0.08	4.8	0.7	—	—	< 0.5	0.37	16.0
	1月	< 0.5	0.04	1.7	0.5	0.40	17.3	0.5	0.04	1.7	0.7	—	—	< 0.5	0.11	4.8
	2月	< 0.5	0.21	9.1	0.8	0.53	36.6	0.6	0.02	1.0	0.9	—	—	0.7	0.07	4.2
	3月	1.1	0.12	11.4	0.9	—	—	0.9	0.12	9.3	0.7	—	—	1.0	0.05	4.3
年平均(※2)	0.8	0.27	18.8	0.7	0.69	40.1	0.8	0.31	21.2	0.9	0.50	26.1	0.8	0.44	26.6	

※1: 流量については各月の調査にて複数回測定を行っていることから、それらの平均値を月平均とした。
 ※2: 年間における全測定値の平均から年平均値を算出した。

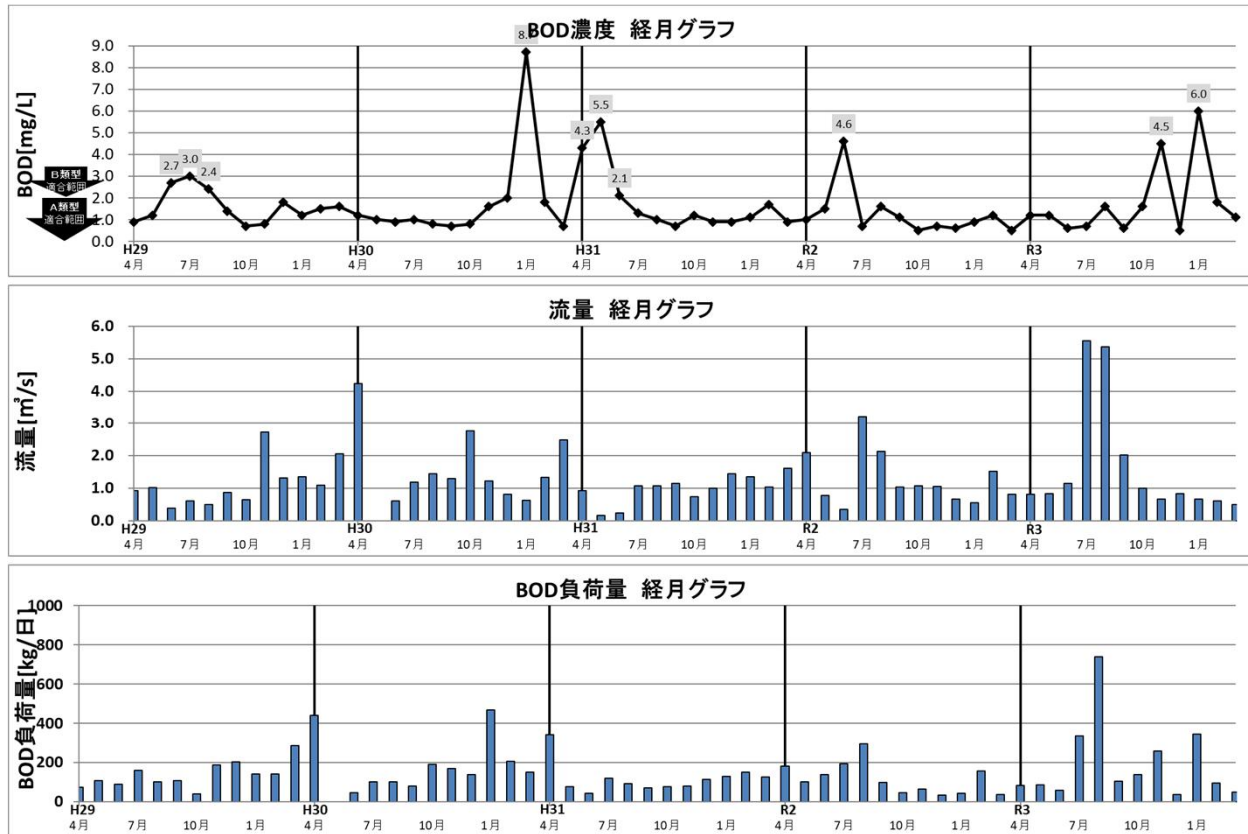


⑲-1 石川 測定地点名:高橋【環境基準点】

BOD濃度、流量及びBOD汚濁負荷量の月別データ

	H29年度			H30年度			R1年度			R2年度			R3年度			
	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m³/s]	BOD負荷量 [kg/日]	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m³/s]	BOD負荷量 [kg/日]	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m³/s]	BOD負荷量 [kg/日]	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m³/s]	BOD負荷量 [kg/日]	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m³/s]	BOD負荷量 [kg/日]	
月平均(※1)	4月	0.9	0.92	71.5	1.2	4.24	439.6	4.3	0.9175	340.9	1.0	2.08	179.7	1.2	0.805	83.5
	5月	1.2	1.02	105.8	1.0	—	—	5.5	0.1625	77.2	1.5	0.775	100.4	1.2	0.82	85.0
	6月	2.7	0.38	88.6	0.9	0.6	46.7	2.1	0.2375	43.1	4.6	0.35	139.1	0.6	1.135	58.8
	7月	3.0	0.61	158.8	1.0	1.1825	102.2	1.3	1.0725	120.5	0.7	3.21	194.1	0.7	5.545	335.4
	8月	2.4	0.49	101.1	0.8	1.44	99.5	1.0	1.065	92.0	1.6	2.125	293.8	1.6	5.355	740.3
	9月	1.4	0.88	105.8	0.7	1.3	78.6	0.7	1.14	68.9	1.1	1.025	97.4	0.6	2.01	104.2
	10月	0.7	0.65	39.2	0.8	2.7575	190.6	1.2	0.745	77.2	0.5	1.075	46.4	1.6	0.99	136.9
	11月	0.8	2.71	187.5	1.6	1.21	167.3	0.9	0.9975	77.6	0.7	1.055	63.8	4.5	0.665	258.6
	12月	1.8	1.30	202.6	2.0	0.805	139.1	0.9	1.435	111.6	0.6	0.66	34.2	< 0.5	0.82	35.4
	1月	1.2	1.35	139.7	8.7	0.6225	467.9	1.1	1.35	128.3	0.9	0.555	43.2	6.0	0.665	344.7
	2月	1.5	1.08	140.0	1.8	1.33	206.8	1.7	1.0275	150.9	1.2	1.51	156.6	1.8	0.605	94.1
	3月	1.6	2.06	284.4	0.7	2.4825	150.1	0.9	1.605	124.8	< 0.5	0.805	34.8	1.1	0.495	47.0
年平均(※2)	1.6	1.12	135.4	1.8	1.63	189.9	1.8	0.98	117.8	1.2	1.27	115.3	1.8	1.66	193.7	

※1:流量については各月の調査にて複数回測定を行っていることから、それらの平均値を月平均とした。
 ※2:年間における全測定値の平均から年平均値を算出した。



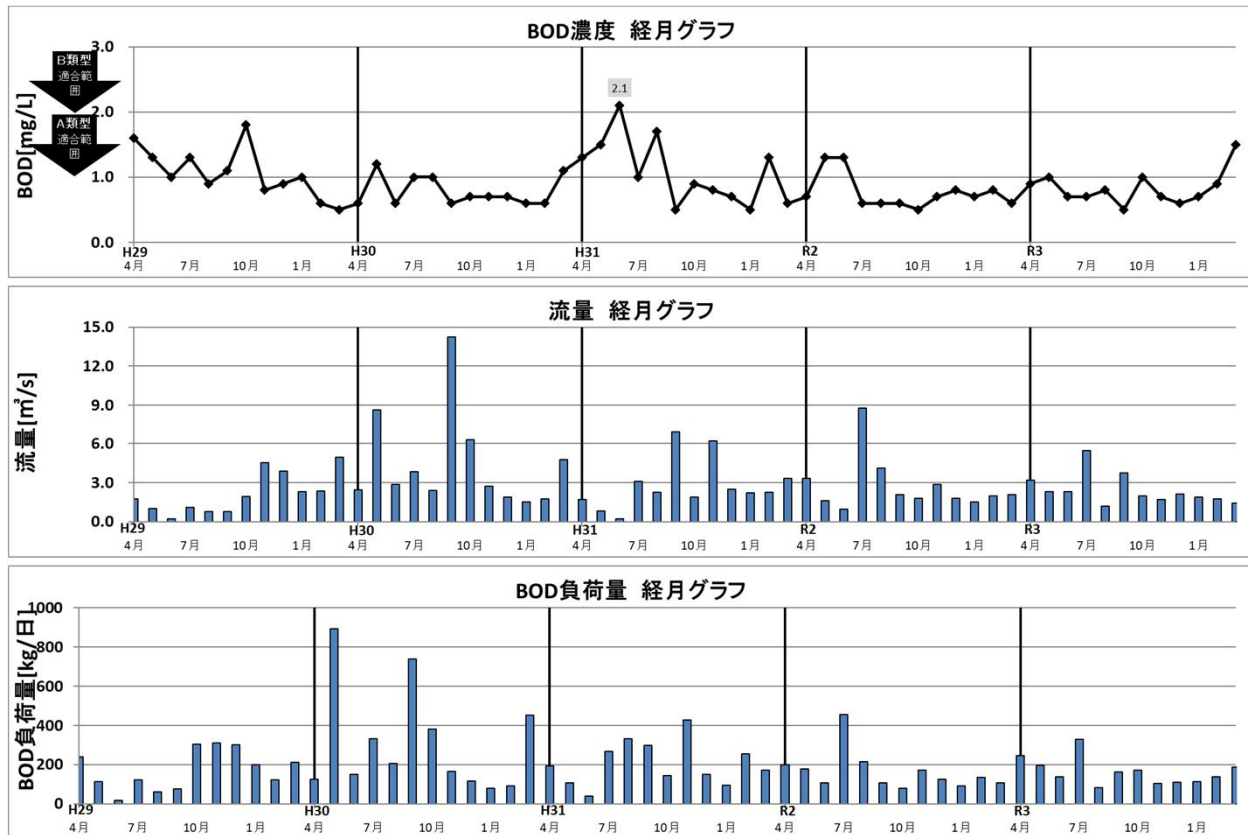
⑰-2 石川 測定地点名:石川橋【環境基準点】

BOD濃度、流量及びBOD汚濁負荷量の月別データ

	H29年度			H30年度			R1年度			R2年度			R3年度			
	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m³/s]	BOD負荷量 [kg/日]	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m³/s]	BOD負荷量 [kg/日]	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m³/s]	BOD負荷量 [kg/日]	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m³/s]	BOD負荷量 [kg/日]	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m³/s]	BOD負荷量 [kg/日]	
月平均(※1)	4月	1.6	1.73	239.2	0.6	2.44	126.5	1.3	1.71	192.1	0.7	3.32	200.8	0.9	3.17	246.5
	5月	1.3	1.02	114.6	1.2	8.62	893.7	1.5	0.83	107.6	1.3	1.59	178.6	1.0	2.29	197.9
	6月	1.0	0.22	19.0	0.6	2.88	149.3	2.1	0.21	38.1	1.3	0.96	107.8	0.7	2.3	139.1
	7月	1.3	1.08	121.3	1.0	3.85	332.6	1.0	3.08	266.1	0.6	8.8	456.2	0.7	5.46	330.2
	8月	0.9	0.78	60.7	1.0	2.39	206.5	1.7	2.26	331.9	0.6	4.12	213.6	0.8	1.18	81.6
	9月	1.1	0.79	75.1	0.6	14.25	738.7	< 0.5	6.88	297.2	0.6	2.05	106.3	0.5	3.73	161.1
	10月	1.8	1.95	303.3	0.7	6.29	380.4	0.9	1.87	145.4	< 0.5	1.81	78.2	1.0	1.99	171.9
	11月	0.8	4.51	311.7	0.7	2.72	164.5	0.8	6.19	427.9	0.7	2.86	173.0	0.7	1.7	102.8
	12月	0.9	3.86	300.2	0.7	1.90	114.9	0.7	2.5	151.2	0.8	1.81	125.1	0.6	2.11	109.4
	1月	1.0	2.32	200.4	0.6	1.53	79.3	0.5	2.19	94.6	0.7	1.5	90.7	0.7	1.88	113.7
	2月	0.6	2.37	122.9	0.6	1.76	91.2	1.3	2.28	256.1	0.8	1.97	136.2	0.9	1.77	137.6
	3月	< 0.5	4.92	212.5	1.1	4.75	451.4	0.6	3.31	171.6	0.6	2.08	107.8	1.5	1.44	186.6
年平均(※2)	1.1	2.13	173.4	0.8	4.45	310.8	1.1	2.78	206.6	0.8	2.74	164.5	0.8	2.42	164.9	

※1:流量については各月の調査にて複数回測定を行っていることから、それらの平均値を月平均とした。

※2:年間における全測定値の平均から年平均値を算出した。

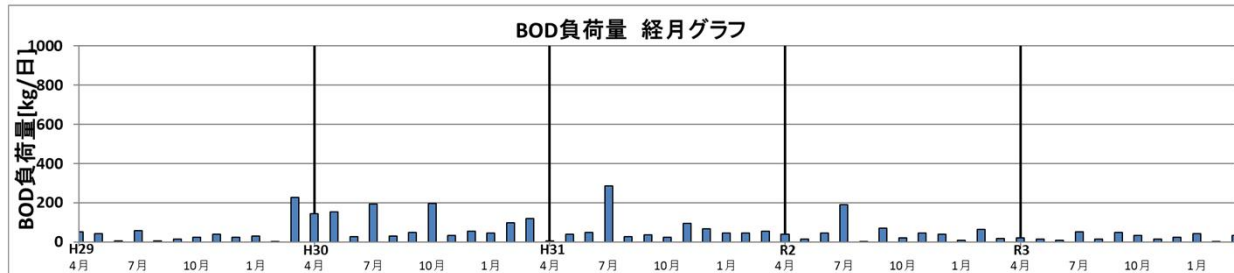
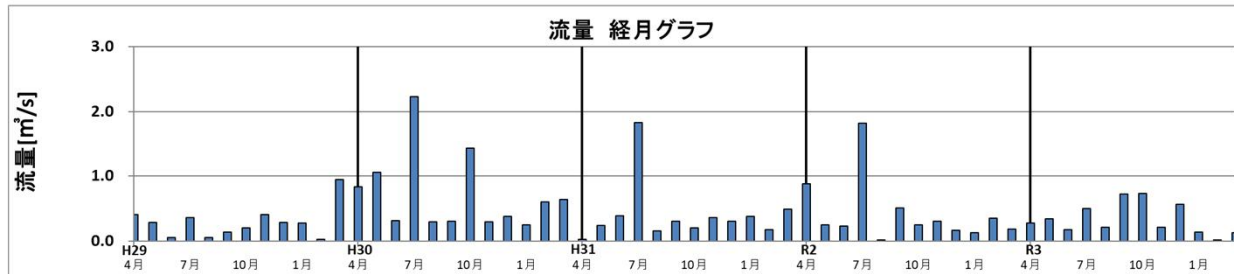
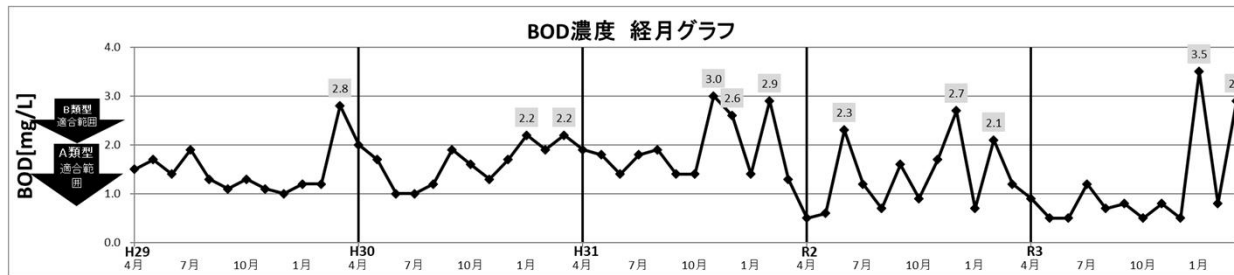


⑳ 牛滝川 測定地点名:高橋【環境基準点】

BOD濃度、流量及びBOD汚濁負荷量の月別データ

	H29年度			H30年度			R1年度			R2年度			R3年度			
	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m ³ /s]	BOD負荷量 [kg/日]	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m ³ /s]	BOD負荷量 [kg/日]	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m ³ /s]	BOD負荷量 [kg/日]	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m ³ /s]	BOD負荷量 [kg/日]	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m ³ /s]	BOD負荷量 [kg/日]	
月平均(※1)	4月	1.5	0.41	52.5	2.0	0.83	143.4	1.9	0.03	4.9	< 0.5	0.88	37.9	0.9	0.28	21.8
	5月	1.7	0.29	41.9	1.7	1.05	154.2	1.8	0.24	37.7	0.6	0.25	13.1	0.5	0.35	14.9
	6月	1.4	0.05	6.4	1.0	0.31	26.8	1.4	0.39	47.2	2.3	0.23	45.7	< 0.5	0.18	7.6
	7月	1.9	0.36	58.7	1.0	2.23	192.7	1.8	1.83	284.6	1.2	1.83	189.2	1.2	0.50	51.8
	8月	1.3	0.06	6.2	1.2	0.30	30.8	1.9	0.16	25.9	0.7	0.01	0.8	0.7	0.22	13.0
	9月	1.1	0.14	12.8	1.9	0.30	49.2	1.4	0.31	36.9	1.6	0.51	70.2	0.8	0.72	49.8
	10月	1.3	0.20	22.2	1.6	1.43	197.0	1.4	0.20	24.5	0.9	0.25	19.4	0.5	0.73	31.3
	11月	1.1	0.40	38.3	1.3	0.29	32.6	3.0	0.36	94.0	1.7	0.31	44.8	0.8	0.22	14.9
	12月	1.0	0.29	24.8	1.7	0.38	55.4	2.6	0.30	68.0	2.7	0.17	39.1	0.5	0.56	24.2
	1月	1.2	0.28	28.8	2.2	0.25	46.6	1.4	0.38	46.0	0.7	0.13	7.6	3.5	0.14	42.3
	2月	1.2	0.03	3.1	1.9	0.60	98.5	2.9	0.18	43.8	2.1	0.35	63.1	0.8	0.02	1.0
	3月	2.8	0.94	228.0	2.2	0.63	120.2	1.3	0.49	54.5	1.2	0.18	18.9	2.9	0.13	31.3
年平均(※2)	1.5	0.29	43.6	1.6	0.72	95.6	1.9	0.41	64.0	1.4	0.42	45.8	1.1	0.33	25.3	

※1: 流量については各月の調査にて複数回測定を行っていることから、それらの平均値を月平均とした。
 ※2: 年間における全測定値の平均から年平均値を算出した。

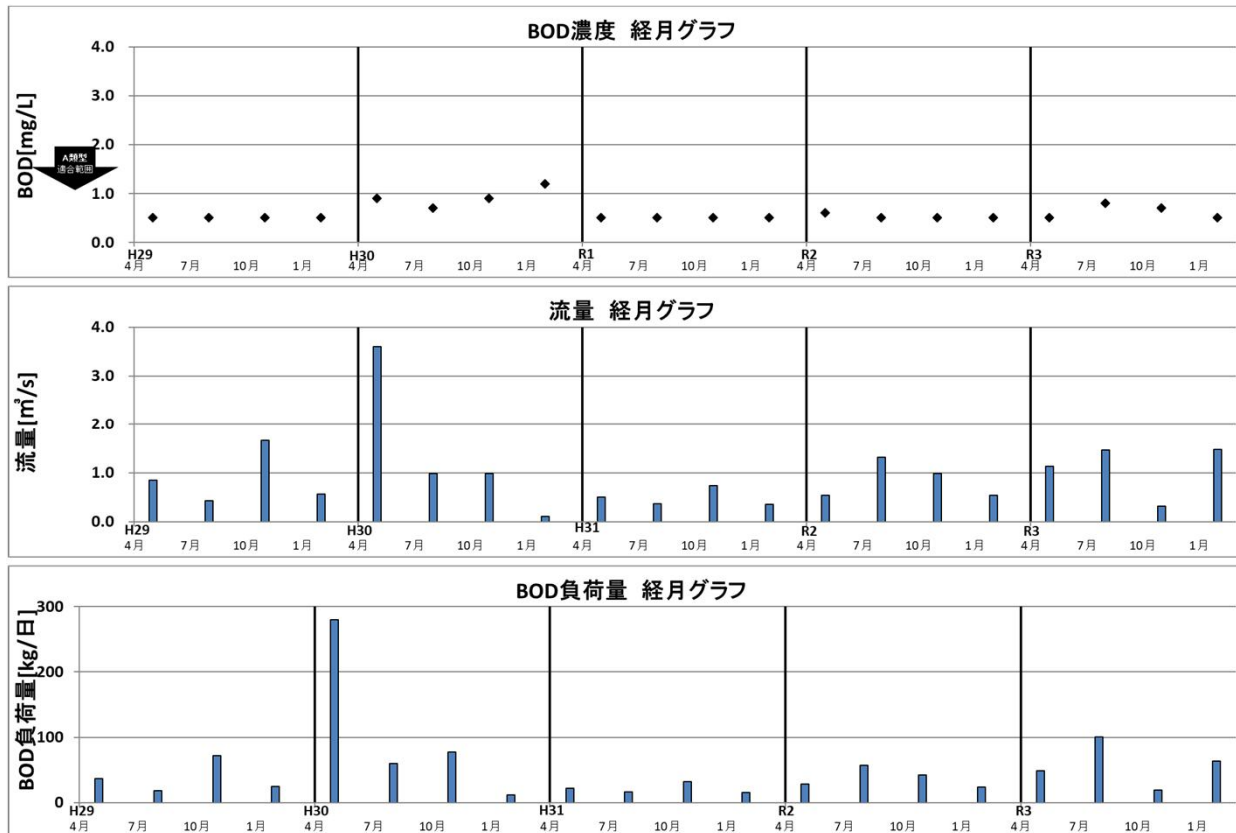


②1 安威川上流 測定地点名:車作大橋【環境基準点候補】

BOD濃度、流量及びBOD汚濁負荷量の月別データ

	H29年度			H30年度			R1年度			R2年度			R3年度			
	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m ³ /s]	BOD負荷量 [kg/日]	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m ³ /s]	BOD負荷量 [kg/日]	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m ³ /s]	BOD負荷量 [kg/日]	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m ³ /s]	BOD負荷量 [kg/日]	BOD濃度 [mg/L]	流量 [m ³ /s]	BOD負荷量 [kg/日]	
月平均(※1)	4月															
	5月	< 0.5	0.85	36.8	0.9	3.60	279.9	< 0.5	0.50	21.6	0.6	0.54	27.9	< 0.5	1.13	48.8
	6月															
	7月															
	8月	< 0.5	0.43	18.5	0.7	0.98	59.5	< 0.5	0.37	15.9	0.5	1.32	57.0	0.8	1.46	100.9
	9月															
	10月															
	11月	< 0.5	1.66	71.7	0.9	0.99	77.0	< 0.5	0.74	32.0	< 0.5	0.98	42.3	0.7	0.32	19.5
	12月															
	1月															
	2月	< 0.5	0.65	24.3	1.2	0.11	11.6	< 0.5	0.35	15.2	< 0.5	0.54	23.3	0.5	1.48	63.9
	3月															
年平均(※2)	0.5	0.90	37.8	0.9	1.42	107.0	0.5	0.49	21.2	0.5	0.84	37.6	0.6	1.10	58.3	

※1: 流量については各月の調査にて複数回測定を行っていることから、それらの平均値を月平均とした。
 ※2: 年間における全測定値の平均から年平均値を算出した。



大阪府内河川に生息している魚類

資料 2

I 淀川水域

(注) 網掛けは国が指定する水域。
 ゴシック+下線表記は、生物A類型に対応する主な魚種
 ゴシック表記は、生物B類型に対応する主な魚種
 ゴシック斜体表記は、その他で代表的な魚種とされるアユ

水域名	河川水域名	現在の類型		前回見直し時に活用した調査結果			前回見直し時以降に確認した調査結果			備考
		BOD等	水生生物	確認された魚類等	出典	調査年	確認された魚類等	出典	調査年	
淀川水域	淀川下流(1)	B/A	B-I							
	淀川下流(2)	C-I	B-I							
	船橋川	B/A	B-I	ギンブナ 、モツゴ、タモロコ、 ドジョウ	平成24年度第4回大阪府河川整備審議会資料	H24				
	穂谷川	B/A	B-I	コイ 、 ギンブナ 、 オイカワ 、モツゴ、タモロコ、 ドジョウ 、メダカ、 ドンコ コイ 、 ギンブナ 、 オイカワ 、モツゴ、タモロコ、 ドジョウ 、 ドンコ	平成24年度第4回大阪府河川整備審議会資料 府河川室資料	H24				
	榑尾川	B-I	B-I	コイ 、 ギンブナ 、カネヒラ、 オイカワ 、オイカワ属、カワムツ、モツゴ、タモロコ、 ドジョウ 、メダカ類、 ドンコ 、カワヨシノボリ、オオクチバス	府河川室資料	H25				○
	天野川	B/A	B-I	コイ 、 ギンブナ 、 オイカワ 、カワムツ、ヌマムツ、モツゴ、タモロコ、カマツカ、ニゴイ、コウライニゴイ、 ドジョウ 、 アユ 、メダカ、 ドンコ 、ブルーギル	平成24年度第4回大阪府河川整備審議会資料	H24				○
	芥川(1) 【上流】	AA-I	A-I	オイカワ 、カワムツ、 ドンコ 、カワヨシノボリ、 ニジマス オイカワ 、カワムツ、タモロコ、カマツカ、 ドジョウ 、オオシマドジョウ、カワヨシノボリ、 ニッコウイワナ 、 ニジマス	府河川室資料 芥川モニタリング(地独 大阪府立環境農林水産総合研究所)	H25 H24-27	オイカワ 、オオシマドジョウ、カワムツ、カワヨシノボリ	大阪府水産課 河川調査報告書	H30	○
	芥川(2) 【下流】	A-I	B-I	ハス、 オイカワ 、オイカワ属、カワムツ、ヌマムツ、ムギツク、カマツカ、コウライニゴイ、 ドジョウ 、 ドンコ 、カワヨシノボリ、ブルーギル、オオクチバス、カムルチー	府河川室資料	H25				○
	水無瀬川	A-I	A-I	カダヤシ カワムツ、ヌマムツ、タカハヤ、ムギツク、 ナマス 、 ドンコ 、カワヨシノボリ	府河川室資料 2012年 河川漁業種実態調査報告書	H25 H24	カワムツ、タカハヤ、 ドンコ 、カワヨシノボリ	大阪府水産課 河川調査報告書	H30	○

Ⅰ 神崎川水域①

水 域 名	河川水域名	現在の類型		前回見直し時にとりまとめた調査結果			前回以降に確認した調査結果			参考 研究所環境 DNA調査 (37河川 水域)	
		BOD等	水生 生物	確認された魚類等	出典	調査年	確認された魚類等	出典	調査年		
神 崎 川 水 域	神崎川	B0	B1								
	天竺川	-	-	コイ、オイカワ、モツゴ、ドジョウ、カダヤシ	府河川室資料	H25	オイカワ、カマツカ、ドジョウ、ウキゴリ、ブルーギル コイ、オイカワ、モツゴ、ドジョウ、カダヤシ	水辺の国勢調査報告書 水辺の国勢調査報告書	R2 H26		
	安 威 川 上 流	A1	A1	ニホンウナギ、ウナギ、コイ、フナ、オイカワ、カワムツ、モツゴ、タモロコ、イトモロコ、ムギツク、カマツカ、ドジョウ、シマドジョウ、アジメドジョウ、ギギ、ナマス、アカザ、アユ、アユはみあと、メダカ、ドンコ、カワヨシノボリ	安威川ダム魚類採捕調査 (地独 大阪府立環境農林水産総合研究 所)	H25-27					○
				フナ類、オイカワ、カワムツ、タカハヤ、イトモロコ、ムギツク、カマツカ、アジメドジョウ、アマコ、カワヨシノボリ	安威川・余野川調査(地独 大阪府立環 境農林水産総合研究所)	H25-27	オイカワ、カワムツ、タカハヤ、イトモロコ、カマツカ、アジメド ジョウ、アカザ、ニジマス、ドンコ、カワヨシノボリ	大阪府水産課 河川調査報告書【車作 大橋】	H28~R3		
				カワムツ、ギギ、ナマス、カワヨシノボリ	府河川室資料	H25	オイカワ、カワムツ、タカハヤ、アジメドジョウ、アカザ、カワヨ シノボリ、アユ ウナギ、フナ属、オイカワ、カワムツ、タカハヤ、モツゴ、ムツギ ク、イトモロコ、カマツカ、ドジョウ、オオシマドジョウ、アジメ ドジョウ、アカザ、アユ、ニジマス、ミナミメダカ、ドンコ、カ ワヨシノボリ	大阪府水産課 河川調査報告書【龍山 鏡】 大阪府水産課 河川調査報告書【泉原 橋】	H30 H26~R3		
	安 威 川 下 流 (1)	A1	B1	コイ科、ギンブナ、オイカワ、カワムツ、モツゴ、タモロコ、カマツカ、カワヨシノボリ	府河川室資料	H25					○
				コイ、フナ、オイカワ、カワムツ、モツゴ、タモロコ、イトモロコ、カマツカ、ドジョウ、ナマス、カジカ、ドンコ、カワヨシノボリ、タイリクハラタナゴ、オオクチバス	安威川ダム魚類採捕調査 (地独 大阪府立環境農林水産総合研究 所)	H25-27					
	安威川下流(2)	A1	B1								
	安威川下流(3)	B0	B1	コイ(飼育品種)、ギンブナ、ハス、ボラ、マハゼ、アベハゼ、カダヤシ	府河川室資料	H25					
	佐保川及び茨木川	A1	B1	オイカワ、カワムツ、タモロコ、ムギツク、ドジョウ、ドンコ、アベハゼ	府河川室資料	H25					○
	大正川	A1	B1	ギンブナ、カネヒラ、オイカワ、モツゴ、ニゴイ属、スゴモロコ属、ボラ、マハゼ、タイリクハラタナゴ、カダヤシ、ブルーギル	府河川室資料	H25					
	勝尾寺川	A0	B1	オイカワ、カワムツ、モツゴ、タモロコ、ドジョウ、メダカ類、ドンコ、カワヨシノボリ	府河川室資料	H25					○

神崎川水域②

水域名	河川水域名	現在の類型		前回見直し時に活用した調査結果			前回見直し時以降に確認した調査結果			備考
		BOD等	水生生物	確認された魚类等	出典	調査年	確認された魚类等	出典	調査年	
神崎川水域	猪名川上流	Aイ	Bイ							環境DNA分析(37河川水域)
	猪名川下流(2)	Dイ	Bイ							
	眞面川(1)	AAイ	Aイ	カワムツ、カワヨシノボリ	府河川室資料	H23				
	眞面川(2)	Aイ	Bイ	オイカワ、カワムツ、ムギツク、ドンコ、カワヨシノボリ	府河川室資料	H23	ギンブナ、オイカワ、カワムツ、モツゴ、カマツカ、 ドジョウ 、シマドジョウ、ギギ、 ニジマス 、ドンコ、カワヨシノボリ	水辺の国勢調査報告書	H26	
	余野川	Aイ	Aイ	オイカワ、カワムツ、タカハヤ、カマツカ、 ドジョウ 、オオシマドジョウ、 アユ 、ミナミメダカ、ドンコ、カワヨシノボリ、 ニジマス	安威川・余野川調査(地独 大阪府立環境農林水産総合研究所)	H25-27	オイカワ、カワムツ、タカハヤ、カマツカ、 ドジョウ 、オオシマドジョウ、 ナマス 、 アユ 、ミナミメダカ、ドンコ、カワヨシノボリ、 ニジマス	水辺の国勢調査報告書	R2	
				オイカワ、カワムツ、シマドジョウ、ギギ、 ナマス 、ドンコ、カワヨシノボリ	府河川室資料	H23	オイカワ、カワムツ、カマツカ、 オオシマドジョウ 、ドンコ、カワヨシノボリ、モツゴ	大阪府水産課 河川調査報告書	H30	
	千里川	Aイ	Bイ	ウナギ、ギンブナ、 フナ 属、 オイカワ 、カワムツ、モツゴ、カマツカ、ニゴイ、コウライモロコ、 ドジョウ 、 ナマス 、ドンコ、カワヨシノボリ、ウキゴリ、カダヤシ、ブルーギル、タイワンドジョウ	府河川室資料	H23	ギンブナ、 オイカワ 、カワムツ、カマツカ、コウライニゴイ、コウライモロコ、 ドジョウ 、 ナマス 、ドンコ、カワヨシノボリ、ウキゴリ、カダヤシ、ミナミメダカ、ブルーギル、タイワンドジョウ、ゴクラクハゼ	水辺の国勢調査報告書	H26	
				フナ 類、 オイカワ 、カワムツ、カマツカ、コウライニゴイ、コウライモロコ、 ドジョウ 、ギギ、 アユ 、ドンコ、カワヨシノボリ、 オオヨシノボリ 、ブルーギル、オオクチバス	漁業権漁場実態調査(地独 大阪府立環境農林水産総合研究所)	H24	ギンブナ、 オイカワ 、カワムツ、タモロコ、ムギツク、カマツカ、 ドジョウ 、ギギ、 ナマス 、ミナミメダカ、ドンコ、カワヨシノボリ、旧トウヨシノボリ	水辺の国勢調査報告書	R2	
	田尻川	Aイ	Aイ	コイ、 オイカワ 、カワムツ、タモロコ、カマツカ、ギギ、 ナマス 、メダカ、ドンコ、カワヨシノボリ	府河川室資料	H23	オイカワ 、カワムツ、ムギツク、カマツカ、アカザ、ドンコ、カワヨシノボリ、 アユ	大阪府水産課 河川調査報告書	H30	
				コイ 、 オイカワ 、カワムツ、タモロコ、カマツカ、ギギ、 ナマス 、メダカ、ドンコ、カワヨシノボリ	府河川室資料	H23	オイカワ 、カワムツ、タモロコ、カマツカ、ギギ、 ナマス 、ミナミメダカ、ドンコ、カワヨシノボリ、旧トウヨシノボリ	水辺の国勢調査報告書	H26	
	一庫・大踏次川	Aイ	Aイ	フナ 類、 オイカワ 、カワムツ、ムギツク、カマツカ、 ドジョウ 、オオシマドジョウ、ギギ、 ナマス 、 アユ 、ドンコ、カワヨシノボリ、ブルーギル	河川漁業権実態調査報告書 2012年調査(大阪府環境農林水産部水産課)	H24	コイ 、 オイカワ 、カワムツ、タカハヤ、モツゴ、タモロコ、ムギツク、カマツカ、ギギ、アカザ、 ナマス 、ドンコ、 カジカ 、カワヨシノボリ、ブルーギル	水辺の国勢調査報告書	R2	
				コイ 、ギンブナ、 オイカワ 、カワムツ、モツゴ、イトモロコ、ムギツク、カマツカ、 ドジョウ 、シマドジョウ、 ナマス 、メダカ、 カジカ 大卵型、ドンコ、カワヨシノボリ	府河川室資料	H23	オイカワ 、カワムツ、モツゴ、タモロコ、イトモロコ、ムギツク、カマツカ、シマドジョウ、ギギ、アカザ、 ナマス 、 カジカ 大卵型、ブルーギル、ドンコ、 カジカ 、カワヨシノボリ	大阪府水産課 河川調査報告書	H30	
山辺川	Aイ	Aイ	オイカワ 、カワムツ、タカハヤ、ムギツク、 ドジョウ 、オオシマドジョウ、 アユ 、ドンコ、カワヨシノボリ、オヤニラミ	漁業権漁場実態調査(地独 大阪府立環境農林水産総合研究所)	H24	カワムツ、ムギツク、ドンコ、カワヨシノボリ	大阪府水産課 河川調査報告書	H30		

I 寝屋川水域・大阪市内河川水域

水域名	河川水域名	現在の類型		前回見直し時に活用した調査結果				前回見直し時に降に確認した調査結果				備考 環境DNA 分析(37 河川水域)
		BOD等	水生生物	確認された魚類等	出典	調査年	確認された魚類等	出典	調査年			
寝屋川水域	寝屋川(1)【上流】	C-I	B0	コイ、ギンブナ、オイカワ、モツゴ、タモロコ、コウライモロコ、ドジョウ、メダカ、カワヨシノボリ、カダヤシ、グッピー、ブルーギル、タワナギ	府河川室資料							○
	寝屋川(2)【下流】	D0	-	フナ属、モツゴ、コウライモロコ、アユ、ボラ、カダヤシ	大阪市内河川魚類生息状況調査	H23	コイ、フナ属、ギンブナ、コウライモロコ、カダヤシ	大阪市内河川魚類生息状況調査	H29			
	恩智川	D0	-	コイ、フナ属、オイカワ、モツゴ、タモロコ、カマツカ、コウライニゴイ、コウライモロコ、ナマス、ボラ、カダヤシ、オオクチバス	水生生物生息状況調査(地独 大阪府立環境農林水産総合研究所)	H26						○
	古川	D0	-									○
	第二寝屋川	D-I	-	コイ、フナ属、ボラ、カダヤシ	大阪市内河川魚類生息状況調査	H23	コイ、フナ属、ボラ、カダヤシ、ギンブナ、タイリクバラタナゴ、タモロコ、モツゴ	大阪市内河川魚類生息状況調査	H29			
	平野川分水路	D-I	-	コイ、フナ属、モツゴ、コウライモロコ、ボラ、カダヤシ	大阪市内河川魚類生息状況調査	H23	コイ、フナ属、モツゴ、ボラ、カダヤシ、アユ、ギンブナ、タモロコ	大阪市内河川魚類生息状況調査	H29			○
	平野川	D-I	-	コイ、オイカワ、モツゴ、ドジョウ、ボラ、カダヤシ イセゴイ、フナ属、モツゴ、ボラ、ブルーギル、レヒソステウス属	水生生物生息状況調査(地独 大阪府立環境農林水産総合研究所) 大阪市内河川魚類生息状況調査(平成23年度)	H26 H23	コイ、フナ属、オイカワ、ギンブナ、モツゴ、ボラ	大阪市内河川魚類生息状況調査	H29			○
大阪市内河川水域	大川	B-I	B-I	オイカワ、ワタカ、カマツカ、カワヒガイ、コウライモロコ、アユ、ボラ、スズキ、マハゼ、ワカサギ、タイリクバラタナゴ、ブルーギル、オオクチバス カライワシ、フナ属、カネヒラ、ハス、オイカワ、タモロコ、カマツカ、コウライニゴイ、カワヒガイ、コウライモロコ、ウグイ、アユ、ボラ、スズキ、ヒヤラギ、マハゼ、ゴクラクハゼ、シマヒレヨシノボリ、タイリクバラタナゴ、ブルーギル、オオクチバス	大阪市内河川魚類生息状況調査(平成23年度) 大阪府西大阪治水事務所 魚類・産生動物調査(大川 自然再生ゾーン整備後)結果	H23 H24-H27	オイカワ、ニゴイ属、コウライモロコ、ボラ、スズキ、ブルーギル、オオクチバス、マハゼ、カマツカ コイ、ギンブナ、オイカワ、カワヒガイ、ニゴイ、コウライモロコ、チャネルキャットフィッシュ、ボラ、カダヤシ、スズキ、ブルーギル、オオクチバス、マハゼ、ゴクラクハゼ、アマチチブ、シマヨシヒレノボリ	大阪市内河川魚類生息状況調査	H29	R2		○
	堂島川	B-I	B-I	アユ、ボラ、スズキ、スズキ属、マハゼ、ヒメハゼ、オオクチバス	大阪市内河川魚類生息状況調査(平成23年度)	H23	キチヌ、スズキ、ボラ、マハゼ、ブルーギル	大阪市内河川魚類生息状況調査	H29			
	土佐堀川	C-I	B-I	コイ、ボラ、マハゼ、ヒメハゼ	大阪市内河川魚類生息状況調査(平成23年度)	H23	ボラ、コウライモロコ、マハゼ、メダナ	大阪市内河川魚類生息状況調査	H29			
	道頓堀川	B-I	B-I	コイ、フナ属、コウライモロコ、アユ、マハゼ、ブルーギル、オオクチバス	大阪市内河川魚類生息状況調査(平成23年度)	H23	コウライモロコ、ゴクラクハゼ、スズキ、ボラ、マハゼ、ワカサギ	大阪市内河川魚類生息状況調査	H29			○
	正蓮寺川	B-I	B-I									
	六軒家川	B-I	B-I									
	安治川	B-I	B-I	アユ、ボラ、スズキ、マハゼ、ウキゴリ、イケカツオ属、カタクチイワシ、コノシロ、サヨリ	大阪市内河川魚類生息状況調査(平成23年度)	H23	アユ、ボラ、スズキ、マハゼ、カタクチイワシ、サッパ、サヨリ、ワカサギ	大阪市内河川魚類生息状況調査	H29			
	尻黒川	B-I	B-I	アユ、ボラ、スズキ、キチヌ、マハゼ、ウキゴリ属、サッパ、マアジ	大阪市内河川魚類生息状況調査(平成23年度)	H23	アユ、キチヌ、ボラ、スズキ、マハゼ、マイワシ、カタクチイワシ、コノシロ、サッパ、ハゼ科、ワカサギ	大阪市内河川魚類生息状況調査	H29			
	木津川	B-I	B-I	アユ、ボラ、スズキ、クロダイ、マハゼ、サッパ、カタクチイワシ、サヨリ	大阪市内河川魚類生息状況調査(平成23年度)	H23	アユ、ボラ、スズキ、クロダイ、マハゼ、サッパ、カタクチイワシ、サヨリ、ウキゴリ、キチヌ、コノシロ、トウゴロウイワシ、ハゼ科	大阪市内河川魚類生息状況調査	H29			
	木津川運河	B-I	B-I									
住吉川	B0	B-I										
東横堀川	B-I	B-I										

I 大和川水域

水域名	河川水域名	現在の類型		前回見直し時に活用した調査結果			前回見直し時に確認した調査結果			備考
		BOD等	水生生物	確認された魚类等	出典	調査年	確認された魚类等	出典	調査年	
大和川水域	石川【高橋より上流】	B-I	B-I	コイ、ギンブナ、オイカワ、カワムツ、アブラハヤ、モツゴ、タモロコ、カマツカ、ニゴイ属、ドジョウ、ナマス、アユ、ドンコ、カワヨシノボリ、ブルーギル、オオクチバス	平成25年度第8回大阪府河川整備審議会資料	H24				○
	石川【下流】			コイ、カワムツ、ヌマムツ、タカハヤ、モツゴ、タモロコ、カマツカ、ドジョウ、ギギ、ナマス、アユ、カワヨシノボリ、キンギョ、ブルーギル、オオクチバス	漁業種漁獲実態調査（地独 大阪府立環境農林水産総合研究所）	H24				○
				オイカワ、カワムツ、タカハヤ、アブラハヤ、モツゴ、カマツカ、カワヨシノボリ	平成25年度第8回大阪府河川整備審議会資料	H24				○
	千早川	A-I	B-I	オイカワ、カワムツ、タカハヤ、カマツカ、カワヨシノボリ	平成25年度第8回大阪府河川整備審議会資料	H24				○
	天見川	B-I	B-I	オイカワ、カワムツ、カマツカ、ドジョウ、カワヨシノボリ	平成25年度第8回大阪府河川整備審議会資料	H24				○
				コイ、フナ類、オイカワ、カワムツ、タカハヤ、カマツカ、コウライニゴイ、オオシマドジョウ、ナマス、カワヨシノボリ	「河川における水生生物生息状況等調査データ」の集積 平成26年度進捗報告書 地方独立行政法人 大阪府立環境農林水産総合研究所	H26				○
	石見川	AA-I	A-I	カワムツ、タカハヤ、ヨシノボリ類	地域自然史と保全2014	H21-H25				○
				カワムツ、タカハヤ、カワヨシノボリ、ニジマス	石見川調査（地独 大阪府立環境農林水産総合研究所）	H28				○
	飛鳥川	C-O	B-I	コイ、モツゴ、ドジョウ、ミナミメダカ、ドンコ、カワヨシノボリ、カダヤシ	大和川水系・石川の魚類の現状（自然史研究2010.大阪自然史博物館）	H22				○
	梅川	A-I	B-I	ギンブナ、オイカワ、カワムツ、モツゴ、タモロコ、カマツカ、ドジョウ、ドンコ、カワヨシノボリ	平成25年度第8回大阪府河川整備審議会資料	H24				
	佐備川	C-I	B-I	ギンブナ、オイカワ、カワムツ、タカハヤ、モツゴ、タモロコ、カマツカ、ドジョウ、メダカ、ドンコ、カワヨシノボリ	大和川水系石川ブロック河川整備計画参考資料	H24				
	大和川中流	C-H	B-I							
	大和川下流	D-H	B-I							
	東除川	C-O	B-O	コイ、ギンブナ、オイカワ、モツゴ、カマツカ、コウライモロコ、ナマス、アユ、ボラ、メダカ、マハゼ、カワヨシノボリ、ゴクラクハゼ、ウキゴリ、キンギョ、ヌマチチブ、カダヤシ、ブルーギル、オオクチバス、カムルチー	平成25年度第10回大阪府河川整備審議会資料	H23				
西除川(1) 【狭山池より上流】	B-O	B-I	ゲンコロウブナ、ギンブナ、オイカワ、カワムツ、ヌマムツ、モツゴ、タモロコ、ドジョウ、ドンコ、ウキゴリ、カワヨシノボリ	平成25年度第10回大阪府河川整備審議会資料	H23	ゲンコロウブナ、ギンブナ、オイカワ、カワムツ、ヌマムツ、モツゴ、タモロコ、ドジョウ、ドンコ、ウキゴリ、カワヨシノボリ	大阪府環境農林水産総合研究所 魚類調査結果	R3	○	
西除川(2)【下流】	D-O	-	ウナギ、コイ、ギンブナ、オイカワ、モツゴ、ニゴイ、ドジョウ、ボラ、マハゼ、カワヨシノボリ、ゴクラクハゼ、ウキゴリ、ヌマチチブ、カダヤシ、ブルーギル、オオクチバス	平成25年度第10回大阪府河川整備審議会資料	H23	ウナギ、コイ、オイカワ、モツゴ、ボラ、ミナミメダカ、マハゼ、シマヒレヨシノボリ類（トウヨシノボリ・クロヨシノボリ・オオヨシノボリ・カスサヨシノボリ・オウミヨシノボリ・シマヒレヨシノボリ・ルリヨシノボリ・クロダハゼを含む）、ウキゴリ、カダヤシ、ブルーギル	大阪府環境農林水産総合研究所 魚類調査結果	R3	○	

I 泉州諸河川①

水域名	河川水域名	現在の類型		前回見直し時に活用した調査結果				前回見直し時に降に確認した調査結果				備考 環境DNA 分析(37 河川水域)	
		BOD等	水生 生物	確認された魚類等	出典	調査年	確認された魚類等	出典	調査年				
泉州 諸河川	石津川	D-I	-	ウナギ、コイ、フナ属、オイカワ、ヌマムツ、タモロコ、ドジョウ、ボラ、セスジボラ、メダカ、ドンコ、マハゼ、ヨシノボリ属、トウヨシノボリ(縞鱈型)、ブルーギル、オオクチバス、ダニオ亜科	平成25年度第4回大阪府河川整備審議会資料	H22						○	
	ウナギ、コイ、フナ類、オイカワ、カワムツ、ヌマムツ、モツゴ、タモロコ、カマツカ、ドジョウ、ナマス、アユ、ボラ、メナダ、ミナミメダカ、ドンコ、マハゼ、チチフ、ヨシノボリ属の一種、カワヨシノボリ、ゴクラクハゼ、シマヒレヨシノボリ、ウキゴリ属、キンギョ、ヌマチチブ、カダヤシ、ブルーギル、オオクチバス			堺市平成26年度河川水生生物調査(魚類)	H26								
	和田川	C-O	B-I	コイ、ギンブナ、オイカワ、タモロコ、ドジョウ、カダヤシ、オオクチバス	平成25年度第4回大阪府河川整備審議会資料								
	大津川上流	B-O	B-I	ニホンウナギ、オイカワ、カワムツ、モツゴ、ドジョウ、マハゼ、クロヨシノボリ、ゴクラクハゼ、シマヒレヨシノボリ	水生生物生息状況調査(地独 大阪府立環境農林水産総合研究所)	H25							
	大津川下流	D-I	-	ギンブナ、オオキンブナ、オイカワ、モツゴ、タモロコ、ギギ、ボラ、クロサギ、キチヌ、シマイサキ、カワアナゴ、マハゼ、チチフ、ゴクラクハゼ、ウロハゼ、ヒメハゼ、ブルーギル	水生生物生息状況調査(地独 大阪府立環境農林水産総合研究所)	H25	ウナギ、コイ、フナ属、オイカワ、タカハヤ、モツゴ、タモロコ、ドジョウ、ボラ、ミナミメダカ、キチヌ、カワアナゴ、ミズハゼ、マハゼ、チチフ、ヒナハゼ、ゴクラクハゼ、シマヒレヨシノボリ、スミウキゴリ、ブルーギル、カムルチー	水辺の国勢調査報告書		R1		○	
	牛滝川	B-O	B-I	コイ、ギンブナ、オイカワ、カワムツ、タカハヤ、コウライモロコ、ドジョウ、カワヨシノボリ	大津川水系河川整備計画参考資料	H17							○
	松尾川	B-H	B-I	コイ、ギンブナ、オイカワ、カワムツ、モツゴ、ドジョウ、オオクチバス	平成25年度第4回大阪府河川整備審議会資料	H13	オイカワ、カワムツ、タモロコ、ドジョウ、カダヤシ、ミナミメダカ、ブルーギル、カワヨシノボリ、ウキゴリ、カムルチー	水辺の国勢調査報告書		R1			
	横尾川	B-I	B-I	コイ、ギンブナ、オイカワ、カワムツ、モツゴ、タモロコ、ドジョウ、シマドジョウ、ギギ、メダカ、トウヨシノボリ、ブルーギル、オオクチバス	平成25年度第4回大阪府河川整備審議会資料	H19	コイ、フナ属、オイカワ、カワムツ、タカハヤ、モツゴ、タモロコ、ドジョウ、オオシマドジョウ、ギギ、ナマス、ミナミメダカ、カワヨシノボリ、シマヒレヨシノボリ、ブルーギル	水辺の国勢調査報告書		R1			
	父鬼川	A-I	B-I	カワムツ、タカハヤ、カワヨシノボリ、ニジマス	父鬼川調査(地独 大阪府立環境農林水産総合研究所)	H28							○
	香木川	D-I	-	コイ、ギンブナ、モツゴ、タモロコ、ドジョウ、ボラ、メナダ、スズキ、メダカ、マハゼ、アベハゼ、トウヨシノボリ、ウロハゼ、ブルーギル、オオクチバス、タウナギ、マイワシ、カクチイワシ	平成26年度第4回大阪府河川整備審議会資料	H21	ウナギ、コイ、フナ類、モツゴ、ドジョウ、ボラ、カダヤシ、スズキ、ミナミメダカ、マハゼ、ゴクラクハゼ、シマヒレヨシノボリ類(トウヨシノボリ・クロヨシノボリ・オオヨシノボリ・カズサヨシノボリ・オウミヨシノボリ・シマヒレヨシノボリ・ルリヨシノボリ・クロダハゼを含む)、ブルーギル	大阪府環境農林水産総合研究所 魚類調査結果		R3		○	
津田川	E-I	-	ニホンウナギ、コイ、ギンブナ、フナ属、オイカワ、カワムツ、タカハヤ、モツゴ、タモロコ、ドジョウ、ボラ、ミナミメダカ、ドンコ、マハゼ、カワヨシノボリ、ゴクラクハゼ、トウヨシノボリ、ウキゴリ、ウロハゼ、カダヤシ、オオクチバス、タウナギ	平成27年度第2回大阪府河川整備審議会資料	H26	ニホンウナギ、コイ、フナ属、オイカワ、カワムツ、モツゴ、タモロコ、ドジョウ、ボラ、ミナミメダカ、ドンコ、マハゼ、カワヨシノボリ、ゴクラクハゼ、トウヨシノボリ、ウキゴリ、ウロハゼ、カダヤシ、オオクチバス、クロサギ	水辺の国勢調査報告書		H26				

Ⅰ 泉州諸河川②

水 域 名	河川水域名	現在の類型		前回見直し時に活用した調査結果			前回見直し時に確認した調査結果			備考 環境DNA 分析(37 河川水域)	
		BOD等	水生 生物	確認された魚類等	出典	調査年	確認された魚類等	出典	調査年		
泉 州 諸 河 川	近木川上流	B-I	B-I	—	府河川室資料	H21	ウナギ、コイ、オイカワ、カワムツ、モツゴ、タモロコ、ドジョウ、カワヨシノボリ、旧トウヨシノボリ類、ウキゴリ	水辺の国勢調査報告書	H29	○	
	近木川下流	D-I	—	ウナギ、コイ、ゲンゴロウブナ、ギンブナ、フナ属、オイカワ、モツゴ、タモロコ、ボラ、メダカ、ドンコ、カワアナゴ、ミミズハゼ、ウキゴリ、トウヨシノボリ、ヌマチチブ、クサフグ、ニジシコ	府河川室資料	H21	ウナギ、コイ、オイカワ、カワムツ、モツゴ、アユ、ボラ、メダナ、キチヌ、シマイサキ、カワアナゴ、ミミズハゼ属、マハゼ、ヌマチチブ、ヒナハゼ、カワヨシノボリ、シマヨシノボリ、ゴクラクハゼ、旧トウヨシノボリ類、ヒメハゼ	水辺の国勢調査報告書	H29	○	
	見出川	E-I	—	ウナギ、コイ、ギンブナ、オイカワ、カワムツ、モツゴ、タモロコ、ボラ、メダカ、カワアナゴ、カワヨシノボリ	「平成19年度大阪府見出川流域における健全な水環境の構築に向けた計画策定調査業務報告書」(平成20年3月、財団法人大阪府みどり公社)	H19	コイ、ギンブナ、オイカワ、カワムツ、モツゴ、タモロコ、ドジョウ、ミナミメダカ、ドンコ、カワヨシノボリ、旧トウヨシノボリ類、 フナ属、ギンブナ、オイカワ、カワムツ、モツゴ、タモロコ、ドジョウ、ミナミメダカ、ドンコ、旧トウヨシノボリ類、ブルーギル、タウナギ	水辺の国勢調査報告書	H29		
	佐野川	E-I	—	ウナギ、モツゴ、ボラ、コトヒキ、カワアナゴ、マハゼ、アヘハゼ、トウヨシノボリ、ブルーギル	平成25年度第11回大阪府河川整備審議会資料	H23	イセゴイ、コイ、ウナギ、モツゴ、ボラ、メダナ、スズキ、カワアナゴ、マハゼ、アヘハゼ、ヌマチチブ、ヒナハゼ、ゴクラクハゼ、ブルーギル	水辺の国勢調査報告書	H29		
	榎井川上流	B-I	B-I	オイカワ、カワムツ、タカハヤ、ドンコ、カワヨシノボリ	平成26年度第7回大阪府河川整備審議会資料	H23、26	オイカワ、カワムツ、ヌマムツ、タカハヤ、ドンコ、カワヨシノボリ、旧トウヨシノボリ	水辺の国勢調査報告書	H26	○	
	榎井川下流	E-I	—	ギンブナ、フナ属、オイカワ、カワムツ、モツゴ、タモロコ、ナマス、メダカ、ゴクラクハゼ、タイリクバラタナゴ、ブルーギル	平成26年度第7回大阪府河川整備審議会資料	H23、26	コイ、フナ属、オイカワ、カワムツ、モツゴ、ドジョウ、タモロコ、ミナミメダカ、ヒメダカ、旧トウヨシノボリ、ウキゴリ、カダヤシ、ブルーギル	水辺の国勢調査報告書	H26	○	
	男里川	A-I	B-O	ニホンウナギ、オイカワ、カワムツ、アユ、ボラ、ミナミメダカ、クロホシフエダイ、ミミズハゼ、マハゼ、シマヨシノボリ、ゴクラクハゼ、コモツグ、クサフグ、ヌマチチブ、ブルーギル	水生生物生息状況調査(地独 大阪府立環境農林水産総合研究所)	H25					○
				コイ、オイカワ、カワムツ、カマツカ、メダカ、カワヨシノボリ	府河川室資料	H23					
	金熊寺川	A-I	B-I	オイカワ、カワムツ、シマドジョウ、カワヨシノボリ、ヌマチチブ	水生生物生息状況調査(地独 大阪府立環境農林水産総合研究所)	H25					○
	菟碓川	A-I	B-I	ウナギ、フナ、オイカワ、カワムツ、モツゴ、ドジョウ、ドンコ	「大阪府下中小河川の生息魚種と水質について」(水産増殖36巻2号、1988)	S60、S61					
	山中川	A-I	B-I	コイ、フナ、オイカワ、カワムツ、タモロコ、ヨシノボリ、ブルーギル	「大阪府下中小河川の生息魚種と水質について」(水産増殖36巻2号、1988)	S60、S61					
	番川	A-I	B-I	カワムツ、カワヨシノボリ	府河川室資料	H23	カワムツ、カワヨシノボリ	水辺の国勢調査報告書	H26		○
	大川	A-I	B-I								
	東川	A-I	B-I	ボラ、クロダイ、キチヌ、コトヒキ、シマイサキ、マハゼ、アヘハゼ、チチブ、ヒメハゼ、クサフグ	水生生物生息状況調査(地独 大阪府立環境農林水産総合研究所)	H25	フナ属、オイカワ、カワムツ、ミナミメダカ、ドンコ、カワヨシノボリ、ゴクラクハゼ	水辺の国勢調査報告書	H26		
西川	A-I	B-I	ニホンウナギ、ギンブナ、オオギンブナ、オイカワ、カワムツ、ドジョウ、アユ、ボラ、クロダイ、ドンコ、カワアナゴ、チチブ、カワヨシノボリ、シマヨシノボリ、ゴクラクハゼ、スミウキゴリ、クサフグ	水生生物生息状況調査(地独 大阪府立環境農林水産総合研究所)	H25	フナ属、オイカワ、カワムツ、ミナミメダカ、ドンコ、カワヨシノボリ、シマヨシノボリ、ゴクラクハゼ	水辺の国勢調査報告書	H26		○	

《参 考》

1	河川の水質環境基準（生活環境の保全に関する項目）	・・・	参 1
2	審議経過	・・・	参 2
3	水質部会委員	・・・	参 3
4	河川水質環境基準に係る類型指定について（諮問）（写）	・・・	参 4

1. 河川の水質環境基準（生活環境の保全に関する項目）

① BOD等5項目

類型	利用目的の 適 応 性	基 準 値				
		水素イオン 濃 度 (pH)	生物化学的 酸素要求量 (BOD)	浮遊物質 量 (S S)	溶 存 酸素量 (DO)	大腸菌群数
AA	水道1級、自然環境保全及びA以下の欄に掲げるもの	6.5以上 8.5以下	1mg/L 以下	25mg/L以下	7.5mg/L 以上	50MPN/100mL 以下
A	水道2級、水産1級、水浴及びB以下の欄に掲げるもの	6.5以上 8.5以下	2mg/L 以下	25mg/L以下	7.5mg/L 以上	1,000MPN/100mL 以下
B	水道3級、水産2級及びC以下の欄に掲げるもの	6.5以上 8.5以下	3mg/L 以下	25mg/L以下	5mg/L 以上	5,000MPN/100mL 以下
C	水産3級、工業用水1級及びD以下の欄に掲げるもの	6.5以上 8.5以下	5mg/L 以下	50mg/L以下	5mg/L 以上	—
D	工業用水2級、農業用水及びE以下の欄に掲げるもの	6.0以上 8.5以下	8mg/L 以下	100mg/L以下	2mg/L 以上	—
E	工業用水3級、環境保全	6.0以上 8.5以下	10mg/L 以下	ごみ等の浮遊が認められないこと	2mg/L 以上	—

評価方法 1 基準値は、日間平均値とする。
 2 農業用利水点については、水素イオン濃度**6.0**以上**7.5**以下、溶存酸素量**5mg/L**以上とする。
 3 類型指定された水域における**BOD**の環境基準達成状況の年間評価については、当該水域の環境基準点において、日間平均値の**75%**値が当該水域があてはめられた類型の環境基準に適合している場合に、当該水域が環境基準を達成しているものと判断する。複数の環境基準点をもつ水域においては、当該水域内のすべての環境基準点において、環境基準に適合している場合に、当該水域が環境基準を達成しているものと判断する。

- (注)
- 1 自然環境保全：自然探勝等の環境保全
 - 2 水道1級：ろ過等による簡易な浄水操作を行うもの
 // 2級：沈澱ろ過等による通常の浄水操作を行うもの
 // 3級：前処理等を伴う高度の浄水操作を行うもの
 - 3 水産1級：ヤマメ、イワナ等貧腐水性水域の水産生物用並びに水産2級及び水産3級の水産生物用
 // 2級：サケ科魚類及びアユ等貧腐水性水域の水産生物用及び水産3級の水産生物用
 // 3級：コイ、フナ等、β-中腐水性水域の水産生物用
 - 4 工業用水1級：沈澱等による通常の浄水操作を行うもの
 // 2級：薬品注入等による高度の浄水操作を行うもの
 // 3級：特殊の浄水操作を行うもの
 - 5 環境保全：国民の日常生活(沿岸の遊歩等を含む。)において不快感を生じない限度

② 水生生物の保全に関する項目

類型	水生生物の生息状況の適応性	基 準 値		
		全亜鉛	ノニルフェノール	直鎖アルキル ベンゼンスルホン酸 及びその塩(LAS)
生物A	イワナ、サケマス等比較的低温域を好む水生生物及びこれらの餌生物が生息する水域	0.03mg/L 以下	0.001mg/L 以下	0.03mg/L 以下
生物特A	生物Aの水域のうち、生物Aの欄に掲げる水生生物の産卵場(繁殖場)又は幼稚仔の生育場として特に保全が必要な水域	0.03mg/L 以下	0.0006mg/L 以下	0.02mg/L 以下
生物B	コイ、フナ等比較的高温域を好む水生生物及びこれらの餌生物が生息する水域	0.03mg/L 以下	0.002mg/L 以下	0.05mg/L 以下
生物特B	生物A又は生物Bの水域のうち、生物Bの欄に掲げる水生生物の産卵場(繁殖場)又は幼稚仔の生育場として特に保全が必要な水域	0.03mg/L 以下	0.002mg/L 以下	0.04mg/L 以下

評価方法 1 基準値は、年間平均値とする。

2. 審議経過

	開催日等	審議事項
令和4年度 第1回 環境審議会	令和4年 6月8日	○河川水質環境基準に係る類型指定について(諮問)
第2回部会	6月 20 日	○府内河川の状況について ○類型指定の基本的な考え方について
第3回部会	8月 29 日	○河川水質環境基準に係る類型指定案について
令和4年 9月 14 日～ 10 月 13 日		「河川水質環境基準に係る類型指定改定(案)」に対する府民意見等の募集 (意見2件)
第4回部会	11 月7日	○府民意見等の募集結果について ○河川水質環境基準に係る類型指定について(部会報告案)

3. 水質部会委員

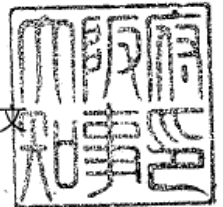
氏 名	役 職	備 考
岸本 直之	龍谷大学教授	部会長
島田 洋子	京都大学大学院准教授	部会長代理
益田 晴恵	大阪公立大学特任教授	
以上 環境審議会委員 計3名		
中谷 祐介	大阪大学大学院准教授	
原田 禎夫	大阪商業大学准教授	
以上 環境審議会専門委員 計2名		
合 計 5名		

4. 河川水質環境基準に係る類型指定について（諮問）（写）

環 保 第 1215 号
令 和 4 年 6 月 8 日

大阪府環境審議会
会長 辰巳砂 昌弘 様

大阪府知事 吉村 洋文



河川水質環境基準に係る類型指定について（諮問）

河川水質環境基準に係る類型指定にあたり、水質汚濁防止法（昭和 45 年法律
第 138 号）第 21 条第 1 項の規定に基づき、貴審議会の意見を求めます。

(説 明)

水質汚濁に係る環境基準については、環境基本法（平成5年法律第91号）第16条第1項の規定に基づき、昭和46年環境庁告示第59号「水質汚濁に係る環境基準について」により、人の健康の保護及び生活環境の保全に関する環境基準が定められています。

このうち、生活環境の保全に関する環境基準は、水域の利用目的に対応して、生物化学的酸素要求量（BOD）等と水生生物の保全に関する項目ごとに複数の類型が設けられており、これらのいずれかの類型を当てはめ、水域の類型を指定することとなっています。

類型指定については、2以上の都道府県の区域にわたる水域であって政令で定められたものについては政府が、それ以外の水域については都道府県知事がそれぞれ水域の利用目的や水質汚濁の状況等を勘案して行うとともに、これらの事情の変化に応じて適宜改定することとされています。

現在、府内河川では、BOD等は69河川81水域に対し、水生生物の保全に関する項目は60河川65水域に対し、それぞれ類型指定を行っています。

類型指定については、平成29年1月に見直しを行い、見直した類型に基づく評価を平成29年度に開始してから5年が経過しており、より一層の水質保全を図るため、水域の利用目的や水質汚濁の状況等の事情の変化を踏まえて、適切な見直しを行う必要があります。

このため、水質汚濁防止法第21条第1項の規定に基づき、府内河川の類型指定について貴審議会の意見を求めるものです。